

## 第4 県内の特定事故の発生状況

### 1 死亡事故

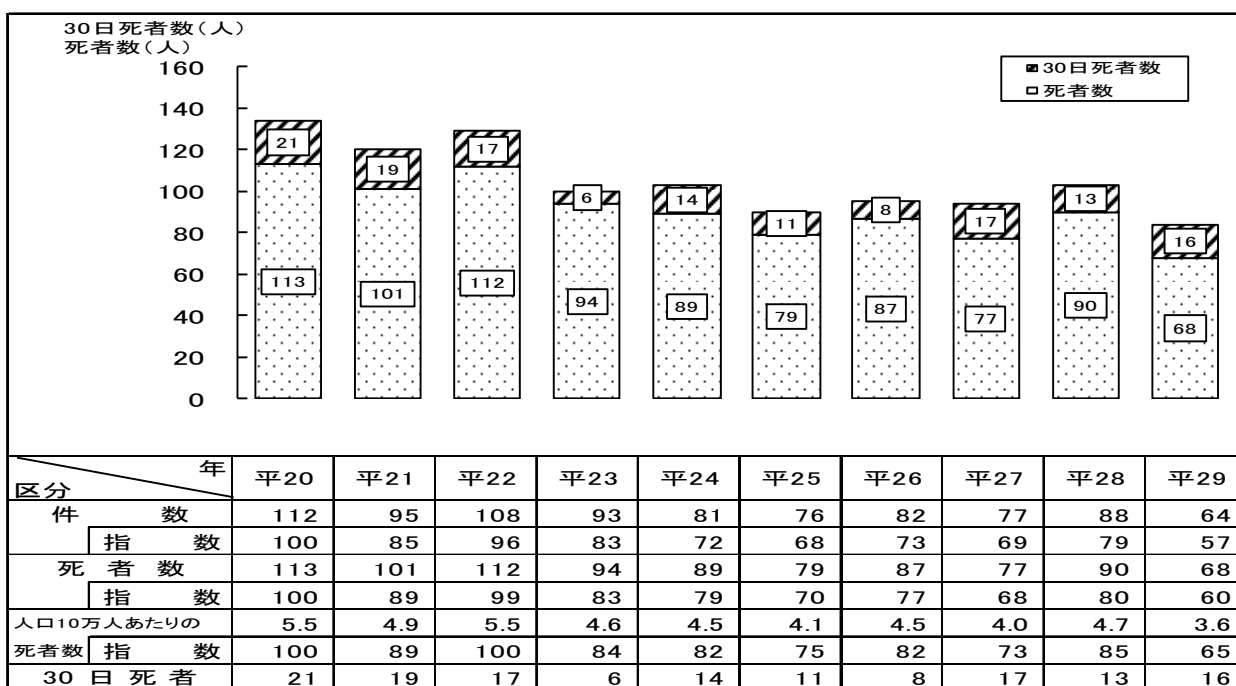
#### (1) 発生件数、死者数

平成29年の死亡事故は、前年に比べ発生件数、死者数とも減少した。

発生件数 64件（前年比 -24件 27.3%減）

死者数 68人（前年比 -22人 24.4%減）

過去10年間の推移をみると、死者、傷者とも凹凸はあるものの減少傾向にあり、平成29年では平成20年の6割程度に減少した。 （単位：件・人）

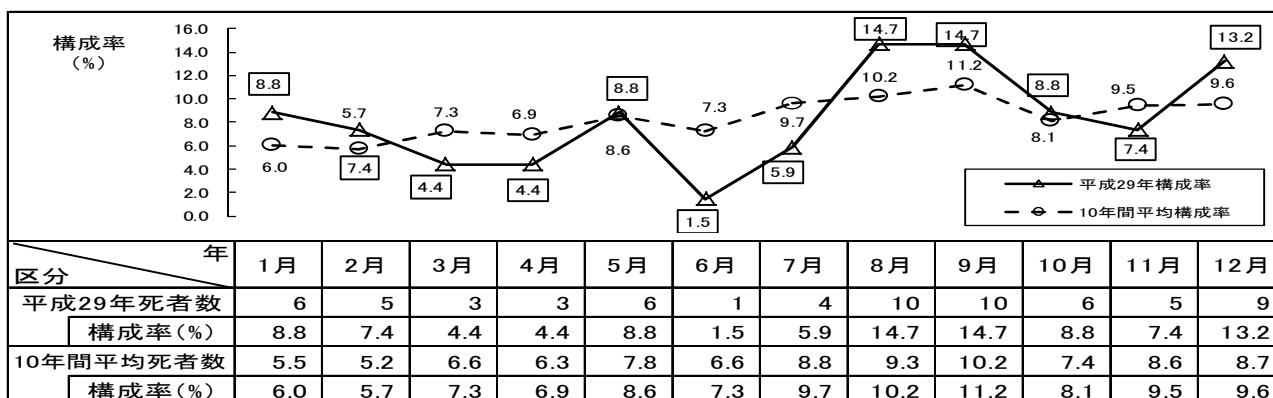


#### (2) 死亡事故の特徴

##### ア 月別

死者は、8月、9月が最多の10人、次いで12月の9人、少なかったのは6月の1人となっている。

月間死者数の構成率が過去10年間の各月平均を下回ったのは、3月、4月、6月、7月、11月であった。 （単位：人・%）



イ 時間別・曜日別

時間別では、9時～10時・14時～15時の8人が最も多くなっている。

曜日別では水曜日が最多の16人、月曜日が最小の4人となっている。

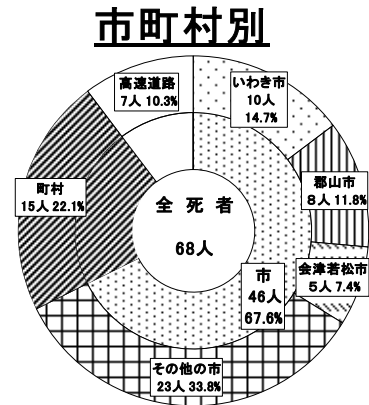
(単位：人)

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合
曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	計
日	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	2	1	1	2	1	0	0	0	0	0	12
月	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	1	2	0	11
水	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	1	1	1	0	3	0	1	1	1	0	1	0	0	1	16
木	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	6
金	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	5
土	0	0	1	0	0	1	0	1	2	3	1	1	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	14
合計	0	1	1	4	1	2	3	3	3	8	3	4	1	1	8	4	5	5	5	0	1	2	2	1	68

ウ 市町村別

死者数の最も多い市町村はいわき市の10人で、次いで郡山市8人、会津若松市の5人の順に多い。

また、市部全体の死者数は46人で、全死者の67.6%を占めている。



エ 道路別、道路線形別、形状別

(ア) 道路別

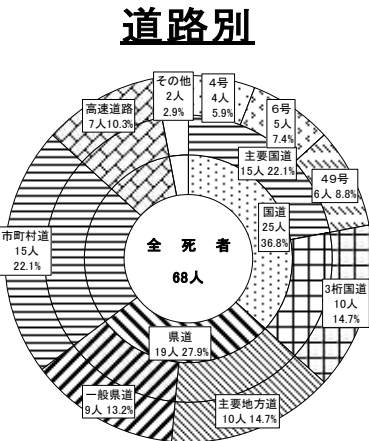
国道での死者が25人と多く、全死者の36.8%を占めている。次いで県道の19人(27.9%)となっている。

(イ) 道路線形別

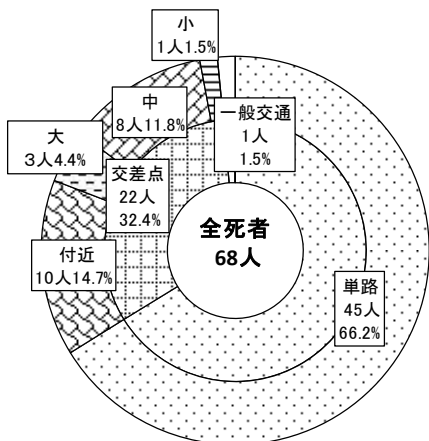
直線道路での死者は44人で全死者の64.7%を占め、カーブでの死者は23人で、右カーブ12人、左カーブ11人となっている。

(ウ) 道路形状別

単路での死者は45人で全死者の66.2%を占め、交差点での死者は22人で32.4%を占めている。

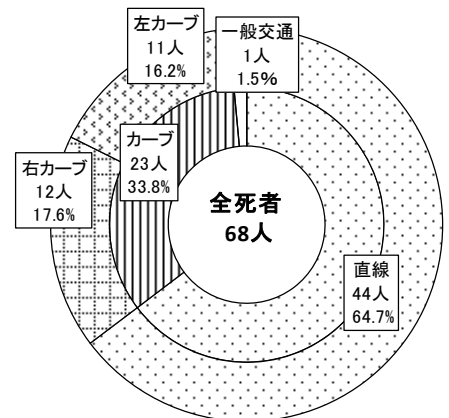


道路形状別



(注)  
 大交差点  
 道路幅員13m以上  
 中交差点  
 道路幅員  
 5.5m以上13m未満  
 小交差点  
 道路幅員5.5m未満

道路線形別



オ 第1当事者別 (64件)

(ア) 車種別

普通乗用車の事故が19件で全死亡事故の29.7%を占め最も多く、次いで軽乗用車14件、大型貨物車8件の順となっている。

(イ) 年齢別

高齢者による事故が17件で最も多く、次いで50歳代が12件、40歳代が11件と多くなっている。

(単位：件)

当事者 年齢	乗用車					貨物車					特殊車	二輪車		自転車	歩行者	その他	合計
	大型	中型	準中型	普通	軽	大型	中型	準中型	普通	軽		自動二輪	原付				
16歳未満																	0
16～19歳					2												2
20歳代	20～24歳			1													1
	25～29歳			2	2	2											6
30歳代	30～34歳							1		1							2
	35～39歳			2	2		1										5
40歳代	40～44歳			2	1	3						2					8
	45～49歳	1			1					1							3
50歳代	50～54歳			1		1						2					4
	55～59歳			3		1		1		1		2					8
60歳代	60～64歳			4	1	1				1			1				8
	65～69歳				3					1			1				5
70歳代	70～74歳			1	1					1			1	2			6
	75～79歳			2													2
80歳以上				1	1					1				1			4
その他(当事者不明)																	0
合計	1	0	0	19	14	8	1	2	0	7	0	6	3	3	0	0	64
内数	子ども																0
	小学生																0
	中学生																0
	高校生																0
	高齢者				4	5					3		2	3			17
	男女別	1			16	8	8	1	2		6		6	3	2		53
性別				3	6					1				1			11
原外居住者	1					4	1	1				1					8

(ウ) 年齢別・死亡事故発生率

免許人口1万人に対する死亡事故率は、全体の0.5に対して10歳代が1.3と高い。

(単位：件・人)

区分 年齢	男性			女性			合計			
	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	
青年	10歳代	8,561		0.0	6,917	2	2.9	15,478	2	1.3
	20～24歳	40,349	1	0.2	36,071		0.0	76,420	1	0.1
	計	48,910	1	0.2	42,988	2	0.5	91,898	3	0.3
25～29歳	44,150	5	1.1	39,003	1	0.3	83,153	6	0.7	
30歳代	106,092	4	0.4	96,532	3	0.3	202,624	7	0.3	
40歳代	124,504	10	0.8	115,589	1	0.1	240,093	11	0.5	
50歳代	121,788	10	0.8	114,743	2	0.2	236,531	12	0.5	
60～64歳	68,016	8	1.2	60,180		0.0	128,196	8	0.6	
高齢者	199,300	13	0.7	121,617	1	0.1	320,917	14	0.4	
合計	712,760	51	0.7	590,652	10	0.2	1,303,412	61	0.5	

(注1) 自転車・歩行者の第1当事者は含まない (注2) 免許人口は平成29年12月末現在

(エ) 車種別、免許経過年数別

運転免許を要しない第1当事者の死亡事故については、自転車が3件発生した。

運転免許を要する車両による死亡事故61件中、10年以上経過した者による事故が49件80.3%を占めている。

(単位：件)

車種	乗用車					貨物車					特殊車	二輪車				合計	
	大	中	準	普	軽	大	中	準	普	軽		小型二輪	軽二輪	二種原付	原付		
経過年数	型	型	型	通		型	型	型	通								
有資格	1年未満				1												1
	1～2年				1												1
	2～3年				1					1							2
	3～4年				1												1
	4～5年																0
	10年未満				1	3	2					1					7
	10年以上	1			16	9	6	1	2		6	4	1		3		49
免許外・無免許																0	
合計	1	0	0	19	14	8	1	2	0	7	0	5	1	0	3	61	

(オ) 違反別

悪質違反による事故が23件となっており、全死亡事故件数の35.9%を占めている。

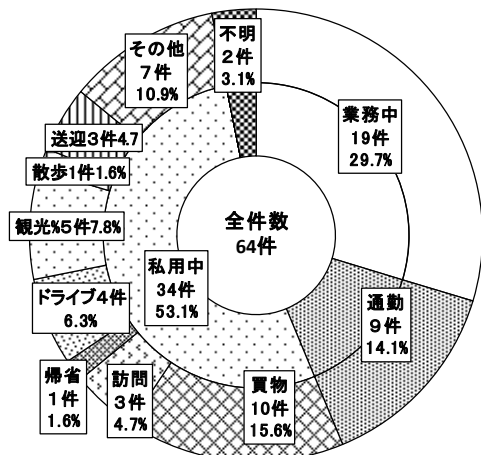
違反別でみると前方不注意が19件と最も多い。

(単位：件)

違反別	件数	違反別	件数	違反別	件数
悪質違反	信号無視	車両の違反	徐行違反	歩行者の違反	信号無視
	最高速度		過労等運転		横断歩道外横断
	通区・追越		安全運転義務違反		斜め横断
	歩行者妨害		ハンドル操作不適		走行車両直前直横断禁止場所
	一時不停止		ブレーキ操作不適		計
	酒酔い運転		前方不注意		飛び出し
	計		動静不注視		その他
	横断等禁止		安全不確認		計
	車間距離不保持		安全速度		不明
	進路変更禁止		予測不適		合計
右折違反	その他	内数(飲酒運転)			
左折違反	計				
優先通行妨害等					
交差点安全進行義務					

(カ) 通行目的別

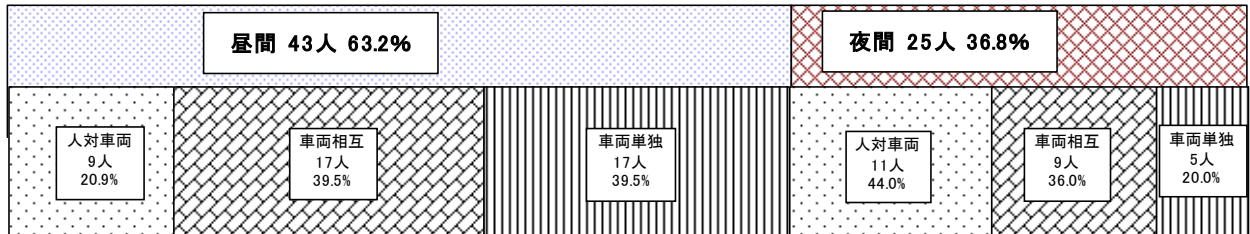
私用中に発生した事故が34件と全事故の53.1%を占めており、その中でも買い物の10件が最も多く、次いで観光の5件の順となっている。



カ 事故類型別死者数

人対車両	20人 (全死者の 29.4パーセント)
車両相互	26人 (全死者の 38.2パーセント)
車両単独	22人 (全死者の 32.4パーセント)

となっており、これを昼夜別でみると、昼間には車両相互、車両単独の死亡事故が多発し、夜間には人対車両の死亡事故の割合が高くなっている。

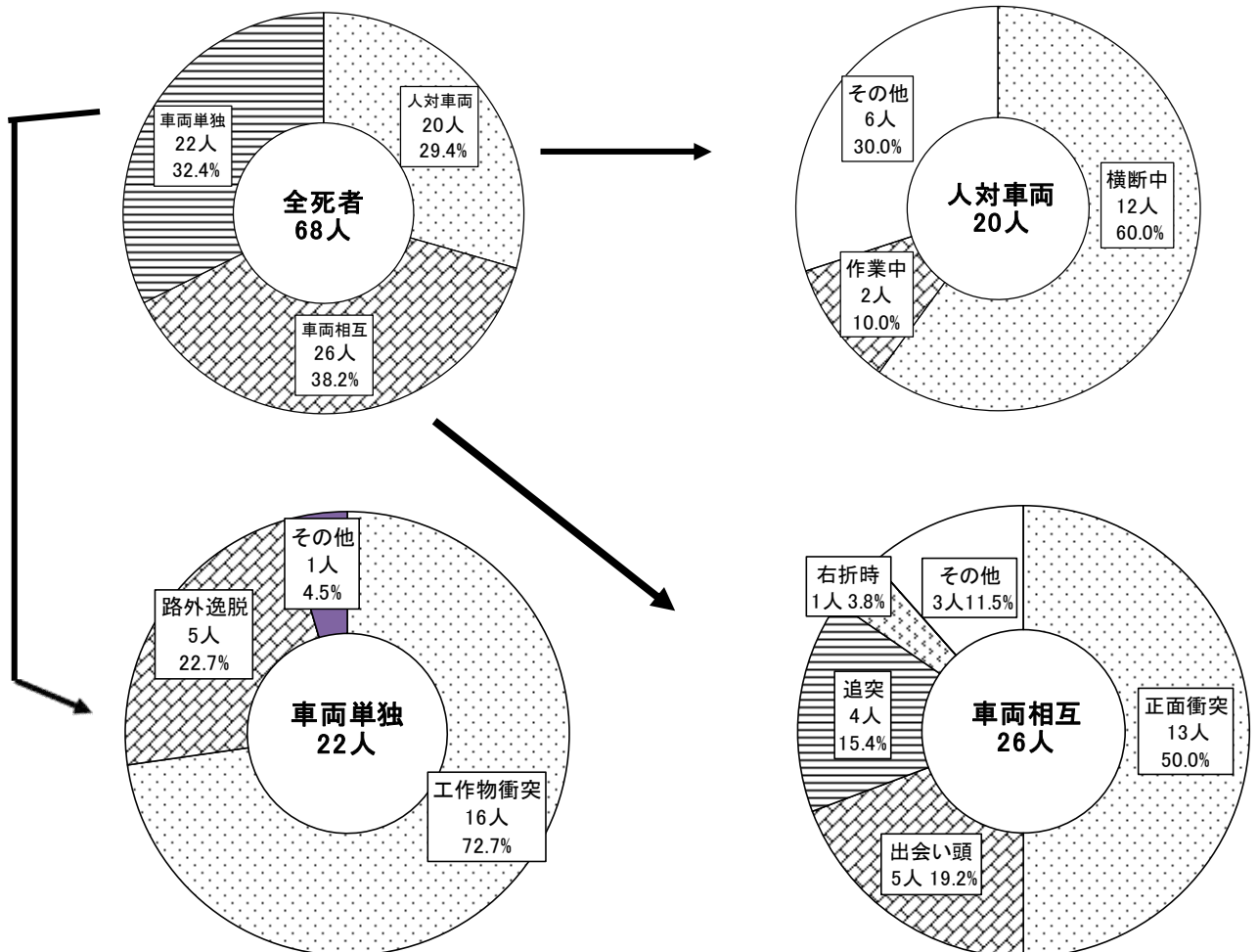


各、事故類型でみると

人対車両…横断中が12人と最も多く60.0パーセントを占めている。

車両相互…正面衝突が13人と最も多く50.0パーセントを占めている。

車両単独…工作物衝突が16人と最も多く72.7パーセントを占めている。



(3) 死者の状態

ア 当事者別

自動車運転の死者は 23 人で全死者の 33.8 パーセントを占め一番多い。次いで歩行中の 21 人 (30.9%) が続いている。 (単位：人・%)

区分	状態	自動車			自動二輪			原付乗車中		自転車乗車中		歩行中		その他	合計
		運転中		同乗	運転中		同乗	1当	2当	1当	2当	1当	2当		
		1当	2当		1当	2当									
死者		17	6	6	6	2		3		3	3		21	1	68
	構成率(%)	25.0	8.8	8.8	8.8	3.0	0.0	4.4	0.0	4.4	4.4	0.0	30.9	1.5	100.0

(注)2当には、3当以下の当事者を含む

イ 年齢別・状態別

高齢者の死者は 37 人(全死者の 54.4%)で、うち歩行者の死者は 15 人と多く高齢死者の 40.5 パーセントを占めている。

歩行中の死者に占める高齢者の割合は 21 人中 15 人 (71.4%)と構成率が高くなっている。

(単位：人)

年齢	状態	自動車				自動二輪		原乗付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運 転	同 乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
16歳未満										1		1
16～19歳												0
20歳代	20～24	1										1
	25～29	1	2									3
30歳代	30～34	1	1									2
	35～39											0
40歳代	40～44		1		1	3				1		6
	45～49		1							1		2
50歳代	50～54					3				1		4
	55～59	1				2				1		4
60歳代	60～64	1	2		1			1	1	1	1	8
	65～69	3	1		1			1		1		7
70歳代	70～74	2			2			1	3	2		10
	75～79	2		1	1					7		11
80歳以上		1	1					2		5		9
合計		13	9	1	6	8	0	3	6	21	1	68
内数	子ども											0
	幼児											0
	小学生									1		1
	中学生											0
	高校生											0
高齢者	高齢者	8	2	1	4			2	5	15		37
	男性	12	9	1	2	8		3	4	9	1	49
	女性	1			4				2	12		19

ウ 職業別

無職が 28 人と最も多く全死者の 41.2 パーセントを占め、次いで職業運転者、製造業、卸・小売業の 7 人の順となっている。

(単位：人)

職業	状態	自動車				自動二輪		原乗付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運 転	同 乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
職業運転者			3		1	2				1		7
公務員												0
農・林・漁業			1							1		2
鉱業		1										1
建設業			1			1			1			4
製造業		1				2				3	1	7
卸・小売業		1	2			2		2				7
運輸・郵便業			1			1						2
金融・保険業		1										1
電気・ガス・水道業			1									1
サービス業		1										1
子供										1		1
高校生												0
学生		1										1
主婦					1					3		4
無職		6		1	4			1	5	11		28
その他		1										1
合計		13	9	1	6	8	0	3	6	21	1	68

エ 状態別の違反

(ア) 歩行者

歩行者の死者21人のうち、11人(歩行者死者の52.4%)には何らかの違反があり、横断中の違反が6人と多く、違反のある歩行者死者の54.5パーセントを占めている。

(単位：人)

違反等 区分	信号無視	通行区分	横断					計	幼児歩	ひとり歩	はいいか	路上作業	飛び出し	その他	違反なし	合計
			横断歩道外	斜め横断	駐停車両後	直前直後	走行直後									
1 当							0								0	
2当以下		1	2	1		3	6		3				1	10	21	

(イ) 自転車

自転車乗用中の死者6人のうち4人に何らかの違反がありハンドル操作不適が2人と最も多い。

(単位：人)

違反 区分	信号無視	右側通行	横断等禁止	右折違反等	優先通行妨害	交差点安全進行	一時不停止	灯火違反	酒酔い運転	徐行場所違反	ハンドル操作不適	前方不注意	安全不確認	その他	違反なし	合計
2当以下					1										2	3

(ウ) 原付

原付乗車中の死者3人は、全員に何らかの違反があった。

(単位：人)

違反 区分	信号無視	最高速度	通行区分	横断等禁止	右折違反	一時不停止	優先通行	交差点安全	徐行	酒酔い運転	ハンドル操作不適	ブレーキ操作不適	前方不注意	その他	違反なし	合計
2当以下																0

(エ) 自動二輪

自動二輪車乗車中の死者8人のうち7人に何らかの違反があり、ハンドル操作不適が2人と多い。

(単位：人)

違反 区分	信号無視	最高速度	通行区分	右折違反	一時不停止	優先通行	交差点安全	酒酔い運転	徐行	ハンドル操作不適	前方不注意	安全不確認	安全速度	その他	違反なし	合計
2当以下							1								1	2
同乗																0

(オ) 自動車

自動車乗車中の死者は、運転中死者 23 人、同乗中死者 6 人の合計 29 人である。

運転中死者の違反別では、安全運転義務違反が 10 人で最も多く、運転中死者の 43.5 パーセントを占め、車両単独事故においても安全運転義務違反が 7 人と最も多い。

事故類型別では、正面衝突と車両単独による死者が、各運転中死者 9 人、同乗中死者 2 人の合計 22 人で、自動車乗車中の死者全体の 75.8 パーセントを占めている。

(単位：人)

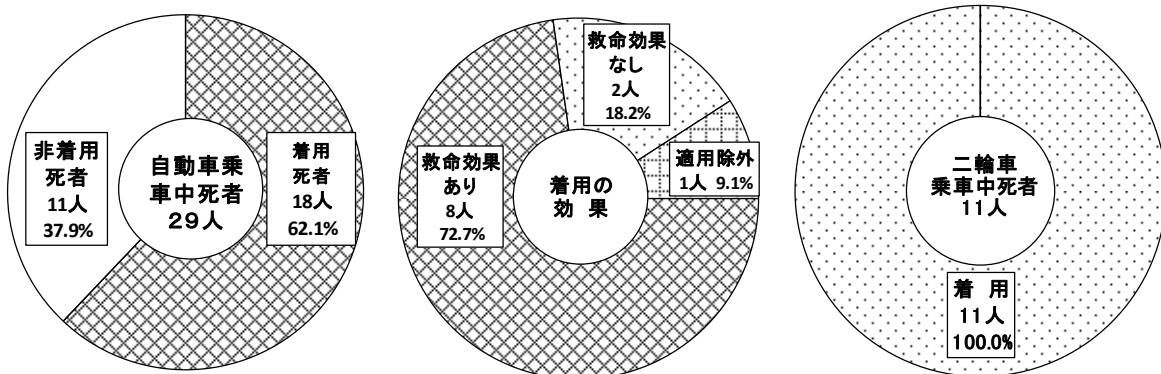
区分	違反	運 転 中															同乗中計	合計				
		信号無視	最高速度超過	通区・追越	一時不停止	酒酔い運転	優先通行妨害等	交差点安全進行	横断等禁止	過労等運転	安 全 運 転 義 務					その他の			違反なし			
											ハンドル・ブレーキ操作	前方不注意	動静不注意	安全不確認	安全速度					その他		
当事者	1 当		1	5								4	4			1	1	1	17		17	
	2 当							1											5	6	6	
	3 当以下																		0	0	6	
事故類型	正面衝突			5												1			3	9	2	11
	追突												1						2	3		3
	出会い頭							1												1		1
	追越・追抜																1			1	1	2
	転回時																			0		0
	右折時																			0	1	1
	その他																			0		
計		0	0	5	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	5	14	4	18	
車両単独			1																1	9	2	11
列車																				0		0
合計		0	1	5	0	0	0	1	0	0	4	4	0	0	1	1	1	5	23	6	29	

オ シートベルト・チャイルドシート・ヘルメット着用状況

(ア) シートベルト

自動車乗車中の死者 29 人中、シートベルトを着用していたのは 18 人で、着用率は 62.1 パーセントと低調である。

また、非着用死者 11 人中、8 人（非着用で死亡した者の 72.7%）はシートベルトを着用していたら救命効果があったと認められる。



(イ) ヘルメット

二輪乗車中の死者は 11 人であったが、全員ヘルメットを着用していた。



## 2 歩行者の事故

### (1) 概況

交通事故で死傷した歩行者は、

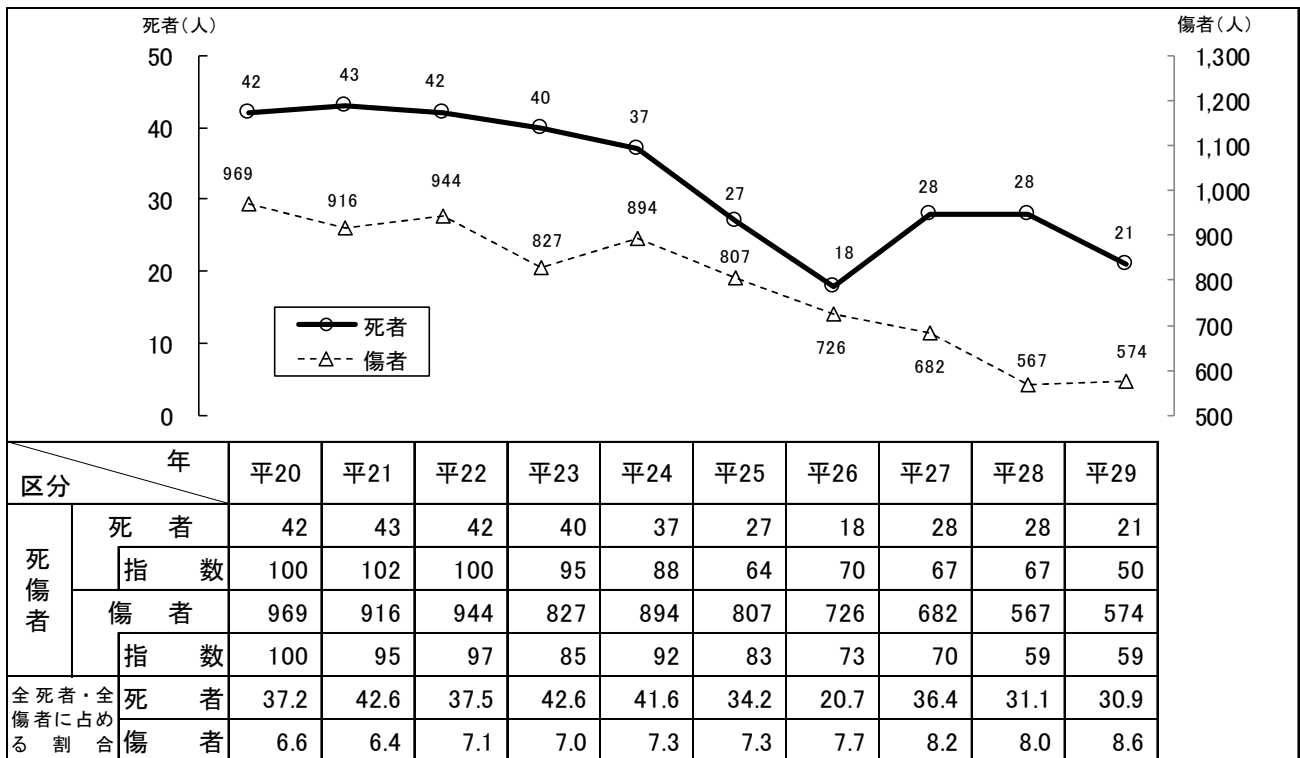
死者数 21人 (前年比 -7人 25.0%減)

傷者数 574人 (前年比 +7人 1.2%増)

で、死者数は減少したが、傷者数は増加した。

全死傷者に占める割合は、死者数は30.9パーセントで0.2ポイント減少し、傷者数は8.6パーセントで0.6ポイント増加した。

(単位：人・%)



### (2) 月別

死者は10月と12月が5人で最も多く、下半期の死者は17人(81.0%)と過半数を超えている。

傷者数は12月が74人で最も多く、次いで11月の64人、10月の60人の順となっている。

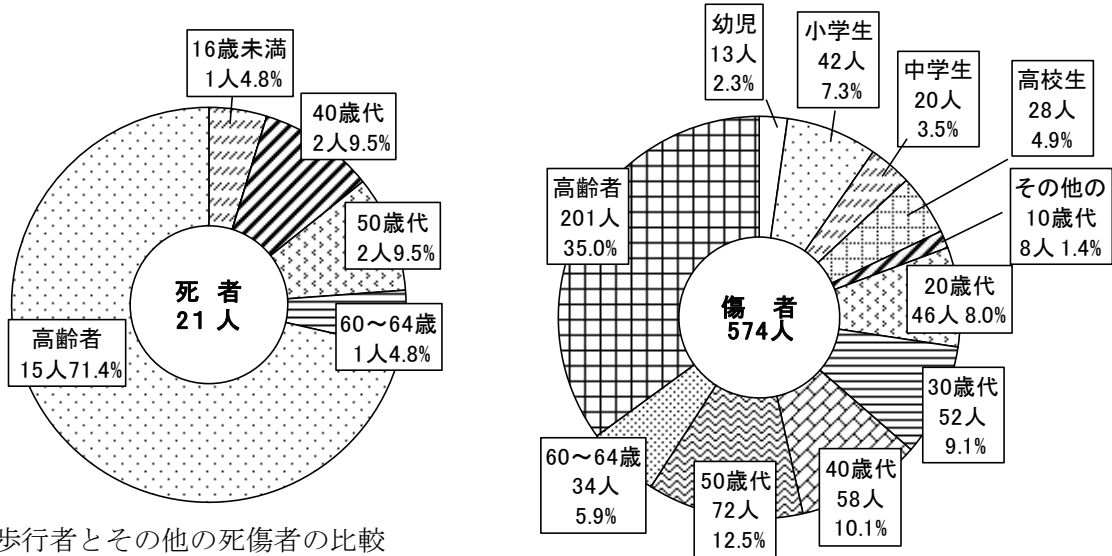
(単位：人・%)

区分		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者			1	2	1			1	4	1	5	1	5	21
	傷者		52	44	50	36	38	32	31	47	46	60	64	74	574
全死者・全傷者に占める割合	死者		0.0	20.0	66.7	33.3	0.0	0.0	25.0	40.0	10.0	83.3	20.0	55.6	30.9
	傷者		9.3	7.8	8.4	6.0	6.4	6.5	5.8	8.6	8.7	10.6	11.2	13.2	8.6

(3) 年齢別

ア 死者は高齢者が15人で最も多く、歩行者死者の71.4パーセントを占めている。

傷者も高齢者が201人と最も多く、歩行者傷者の35.0パーセントを占めている。



イ 歩行者とその他の死傷者の比較

構成率で比較すると、歩行者の高齢者死者は71.4パーセントであり、その他の高齢者死者の46.8パーセントの約1.5倍となっている。

歩行者の傷者のうち高齢者の占める割合は35.0パーセントであり、その他の傷者の高齢者が占める割合13.7パーセントの約2.6倍となっている。

(単位：人・%)

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
歩行者の死者	16歳未満	1	4.8	79	13.8	
	16~19歳		0.0	32	5.6	
	20歳代		0.0	46	8.0	
	30歳代		0.0	52	9.1	
	40歳代	2	9.5	58	10.1	
	50歳代	2	9.5	72	12.5	
	60歳代	60~64	1	4.8	34	5.9
		65~69	1	4.8	48	8.4
	70歳代	70~74	2	9.5	34	5.9
		75~79	7	33.3	55	9.6
80歳以上	5	23.8	64	11.1		
合計		21	100.0	574	100.0	
歩行者の傷者	内訳	幼児		0.0	13	2.3
		小学生	1	4.8	42	7.3
		中学生		0.0	20	3.5
		高校生		0.0	28	4.9
		高齢者	15	71.4	201	35.0
		合計		21	100.0	574

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
その他の死者	16歳未満	0	0.0	249	4.1	
	16~19歳	0	0.0	301	4.9	
	20歳代	4	8.5	1,060	17.3	
	30歳代	2	4.3	1,206	19.7	
	40歳代	6	12.8	1,189	19.4	
	50歳代	6	12.8	888	14.5	
	60歳代	60~64	7	14.9	401	6.5
		65~69	6	12.8	362	5.9
	70歳代	70~74	8	17.0	208	3.4
		75~79	4	8.5	154	2.5
80歳以上	4	8.5	118	1.9		
合計		47	100.0	6,136	100.0	
その他の傷者	内訳	幼児	0	0.0	55	0.9
		小学生	0	0.0	74	1.2
		中学生	0	0.0	99	1.6
		高校生	0	0.0	183	3.0
		高齢者	22	46.8	842	13.7
		合計		47	100.0	6,136

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は8～10時・16～18時の4人が歩行者死者のそれぞれ19.0パーセントを占め最も多く、次いで18～20時の3人となっている。

傷者については、16～18時の122人が歩行者傷者の21.3パーセントを占め最も多く、次いで16～18時の122人となっている。 (単位：人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者			2	1		4	2		2	4	3	2	1	21
	構成率(%)	0.0	9.5	4.8	0.0	19.0	9.5	0.0	9.5	19.0	14.3	9.5	4.8	100.0
傷者		15	10	13	47	54	60	42	52	122	105	33	21	574
	構成率(%)	2.6	1.7	2.3	8.2	9.4	10.5	7.3	9.1	21.3	18.3	5.7	3.7	100.0

イ 昼夜別

死者は夜間が12人と多く、歩行者死者の57.1パーセントを占めている。

傷者は昼間が315人と多く、歩行者傷者の54.9パーセントを占めている。 (単位：人・%)

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死者			8	1	9	3	8	1	12	21
	構成率(%)	0.0	38.1	4.8	42.9	14.3	38.1	4.8	57.1	100.0
傷者		16	269	30	315	82	170	7	259	574
	構成率(%)	2.8	46.9	5.2	54.9	14.3	29.6	1.2	45.1	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は夜間の高齢者が9人と多く、歩行者死者の42.9パーセントを占めている。

傷者は昼夜間とも子ども、高齢者以外の者が多くなっている。 (単位：人・%)

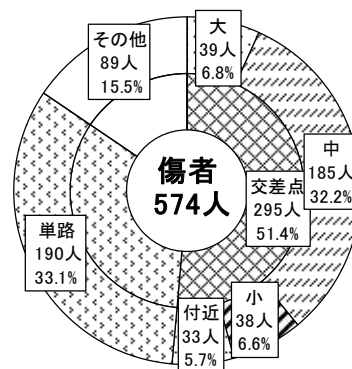
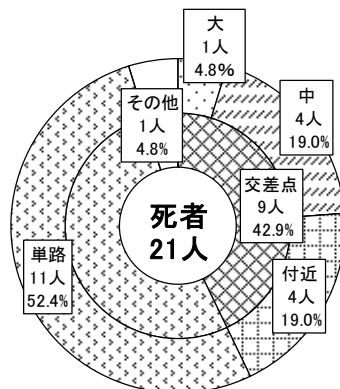
区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者		1	6	2	9		9	3	12	21
	構成率(%)	4.8	28.6	9.5	42.9	0.0	42.9	14.3	57.1	100.0
傷者		63	117	135	315	12	84	163	259	574
	構成率(%)	11.0	20.4	23.5	54.9	2.1	14.6	28.4	45.1	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

歩行中の死者は単路が11人と多く、52.4パーセントを占めている。交差点での死者は9人で、「大交差点」は1人、「中交差点」は4人、「交差点付近」は4人であった。

傷者は交差点が295人と多く、51.4パーセントを占めており、なかでも「中」交差点の占める割合が高い。



イ 道路形状

別・信

号機の有

無・歩車道の区分別

信号機の有無で比較すると、信号機のない単路での死者は11人で、歩行者死者の52.4パーセントを占めている。

歩車道の区分別では、区分ありでの死者が多く、17人と歩行者死者の81.0%を占め、傷者についても404人で歩行者傷者の70.4パーセントを占めている。

(単位：人)

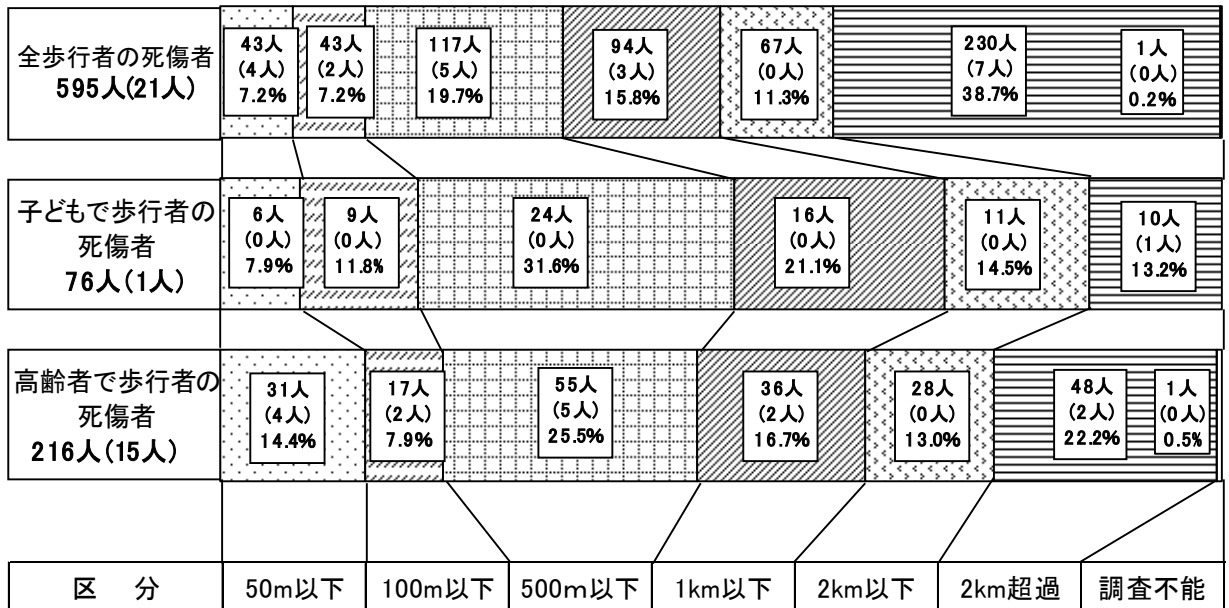
信号機、歩車道区別の有無		道路形状		交 差 点				計	単路	その他	合 計
				大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死 者		2			2			2	
		傷 者	34	129	12	3	178	1		179	
	信号機なし	死 者	1	2		4	7	11	1	19	
		傷 者	5	56	26	30	117	189	89	395	
合 計		死 者	1	4	0	4	9	11	1	21	
		傷 者	39	185	38	33	295	190	89	574	

歩車道	区 分 あり	防護柵等	死 者	1				1			1
			傷 者	4	5		1	10	7		17
		縁石等	死 者		3		3	6	6		12
			傷 者	34	147	18	14	213	87	4	304
	路側帯	死 者				1	1	3		4	
		傷 者	1	20	7	7	35	48		83	
	区分なし		死 者		1			1	2	1	4
			傷 者		13	13	11	37	48	85	170
合 計		死 者	1	4	0	4	9	11	1	21	
		傷 者	39	185	38	33	295	190	89	574	

ウ 自宅からの距離

自宅から2km超過の死傷者が230人で歩行者死傷者の38.7パーセントを占めている。

また、死者は7人で歩行者死者の33.3パーセントを占めている。

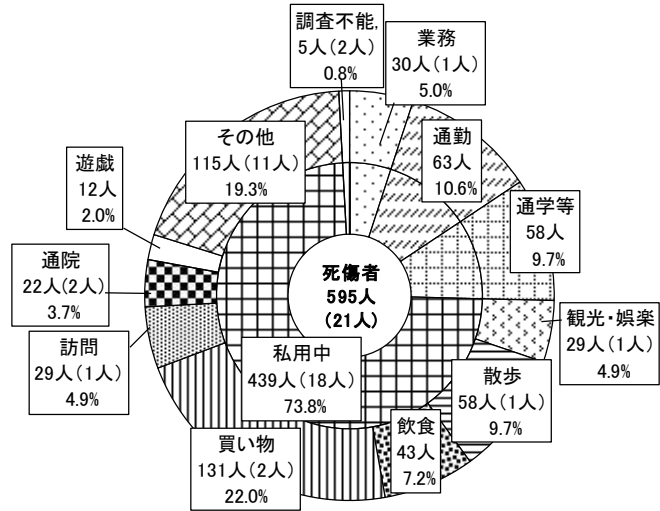


( )内は死者数で内数

(6) 通行目的別

歩行者の死傷者のうち私用中の事故が439人で73.8パーセントを占めている。

うち買い物目的が最も多く131人22.0パーセントとなっている。



( )内は死者数で内数

(7) 状態別等

ア 状態別

死者、傷者とも道路横断中が多く、死者は12人で歩行者死者の57.1パーセント、傷者は338人で歩行者傷者の58.9パーセントを占めている。

(単位：人・%)

状態 区分	人 対 車 両														人 対 車 両 以 外	合 計
	対 面 通 行 中	背 面 通 行 中	横 断 中					計	路 上 遊 戯 中	路 上 作 業 中	路 上 停 止 中	歩 道 通 行 中	路 側 帯 通 行 中	そ の 他		
			横 断 歩 道	横 断 歩 道 付 近	横 断 歩 道 橋 付 近	そ の 他										
死 者	0	3	3	1	0	8	12	0	2	2	0	0	1	1	21	
構成率(%)	0.0	14.3	14.3	4.8	0.0	38.1	57.1	0	9.5	9.5	0.0	0.0	4.8	4.8	100.0	
傷 者	29	56	200	14	2	122	338	1	7	22	13	6	93	9	574	
構成率(%)	5.1	9.8	34.8	2.4	0.3	21.3	58.9	0.2	1.2	3.8	2.3	1.0	16.2	1.6	100.0	

イ 横断場所・道路形状別

横断中の死者12人のうち、交差点での死者は9人で横断中死者の75.0パーセントを占め、交差点内の傷者244人のうち、191人(78.3%)が横断歩道を横断中に事故に遭っている。

横断歩道等以外のその他横断中の死者は8人で横断中死者の66.7パーセントを占めている。

(単位：人・%)

道路形状 横断場所	交 差 点						計	そ の 他		合 計			
	交 差 点 内		交 差 点 付 近		死 者	傷 者		死 者	傷 者	死 者	傷 者	構 成 率 (%)	
	死 者	傷 者	死 者	傷 者								死 者	傷 者
横 断 中	横 断 歩 道	3	191		1	3	192		8	3	200	25.0	59.2
	横 断 歩 道 付 近	1	6		7	1	13		1	1	14	8.3	4.1
	横 断 歩 道 橋 付 近		2			0	2			0	2	0.0	0.6
	そ の 他	1	45	4	10	5	55	3	67	8	122	66.7	36.1
合 計					9	262	3	76	12	338	100	100	

ウ 横断開始場所

横断中の死傷者の横断開始場所は「その他」が最も多く、死者は 10 人(83.3%)、傷者は 292 人(86.4%)となっている。

「車両の陰から」の傷者は 20 人で、うち 15 人(75.0%)は子どもの傷者となっている。

(単位：人・%)

横断場所		車両の陰から			建物	物陰から	路地から	その他
		駐車車両	停止車両	進行車両				
区分								
子 ども	死 者							
	傷 者		11	4	1		1	57
高 齢 者	死 者						1	10
	傷 者			3	4		11	114
そ の 他	死 者						1	
	傷 者		2		1	1	7	121
合 計	死 者	0	0	0	0	0	2	10
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3
	傷 者	0	13	7	6	1	19	292
	構成率(%)	0.0	3.8	2.1	1.8	0.3	5.6	86.4

(8) 違反別

(単位：人・%)

ア 違反状況を見ると、何らかの違反があった死者は 11 人で 52.4%を占め、傷者は 164 人で 28.6%となっている。

イ 死者の違反は、横断中が 6 人と多く、違反あり死者の 54.5%を含め、次いで酩酊・徘徊の 3 人(27.3%)が続いている。

横断中では、走行車両直前・直後が 3 人で最も多く、横断中の違反あり死者の 50.0 パーセントを占めている。

傷者の違反も横断中が 74 人と多く、違反あり傷者の 45.1 パーセントを占めている。

違 反	死 傷 者		死 傷 者	
	死 者	傷 者	構成率(%)	構成率(%)
信 号 無 視		6	0.0	1.0
通 行 区 分	1	23	4.8	4.0
横 断 中	横 断 歩 道 外	44	2	7.7
	斜 め 横 断	6	1	1.0
	駐 停 車 車 両 直 前 ・ 直 後	6		1.0
	走 行 車 車 両 直 前 ・ 直 後	17	3	3.0
	横 断 禁 止 場 所	1		0.2
計	74	6	12.9	28.6
酩 酊 ・ 徘 徊	6	3	1.0	14.3
路 上 遊 戯	2		0.3	0.0
路 上 作 業	3		0.5	0.0
飛 び 出 し	27		4.7	0.0
そ の 他 の 違 反	23	1	4.0	4.8
違 反 な し	410	10	71.4	47.6
調 査 不 能			0.0	0.0
合 計	574	21	100.0	100.0

### 3 自転車の事故

#### (1) 概況

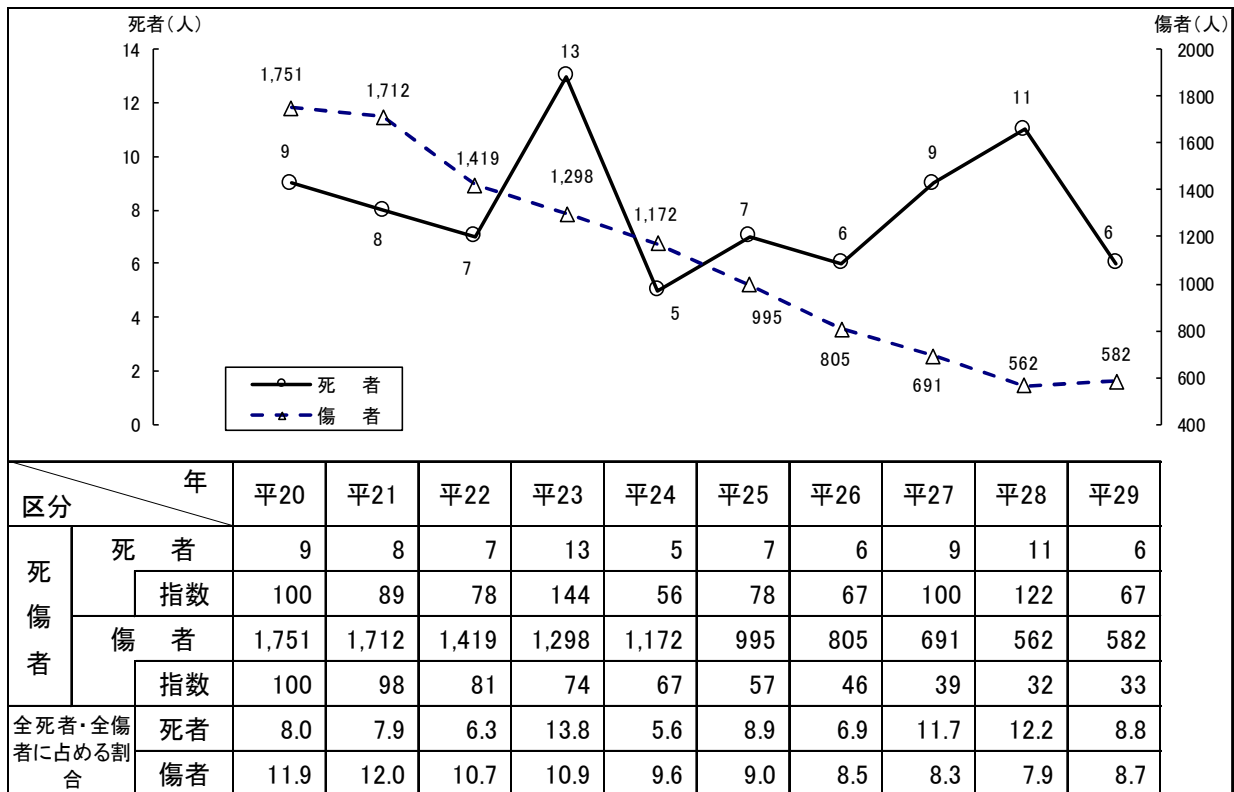
交通事故で死傷した人は

死者数 6人 (前年比 -5人 45.5%減)

傷者数 582人 (前年比 +20人 3.6%増)

で、死者は減少したが、負傷者は増加した。

全死者数に占める割合は8.8パーセントで3.4ポイントの減少、全傷者数に占める割合は8.7パーセントで0.8ポイント増加した。 (単位：人・%)



#### (2) 月別

死者数は9月に2人、2月、3月、10月、12月で各1人となっている。傷者は、9月が65人と最も多く、次いで5月の63人の順となっている。

上半期、下半期で比較すると死者数、傷者数とも下半期が多い。

(単位：人・%)

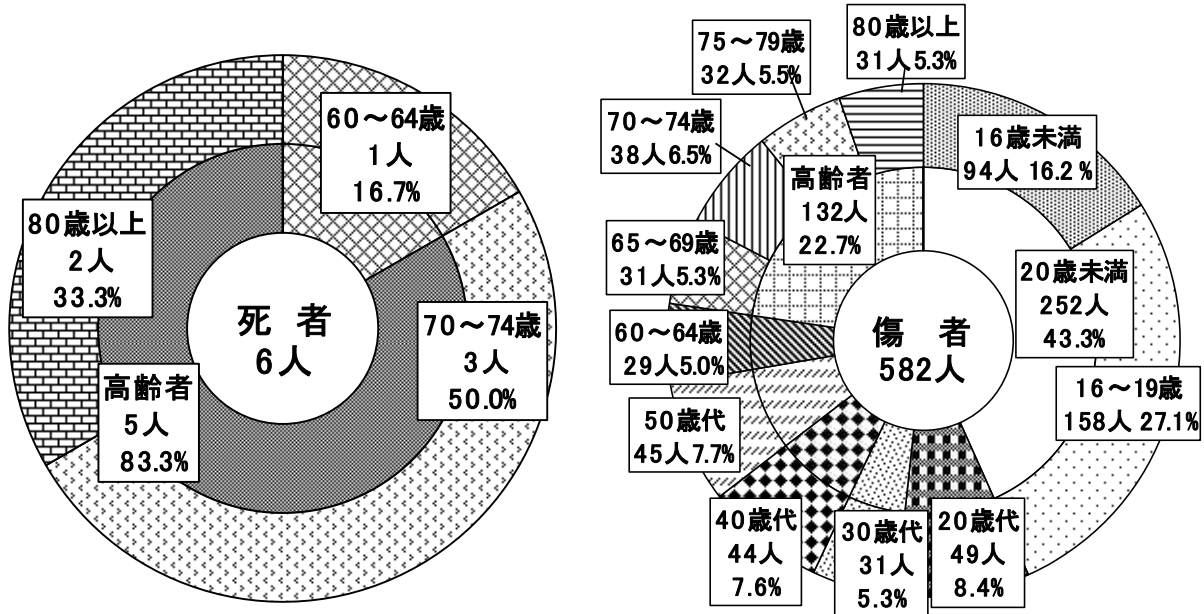
区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		被害	死者		1	1						2	1	
傷者	41		34	32	46	63	46	54	44	65	49	51	57	582
全死傷者に占める割合	死者	0.0	20.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	16.7	0.0	11.1	8.8
	傷者	7.3	6.1	5.4	7.6	10.6	9.4	10.2	8.0	12.2	8.7	8.9	10.2	8.7

(3) 年齢別

ア 年齢別

死者は、高齢者が5人と多く、自転車死者の83.3パーセントを占める。

傷者は20歳未満が252人と多く、自転車傷者の43.3パーセントを占めている。



イ 自転車とその他の死傷者の比較

自転車の死傷者とその他の死傷者を比較すると、20歳未満がその他の死傷者より、自転車の死傷者の占める割合が高い。

(単位：人・%)

(単位：人・%)

年齢	区分	死 者		傷 者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
自転車 の 死	16歳未満	0	0.0	94	16.2	
	16～19歳	0	0.0	158	27.1	
	20歳代	0	0.0	49	8.4	
	30歳代	0	0.0	31	5.3	
	40歳代	0	0.0	44	7.6	
	50歳代	0	0.0	45	7.7	
	60歳代	60～64	1	16.7	29	5.0
		65～69	0	0.0	31	5.3
	70歳代	70～74	3	50.0	38	6.5
		75～79	0	0.0	32	5.5
80歳以上	2	33.3	31	5.3		
<b>合 計</b>		<b>6</b>	<b>100.0</b>	<b>582</b>	<b>100.0</b>	
傷 者	内 訳	幼 児	0	0.0	0	0.0
		小 学 生	0	0.0	21	3.6
		中 学 生	0	0.0	56	9.6
		高 校 生	0	0.0	148	25.4
		高 齢 者	5	83.3	132	22.7

年齢	区分	死 者		傷 者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
そ の 他 の 死	16歳未満	1	1.6	234	3.8	
	16～19歳	0	0.0	175	2.9	
	20歳代	4	6.5	1057	17.2	
	30歳代	2	3.2	1227	20.0	
	40歳代	8	12.9	1203	19.6	
	50歳代	8	12.9	915	14.9	
	60歳代	60～64	7	11.3	406	6.6
		65～69	7	11.3	379	6.2
	70歳代	70～74	7	11.3	204	3.3
		75～79	11	17.7	177	2.9
80歳以上	7	11.3	151	2.5		
<b>合 計</b>		<b>62</b>	<b>100.0</b>	<b>6,128</b>	<b>100.0</b>	
傷 者	内 訳	幼 児	0	0.0	68	1.1
		小 学 生	1	1.6	95	1.6
		中 学 生	0	0.0	63	1.0
		高 校 生	0	0.0	63	1.0
		高 齢 者	32	51.6	911	14.9



(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は4～12時の間に4人で、自転車死者の66.7パーセンを占め、次いで14～16時、18～20時に各1人となっている。

傷者は16～18時が102人で、自転車傷者の17.5パーセントを占め最も多く、次いで8～10時の91人の順となっている。  
(単位：人・%)

区分 \ 時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者			1	1	1	1		1		1			6
構成率(%)	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	100.0
傷者		1	4	79	91	59	65	70	102	84	21	6	582
構成率(%)	0.0	0.2	0.7	13.6	15.6	10.1	11.2	12.0	17.5	14.4	3.6	1.0	100.0

イ 昼夜別

昼間の死者は4人、傷者は457人と死者、傷者ともに昼間が多い。

ウ 年齢別・昼夜別

死者は昼間の高齢者が4人で66.7パーセント、夜間の高齢者、その他の各1人でそれぞれ16.7パーセントを占めている。

傷者は、昼間のその他が174人、子どもが172人と多く、合わせると自転車傷者の59.5パーセントを占めている。

(単位：人・%)

区分 \ 昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
	薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死者		4		4	1	1		2	6
構成率(%)	0.0	66.7	0.0	66.7	16.7	16.7	0.0	33.3	100.0
傷者	19	379	59	457	57	67	1	125	582
構成率(%)	3.3	65.1	10.1	78.5	9.8	11.5	0.2	21.5	100.0

(単位：人・%)

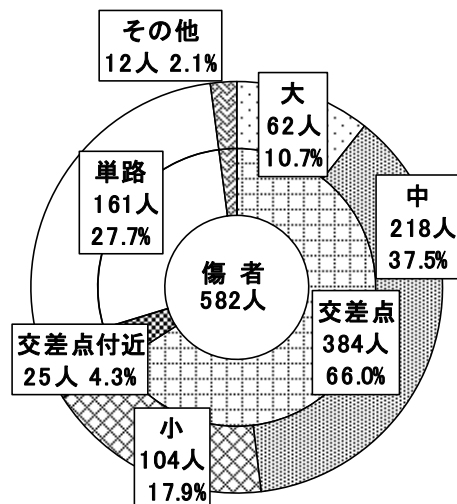
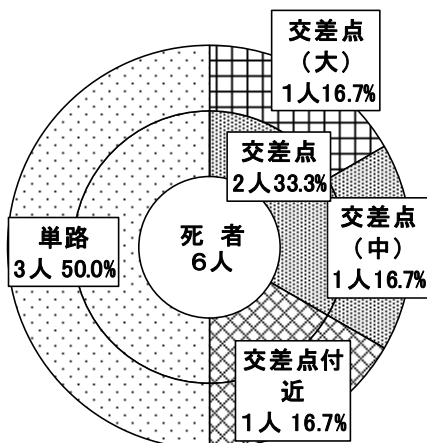
区分 \ 昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
	子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者		4		4		1	1	2	6
構成率(%)	0.0	66.7	0.0	66.7	0.0	16.7	16.7	33.3	100.0
傷者	172	111	174	457	53	21	51	125	582
構成率(%)	29.6	19.1	29.9	78.5	9.1	3.6	8.8	21.5	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

死者は、単路が3人で自転車死者の50.0パーセントを占め、傷者は交差点が384人で自転車傷者の66.0パーセントを占めている。

交差点の大きさで見ると、傷者は「中」交差点での発生が多い。



イ 道路形状別・信号機の有無別

自転車死者は、信号機の無い交差点と単路で各3人となっている。

(単位：人)

信号機の有無		道路形状	交 差 点				計	単路	その他	合 計
			大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死 者					0			0
		傷 者	55	81	10	7	153	3		156
	信号機なし	死 者	1	1		1	3	3		6
		傷 者	7	137	94	18	256	158	12	426
合 計		死 者	1	1	0	1	3	3	0	6
		傷 者	62	218	104	25	409	161	12	582

(6) 道路形状別・事故類型別

死者は交差点、その他各3人で、傷者は交差点で409人(70.3%)と交差点が多くなっている。

事故類型別では、車両単独事故による死者が4人(66.7%)と多く、傷者は車両相互の出会い頭333人(57.2%)となっている。

(単位：人・%)

道路形状		交 差 点				計		その他		合 計			
		交差点内		交差点付近						構成率(%)			
		事故類型		死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者
人 対 車 両						0	0		1	0	1	0.0	0.2
車 両 相 互	正 面 衝 突					0	0		1	0	1	0.0	0.2
	追 突	1	1		1	1	2		10	1	12	16.7	2.1
	出 会 い 頭	1	228		11	1	239		94	1	333	16.7	57.2
	追 越 ・ 追 抜		3		4	0	7		9	0	16	0.0	2.7
	転 回 ・ 後 退 時		4		2	0	6		8	0	14	0.0	2.4
	進 路 変 更 時					0	0		2	0	2	0.0	0.3
	す れ 違 い 時		1		1	0	2		5	0	7	0.0	1.2
	左 折 時		70		3	0	73		22	0	95	0.0	16.3
	右 折 時		75		2	0	77		11	0	88	0.0	15.1
そ の 他		2		1	0	3		7	0	10	0.0	1.7	
計		2	384	0	25	2	409	0	169	2	578	33.3	99.3
車 両 単 独				1		1	0	3	3	4	3	66.7	0.5
列 車						0	0			0	0	0.0	0.0
合 計		2	384	1	25	3	409	3	173	6	582	100.0	100.0

(7) 自宅からの距離

事故発生場所から自宅までの距離をみると、死者は高齢者の101m～1000m以内が多く、傷者は子供とその他の2km超過、高齢者は2km以内が多い。

(単位：人・%)

区分	距離	50m以内	100m以内	500m以内	1km以内	2km以内	2km超過	調査不能	合 計
		子 ども	4	4	13	16	15	25	
	構成率(%)	5.2	5.2	16.9	20.8	19.5	32.5	0.0	100.0
高 齢 者		3	3	② 23	② 32	43	① 33		⑤ 137
	構成率(%)	2.2	2.2	16.8	23.4	31.4	24.1	0.0	100.0
そ の 他		7	8	44	63	90	① 161	1	① 374
	構成率(%)	1.9	2.1	11.8	16.8	24.1	43.0	0.3	100.0
合 計		14	15	② 80	② 111	148	② 219	1	⑥ 588
	構成率(%)	2.4	2.6	13.6	18.9	25.2	37.2	0.2	100.0

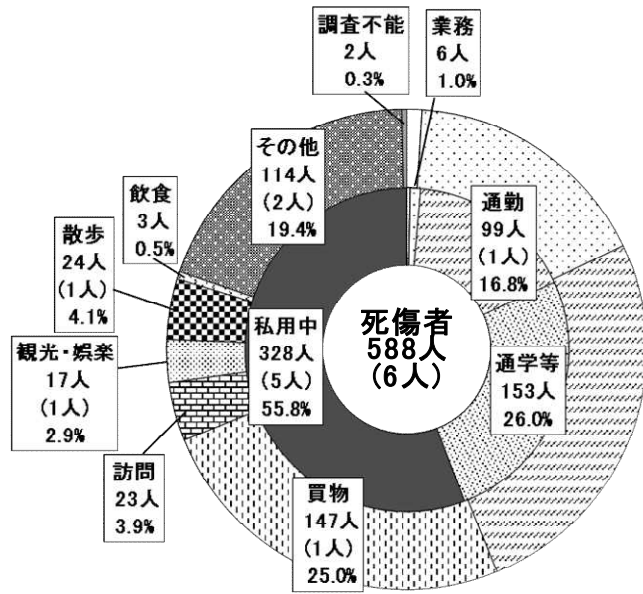
○は死者数で内数 ※同乗者を含まない。

(8) 通行目的別

通行目的は、私用中が 328 人で、55.8 パーセントを占めている。

なかでも買い物が 147 人で、25.0 パーセントを占めている。

通学等が 153 人 (26.0%)、通勤が 99 人 (16.8%) と多い。



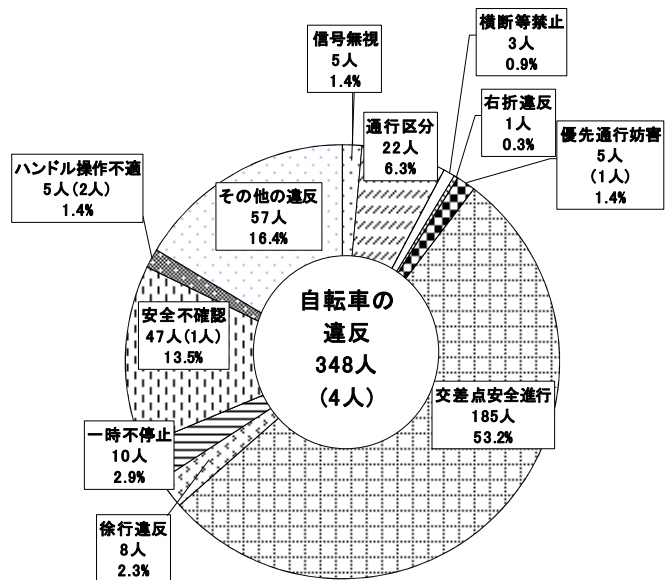
( )内は死者数で内数

(9) 違反別

死者のうち何らかの違反があったのは 4 人 (66.7%)、同じく傷者では 344 人 (59.1%) となっている。

(単位：人・%)

違反	死 者		傷 者	
	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)
信号無視		0.0%	5	0.9%
通行区分		0.0%	22	3.8%
横断等禁止		0.0%	3	0.5%
右折違反		0.0%	1	0.2%
優先通行妨害	1	16.7%	4	0.7%
交差点安全進行		0.0%	185	31.8%
徐行違反		0.0%	8	1.4%
一時不停止		0.0%	10	1.7%
酒酔い運転		0.0%		0.0%
安全不確認	1	16.7%	46	7.9%
ハンドル操作不適	2	33.3%	3	0.5%
その他の違反		0.0%	57	9.8%
違反なし	2	33.3%	238	40.9%
合計	6	100.0%	582	100.0%



( )内は死者数で内数

内数	夜間事故		うち無灯火	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
夜間事故	2	33.3%	125	21.5%
うち無灯火		0.0%	19	15.2%

#### 4 子供の事故

##### (1) 概況

交通事故により死傷した子供は、

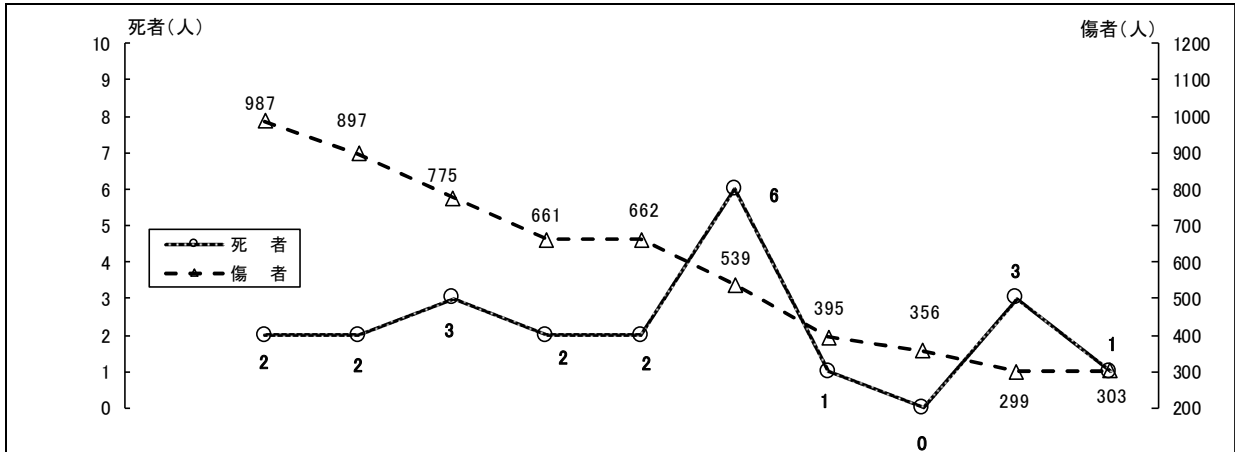
死者数 1人（前年比 -2人 66.7%減）

傷者数 303人（前年比 +4人 1.3%増）

で、死者数は減少したが、傷者数は増加した。

全死者に占める割合は1.5パーセントで、1.8ポイント減少し、全傷者に占める割合は4.5パーセントで0.3ポイント増加した。

（単位：人・％）



区分		年										
		平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	
死傷者	死者	2	2	3	2	2	6	1	0	3	1	
	指数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	傷者	987	897	775	661	662	539	395	356	299	303	
	指数	100	91	79	67	67	55	40	36	30	31	
全死者・全傷者に占める割合	死者	1.8	2.0	2.7	2.1	6.7	7.6	1.1	0.0	3.3	1.5	
	傷者	6.5	6.7	6.3	5.8	5.6	4.9	4.2	4.3	4.2	4.5	

##### (2) 月別

死者は8月に1人で、傷者数は9月の33人が最も多く、次いで6月の32人の順となっている。

（単位：人・％）

区分		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
被害	死者								1					1
	傷者	25	21	28	23	29	32	19	20	33	25	18	30	303
全死者・全傷者に占める割合	死者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5
	傷者	4.5	3.7	4.7	3.8	4.9	6.5	3.6	3.6	6.2	4.4	3.1	5.4	4.3

(3) 状態別

傷者は自動車同乗中の151人(49.8%)が最も多く、次いで自転車乗車中の77人(25.4%)の順となっている。

(単位：人・%)

区分	状態	自動車同乗中		自動二輪乗車中		原付乗車中		自転車乗車中		歩行者	その他	合計
		同乗中		運 転	同 乗	運 転	同 乗	運 転	同 乗			
死 者										1		1
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
傷 者		151						77		75		303
	構成率(%)	49.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.4	0.0	24.8	0.0	100.0

(4) 状態別・学齢別

(単位：人)

傷者は、中学2年生の43人が最も多く、次いで中学3年生40人、幼稚園児38人の順となっている。

歩行者の傷者は、小学3年生の12人が最も多く、次いで幼稚園児、小学1年生、小学2年生、中学3年生の8人の順となっている。

自転車の傷者は、中学生2年生の20人が最も多く、次いで中学1年生、中学3年生の18人の順となっている。

学 齢	状 態	歩行者		自転車		その他		合 計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
幼 児	未 就 学 児		5				25	0	30
	幼 稚 園 児		8				30	0	38
	計	0	13	0	0	0	55	0	68
小 学 生	1 年 生		8		1		14	0	23
	2 年 生		8		4		4	0	16
	3 年 生		12		4		12	0	28
	4 年 生		4		5		9	0	18
	5 年 生		5		3		5	0	13
	6 年 生	1	5		4		9	1	18
	計	1	42	0	21	0	53	1	116
中 学 生	1 年 生		6		18		12	0	36
	2 年 生		6		20		17	0	43
	3 年 生		8		18		14	0	40
	計	0	20	0	56	0	43	0	119
合 計	1	75	0	77	0	151	1	303	

(5) 時間別・昼夜別

(単位：人・%)

傷者は昼間が多く80.9パーセントを占めている。

時間別で、傷者は、下校時間帯及び放課後となる16～18時の70人が最も多く、次いで14～16時の61人の順となっている。

区分	昼夜	昼 間		夜 間		合 計	
		薄 暮		薄 暮		薄 暮	
死 者		1				1	0
	構成率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
傷 者		245	22	58	29	303	51
	構成率(%)	80.9	7.3	19.1	9.6	100.0	16.8

\* 薄暮時は内数

(単位：人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合 計
		死 者								1				
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
傷 者		1		1	47	22	21	33	61	70	41	3	3	303
	構成率(%)	0.3	0.0	0.3	15.5	7.3	6.9	10.9	20.1	23.1	13.5	1.0	1.0	100

(6) 学齢別・通行目的別

学齢で見ると、幼児、小学生は、買い物での被害が多く、中学生は登下校時の被害が多い。

通行目的の中に占める通学等の割合は、幼児が 13.3 パーセント、小学生は 24.0 パーセント、中学生は 49.6 パーセントとなっている。 (単位：人・%)

通行目的		幼 児		小 学 生		中 学 生		合 計	
		人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)
通学等	登校	5	7.4	11	9.4	32	26.9	48	15.8
	学業中		0.0	1	0.9		0.0	1	0.3
	下校	4	5.9	16	13.7	27	22.7	47	15.5
私用	観光・娯楽	6	8.8	7	6.0	5	4.2	18	5.9
	ドライブ	1	1.5	1	0.9		0.0	2	0.7
	散歩	1	1.5	7	6.0	3	2.5	11	3.6
	飲食	5	7.4	5	4.3	3	2.5	13	4.3
	買い物	16	23.5	18	15.4	15	12.6	49	16.1
	訪問	2	2.9	10	8.5	4	3.4	16	5.3
	帰省	6	8.8	2	1.7		0.0	8	2.6
	遊戯(路上)	2	2.9	7	6.0	2	1.7	11	3.6
	疾病徘徊		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	その他	20	29.4	① 32	27.4	28	23.5	① 80	26.3
調査不能		0.0		0.0		0.0	0	0.0	
合計		68	100.0	① 117	100.0	119	100.0	① 304	100.0

○は死者で内数

(7) 場所別等

ア 道路形状別等

(単位：人・%)

子供の死傷者のうち 61.2 パーセントが、交差点で事故にあっている。

学齢と道路形状で見ると、幼児、小・中学生とも交差点での事故が多い。

特に、中学生による自転車乗用中の交差点事故が 46 人と多い。

形状	区分	歩行者	自転車	その他	合計
交 差 点		43	64	79	186
	構成率(%)	23.1	34.4	42.5	
単 路	①	29	12	65	① 106
	構成率(%)	27.4	11.3	61.3	
駐 車 場 等		4	1	7	12
	構成率(%)	33.3	8.3	58.3	
合 計	①	76	77	151	① 304
	構成率(%)	25.0	25.3	49.7	

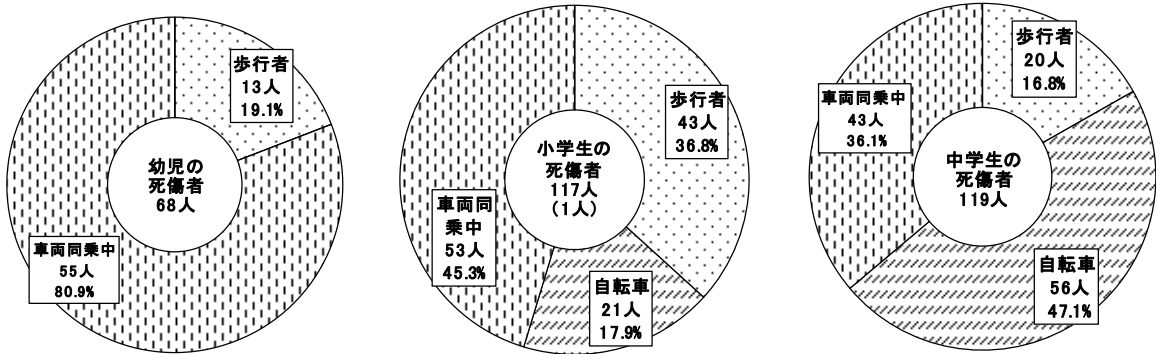
(単位：人)

区分	交 差 点				単 路				駐 車 場 等			
	歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計
幼 児	6		27	33	5		25	30	2		3	5
小 学 生	25	18	28	71	① 17	2	21	① 40	1	1	4	6
中 学 生	12	46	24	82	7	10	19	36	1			1
合 計	43	64	79	186	① 29	12	65	① 106	4	1	7	12

○は死者で内数

イ 死傷者の割合等

学齢別死傷者の状況を見ると、幼児については車両同乗中が圧倒的に多く 80.9 パーセントを占め、小学生についても 40 パーセントを超えるなど比率が高くなっている。



( ) 内は死者数で内数

ウ 自宅からの距離

子供の死傷者で、歩行者、自転車乗用中の事故発生場所から自宅までの距離をみると、歩行者では自宅から 500メートル以内での事故が 51.3 パーセントを占め、自転車乗車中についても自宅から 500メートル以内での事故が 27.3 パーセントを占めている。

(単位：人・%)

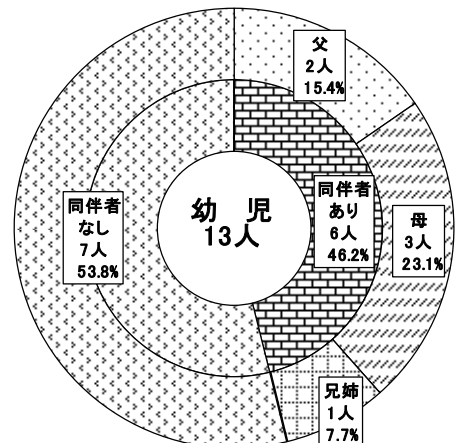
区分 距離	歩行者								自転車								合計		
	幼児		小学生		中学生		小計		幼児		小学生		中学生		小計		合計	構成率 (%)	
	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数			
50 m 以下	7.7	1	11.6	5	0.0	0.0	6	7.9	-	9.5	2	3.6	2	5.2	4	5.2	10	6.5	
100m 以下	23.1	3	11.6	5	5.0	1	9	11.8	-	19.0	4	0.0	0	4	5.2	4	5.2	13	8.5
500m 以下	23.1	3	30.2	13	40.0	8	24	31.6	-	28.6	6	12.5	7	16.9	13	16.9	37	24.2	
1 km 以下	23.1	3	23.3	10	15.0	3	16	21.1	-	23.8	5	19.6	11	20.8	16	20.8	32	20.9	
2 km 以下	7.7	1	14.0	6	20.0	4	11	14.5	-	4.8	1	25.0	14	19.5	15	19.5	26	17.0	
2 km 超過	15.4	2	9.3	4	20.0	4	10	13.2	-	14.3	3	39.3	22	32.5	25	32.5	35	22.9	
調査不能	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	-	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
合計	100.0	13	100.0	43	100.0	20	76	100.0	0	100.0	21	100.0	56	100.0	77	100.0	153	100.0	

○は死者で内数

エ 幼児の同伴者

幼児が歩行中または自転車乗用中に事故にあった傷者 13 人のうち、53.8 パーセントの 7 人が「同伴者なし」となっている。

同伴者は母親の 3 人が一番多い。



(8) 事故類型

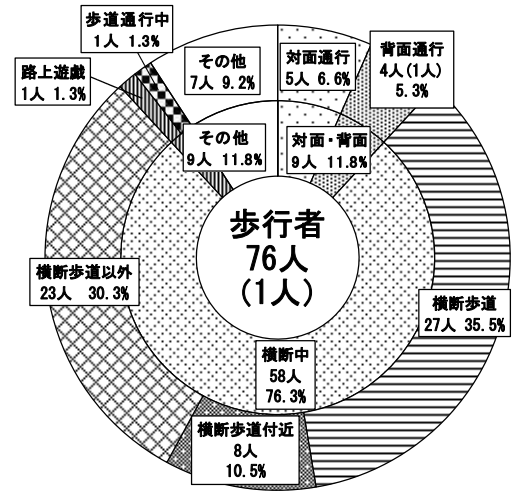
ア 歩行者

事故類型別では横断中が 58 人と多く歩行者被害の 76.3 パーセントを占め、中でも横断歩道での傷者が 27 人と多く横断中傷者の 46.6 パーセントを占めている。

また、横断中の事故について、学齢と横断歩道信号機の有無で比較すると、横断歩道以外の信号機のない場所での小学生の傷者が目立っている。

(単位：人)

横断場所		横断歩道		横断歩道以外	
		信号あり	信号なし	信号あり	信号なし
幼	児	1	1	1	6
小	学 生	5	9	1	19
中	学 生	10	1		4



( )内は死者数で内数

イ 自転車

事故類型別では、出会い頭事故の傷者が 53 人で、自転車乗用中の 68.8 パーセントを占め最も多く、次いで左折時の 12 人の順となっている。

また、道路形状別では、交差点での傷者が 64 人と多く、自転車乗用中傷者の 83.1 パーセントを占めている。

(単位：人・%)

事故類型	道路形状等	交 差 点		計	その他	合 計		幼 児		小 学 生		中 学 生	
		交差点内	交差点付近			構成率(%)	交差点	その他	交差点	その他	交差点	その他	
人 対 車 両				0		0	0.0						
車 両 相 互	正 面 衝 突			0	1	1	1.3				1		
	追 突	1		1		1	1.3					1	
	出 会 い 頭	44	1	45	8	53	68.8			15	1	30	7
	追 越 ・ 追 抜			0		0	0.0						
	転 回 ・ 後 退 時			0		0	0.0						
	進 路 変 更 ・ す れ 違 い 時			0		0	0.0						
	右 折 時	8		8		8	10.4			1			7
左 折 時	10		10	2	12	15.6			2	1	8	1	
そ の 他			0	2	2	2.6							2
計		63	1	64	13	77	100.0	0	0	18	3	46	10
車 両 単 独				0		0	0.0						
列 車				0		0	0.0						
合 計		63	1	64	13	77	100.0	0	0	18	3	46	10



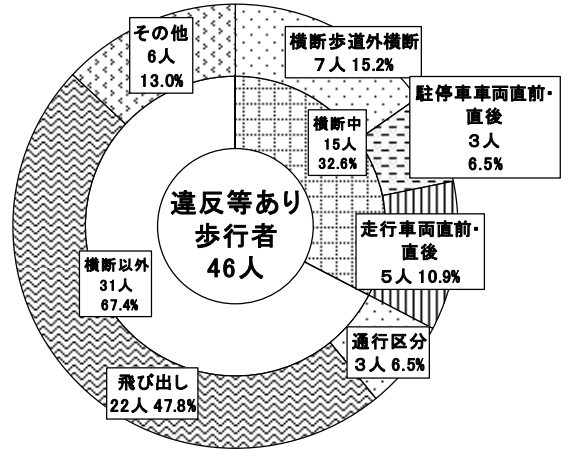
(9) 違反別

ア 歩行者

歩行者の死傷者 76 人のうち、何らかの違反が認められた者は 46 人で、子供の歩行中事故の 60.5 パーセントを占めている。

違反の内容をみると、飛び出しが 22 人と最も多く、違反のあった歩行者の 47.8 パーセントを占めている。

歩 行 者	幼 児	■違反あり □違反なし	12人 92.3%	1人 7.7%
	小 学 生		28人 65.1%	15人 34.9%
	中 学 生		6人 30.0%	14人 70.0%
	子 ど も 以 外		129人 24.9%	390人 75.1%

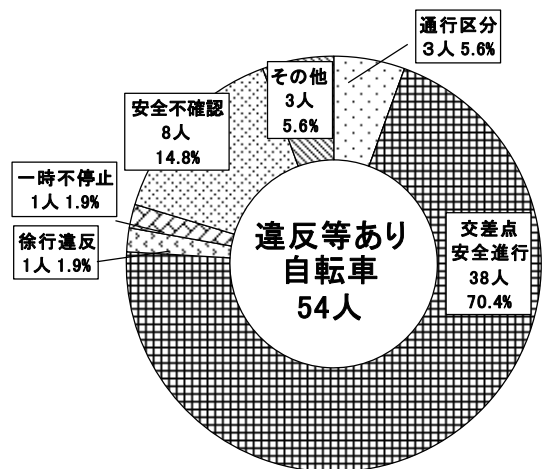


( ) 内は死者数で内数

イ 自転車

自転車の傷者 77 人のうち、何らかの違反が認められたのは 54 人で自転車傷者数の 70.1 パーセントを占めている。違反の内容をみると交差点安全進行義務違反が 38 人 (70.4%) で最も多く、次いで安全不確認の 8 人 (14.8%) が続いている。

自 転 車	小 学 生	■違反あり □違反なし	17人 81.0%	4人 19.0%
	中 学 生		37人 66.1%	19人 33.9%
	子 ど も 以 外		294人 57.5%	217人 42.5%



( ) 内は死者数で内数

## 5 高校生の事故

### (1) 高校生の事故

#### ア 概況

高校生が第1当事者となった事故は、

発生件数 8件 (前年比 -5件 38.5%減)

死者数 0人 (前年比 ±0人)

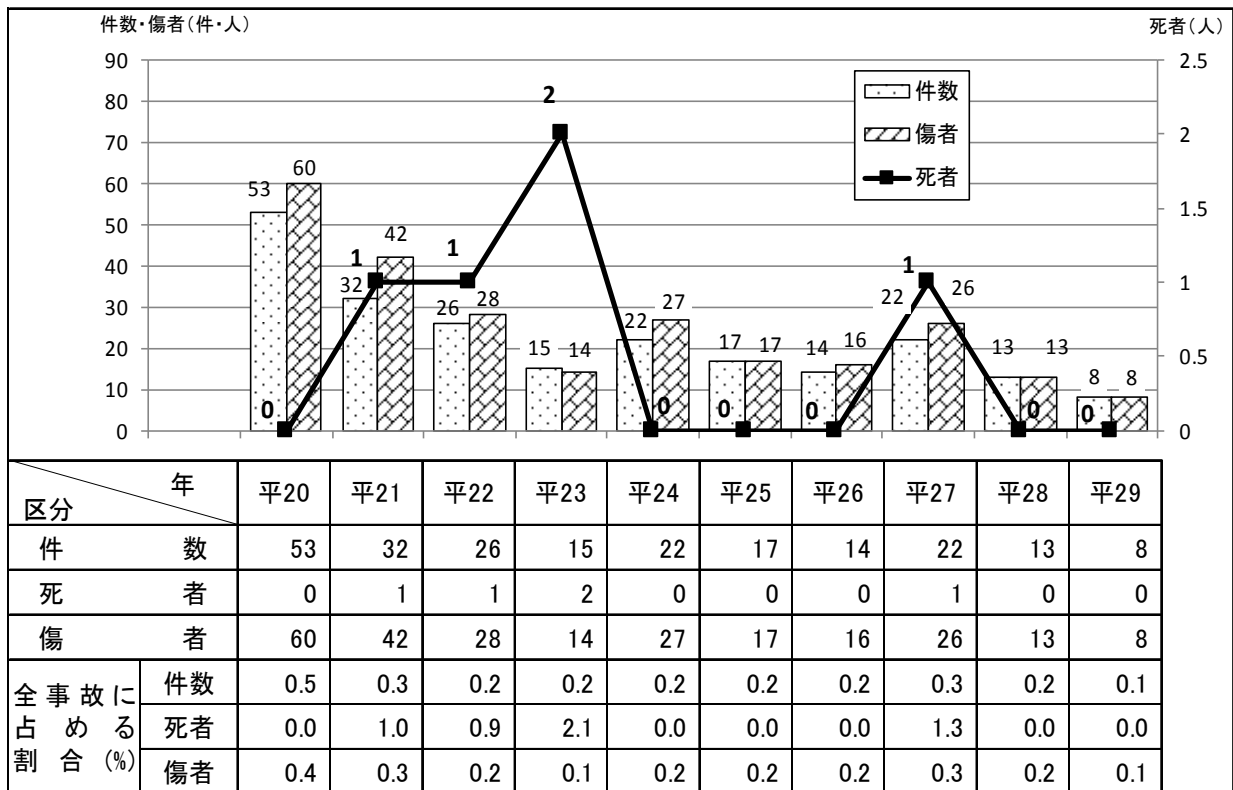
傷者数 8人 (前年比 -5人 38.5%減)

で、発生件数、傷者数ともに減少した。

過去10年間の推移をみると、発生件数が最も多いのは平成20年の53件で、平成29年の8件は平成20年と比べると84.9%減少している。

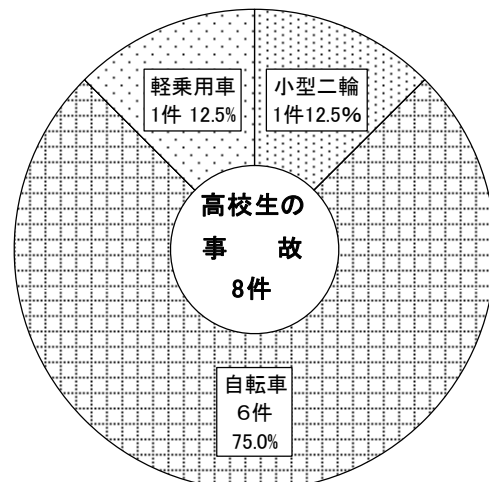
死者は、平成23年の2人が最も多く、平成21、22、27年の1人、他は0人となっている。

(単位：件・人・%)



#### イ 当事車種別

高校生が第1当事者となった事故は、自転車6件で75.0%を占め、次いで、自転車が6件で75.0%を占め、次いで、四輪車の1件(12.5%)、小型二輪1件(12.5%)となっている。



ウ 違反別

悪質違反による事故は3件で37.5%を占め、一時不停止3件となっている。

安全運転義務違反による事故は5件で、安全不確認による事故が3件、次いで前方不注意が2件となっている。

(単位：件・%)

違反	区分		高校生事故		全事故		違反	区分		高校生事故		全事故						
			構成率 (%)		構成率 (%)			構成率 (%)		構成率 (%)		構成率 (%)						
悪質違反	信号無視		0.0	267	4.8	徐行違反			0.0	27	0.5	安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ		0.0	410	7.3	
	最高速度		0.0	7	0.1		前方不注意	2	25.0	1,388	24.8		動静不注意		0.0	841	15.1	
	通区・追越		0.0	170	3.0		安全不確認	3	37.5	729	13.0		安全速度		0.0	63	1.1	
	歩行者妨害等		0.0	343	6.1		その他			0	35		1	計	5	62.5	3,466	62.0
	一時不停止	3	37.5	346	6.2		その他			0	119		2.1	合計	8	100.0	5,588	100.0
	酒酔い運転		0.0	8	0.1		無免許(内数)	1	12.5	25	0.4							
計	3	37.5	1,141	20.4														
横断禁止等		0.0	97	1.7														
右・左折違反		0.0	16	0.3														
優先通行妨害等		0.0	465	8.3														
交差点安全進行		0.0	257	4.6														

高校生の事故を全事故と構成率で比較すると、安全運転義務違反は全事故より+0.5ポイントとほぼ変わりはないが、悪質違反は37.5パーセントで約1.8倍になっている。

違反	悪質違反	安全運転義務違反	その他
高校生による事故	3件 37.5%	5件 62.5%	
全事故	1,141件 20.4%	3,466件 62.0%	981件 17.6%

エ 道路形状別・当事者別

高校生が第1当事者となる事故は自転車による事故が4件交差点で発生し、全事故の50.0パーセントを占めている。

(単位：件)

当事者	道路形状	交差点		その他	合計	カーブ(内数)	
			付近(内数)			右	左
自動車	自動車			1	1		
	小型二輪	1	1		1	1	
	軽二輪				0		
	原付二種				0		
	原付				0		
計		1	1	0	1	1	0
自転車		4	0	2	6		
歩行者					0		
合計		5	1	3	8	1	0

(2) 高校生の被害

ア 概況

交通事故で被害にあった高校生は

死者数 0人（前年比 -1人）

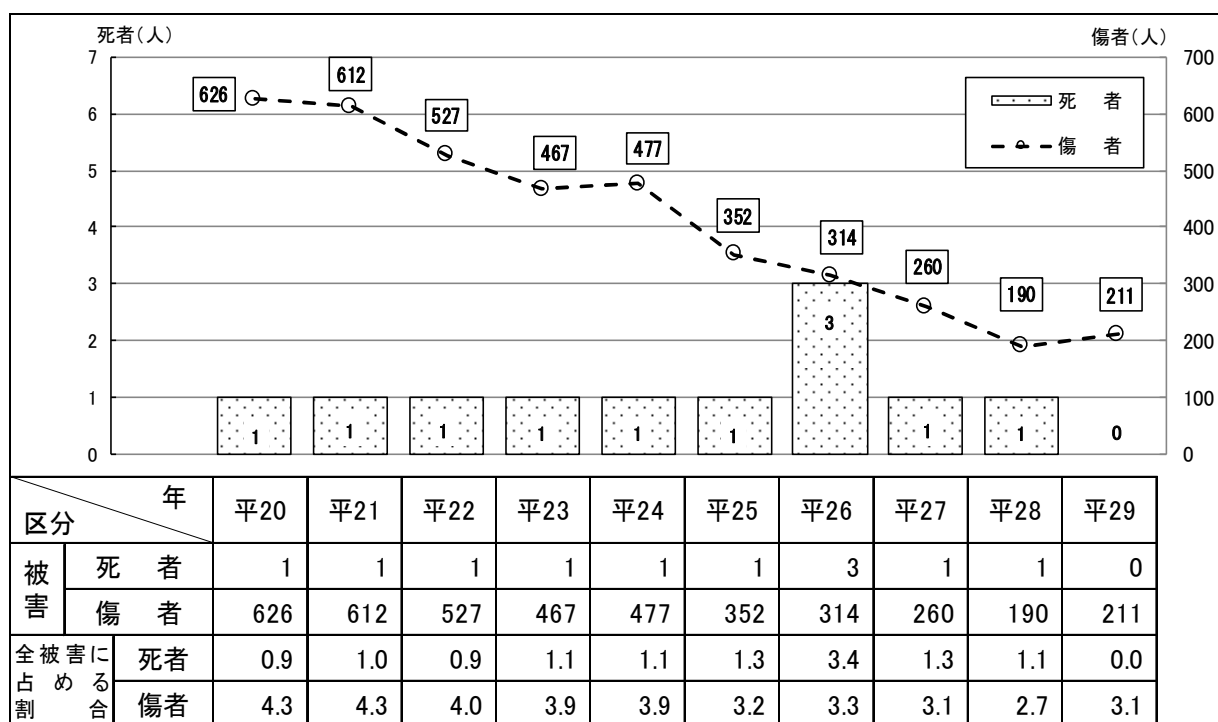
傷者数 211人（前年比 +21人 11.1%増）

で、死者数は減少したが傷者数は増加した。

過去10年間の推移をみると、死者が最も多いのは平成26年の3人、他は1人となっていたが平成29年は0人であった。

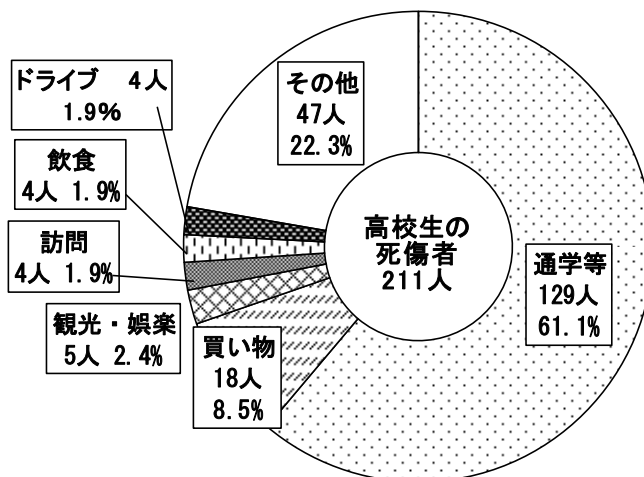
傷者が最も多いのは平成20年の626人で、最も少ないのは平成28年の190人となっている。

（単位：人・％）



イ 通行目的

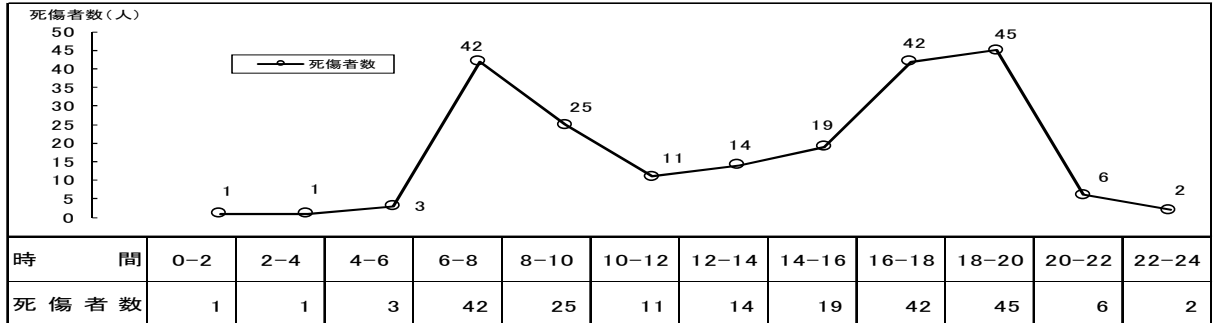
通学等の死傷者は129人で高校生死傷者の61.1パーセントを占め最も多く、次いで買い物の18人となっている。



ウ 時間別

死傷者数は、登・下校時間帯、特に 18～20 時が 45 人、6～8 時及び 16～18 時が各 42 人と多く、この時間帯の死傷者は、高校生死傷者の 61.1 パーセントを占めている。

(単位：人)



エ 状態別

高校生の

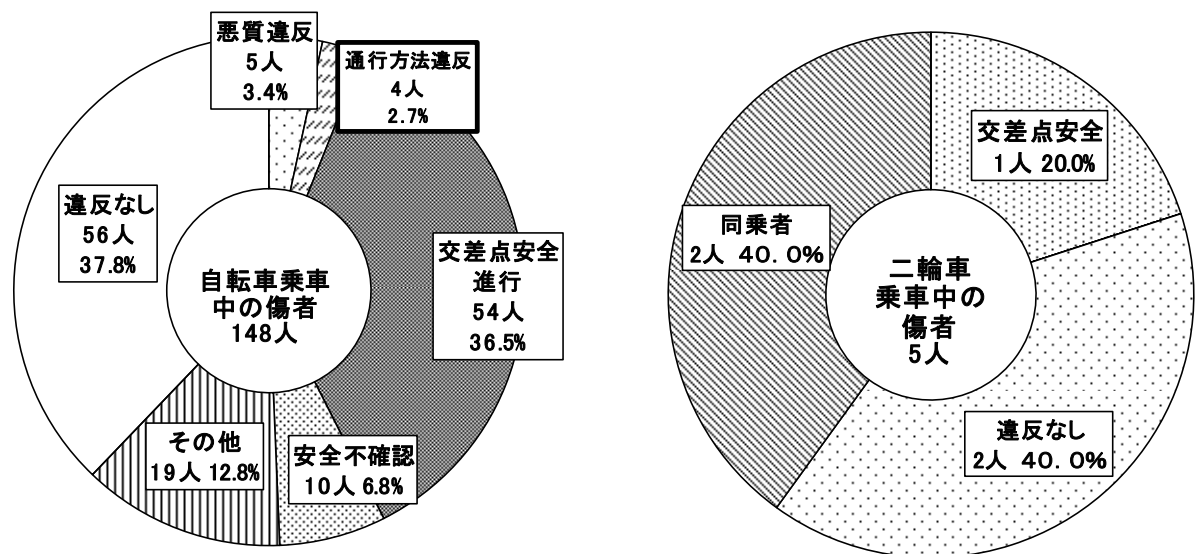
傷者は自転車乗用中が 148 人と最も多く高校生傷者の 70.1 パーセントを占め、次いで自動車同乗中の 29 人(13.7%)、歩行中の 28 人(13.3%)の順となっている。

(単位：人・%)

区分	状 態		自 動 車		自動二輪車		原 付 乗 車 中	自 転 車 乗 用 中	歩 行 中	そ の 他	合 計
	運 転 中	同 乗 中	運 転 中	同 乗 中							
死 者											0
構成率(%)											0.0
傷 者		1	29	1	2	2	148	28			211
構成率(%)		0.5	13.7	0.5	0.9	0.9	70.1	13.3	0.0		100.0

自転車の違反状況をみると、62.2%に何らかの違反が認められた。

自動二輪車の違反は交差点安全進行 1 人である。

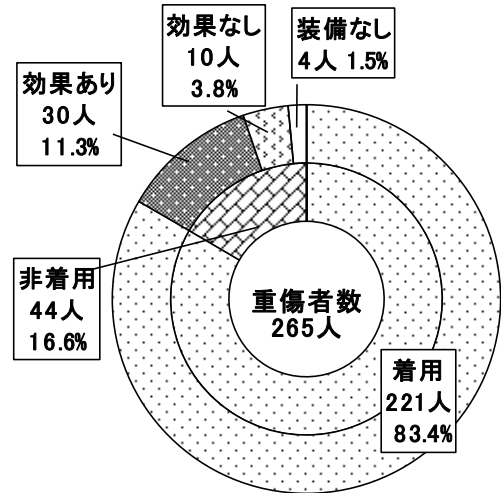
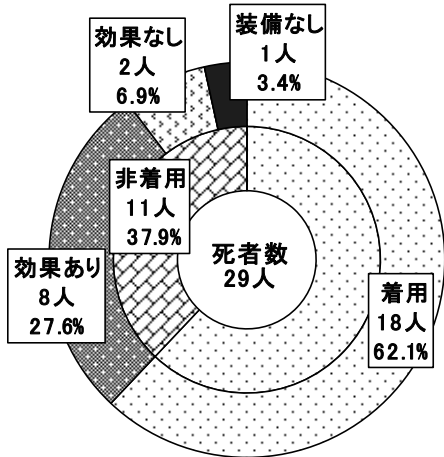


## 6 自動車のシートベルト着用状況

### (1) 死傷者のシートベルト着用状況

死傷者のシートベルト着用状況は、死者の着用率が最も低く、重傷者、軽傷者の順に着用率が高くなっている。

シートベルトの着用率の効果の有無を死者でみると、非着用者 11 人中 8 人(72.7%)はシートベルトをしていれば救命効果があったものと認められる。

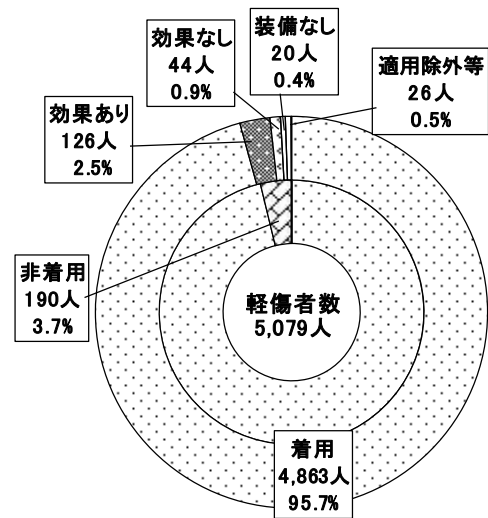


(注) 効果あり……シートベルトを着用していれば、  
損傷部位等から怪我の程度が軽くすんだと予想されるもの  
効果なし……シートベルトを着用していても、損傷部位等から  
怪我の程度に関係なかったと予想されるもの

### (2) 座席別着用状況

傷者の着用率は、運転席が 98.5 パーセント、助手席が 96.2 パーセント、後部席等が 60.9 パーセントである。

死者の着用率は、運転席が 56.5 パーセント、助手席が 75.0 パーセント、後部席等は 100.0 パーセントであった。



座席	着用状況	
	着用	非着用
運転席	死者 23人 着用 13人 56.5%	非着用 10人 43.5%
	傷者 4,309人 着用 4,243人 98.5%	非着用 65人 1.5% 着用不明 1人
助手席	死者 4人 着用 3人 75.0%	非着用 1人 15.0%
	傷者 598人 着用 575人 96.2%	非着用 22人 3.8% 着用不明 1人
後部席等	死者 2人 着用 2人 100.0%	非着用 0人 0.0%
	傷者 437人 着用 266人 60.9%	非着用 171人 39.1%

※ 後部座席等には、車両に乗り込もうとしていた人 3 名 (傷者) も含む

(3) 年齢別

年齢別に死者の着用率をみると、40歳代が33.3パーセントと最も低く、次いで30歳代及び60歳～64歳が50.0パーセントとなっている。

傷者の着用率は、20歳未満が79.9パーセントと最も低く、40歳代が97.6パーセントと最も高い。

(単位：人・%)

年齢	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
20歳未満	死 者			-			-			-	0		-
	傷 者	67	65	97.0	67	61	91.0	149	100	67.1	283	226	79.9
20～24歳	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	342	332	97.1	74	72	97.3	32	16	50.0	448	420	93.8
25～29歳	死 者	3	2	66.7			-			-	3	2	66.7
	傷 者	449	441	98.2	45	42	93.3	25	14	56.0	519	497	95.8
30歳代	死 者	2	1	50.0			-			-	2	1	50.0
	傷 者	981	966	98.5	104	99	95.2	57	31	54.4	1,142	1,096	96.0
40歳代	死 者	2	1	50.0	1		0.0			-	3	1	33.3
	傷 者	984	973	98.9	86	84	97.7	46	32	69.6	1,116	1,089	97.6
50歳代	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	707	701	99.2	71	68	95.8	35	24	68.6	813	793	97.5
60～64歳	死 者	3	1	33.3	1	1	100.0			-	4	2	50.0
	傷 者	288	283	98.3	45	45	100.0	23	12	52.2	356	340	95.5
65～69歳	死 者	4	3	75.0			-	1	1	100.0	5	4	80.0
	傷 者	248	244	98.4	42	41	97.6	26	14	53.8	316	299	94.6
70歳以上	死 者	7	3	42.9	2	2	100.0	1	1	100.0	10	6	60.0
	傷 者	243	238	97.9	64	63	98.4	41	23	56.1	348	324	93.1
合 計	死 者	23	13	56.5	4	3	75.0	2	2	100.0	29	18	62.1
	傷 者	4,309	4,243	98.5	598	575	96.2	434	266	61.3	5,341	5,084	95.2

(4) 時間別

時間別に死者の着用率をみると、2～4、22～24時が0.0パーセントと最も低く、0～2時、4～6時、6～8時、8～10時、16～18時、18～20、20～22時が100.0パーセントと最も高い。

傷者は20～22時が96.9パーセントと最も高く、4～6時が79.1パーセントと最も低い。

(単位：人・%)

時間	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
0～2	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	34	31	91.2	5	5	100.0	4	3	75.0	43	39	90.7
2～4	死 者	1		0.0			-			-	1	0	0.0
	傷 者	30	30	100.0	10	9	90.0	5	1	20.0	45	40	88.9
4～6	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	75	70	93.3	10	10	100.0	25	7	28.0	110	87	79.1
6～8	死 者	3	3	100.0			-	1	1	100.0	4	4	100.0
	傷 者	572	564	98.6	47	45	95.7	44	28	63.6	663	637	96.1
8～10	死 者	1	1	100.0	1	1	100.0			-	2	2	100.0
	傷 者	545	538	98.7	59	57	96.6	37	22	59.5	641	617	96.3
10～12	死 者	3		0.0	1	1	100.0			-	4	1	25.0
	傷 者	508	501	98.6	92	90	97.8	54	40	74.1	654	631	96.5
12～14	死 者	2	1	50.0			-			-	2	1	50.0
	傷 者	462	451	97.6	95	92	96.8	49	34	69.4	606	577	95.2
14～16	死 者	7	3	42.9			-			-	7	3	42.9
	傷 者	506	503	99.4	79	77	97.5	72	45	62.5	657	625	95.1
16～18	死 者	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0	3	3	100.0
	傷 者	712	703	98.7	87	84	96.6	70	42	60.0	869	829	95.4
18～20	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	593	585	98.7	67	63	94.0	45	29	64.4	705	677	96.0
20～22	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	180	178	98.9	28	26	92.9	15	12	80.0	223	216	96.9
22～24	死 者	1		0.0	1		0.0			-	2	0	0.0
	傷 者	92	89	96.7	19	17	89.5	14	3	21.4	125	109	87.2
合 計	死 者	23	13	56.5	4	3	75.0	2	2	100.0	29	18	62.1
	傷 者	4,309	4,243	98.5	598	575	96.2	434	266	61.3	5,341	5,084	95.2

(5) 6歳未満のシートベルト・チャイルドシート着用状況

四輪乗車中に死傷した6歳未満の幼児は

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 45人（前年比 -4人 8.2%減）

で、死者は昨年に続いて0人であり、傷者数は減少した。

乗車位置別死傷者数は、助手席が8人（うち死亡0人）、後部座席が37人（うち死亡0人）となっている。

【助手席】

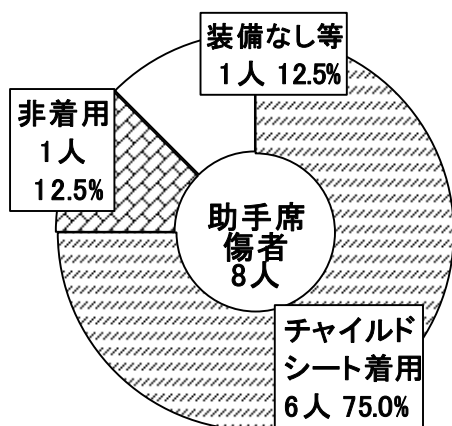
（単位：人）

助手席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト			
	チャイルドシート	6		
計		6	0	0
非着用	効果あり	1		
	効果なし			
計		1	0	0
装備なし等		1		
合計		8	0	0

【後部座席】

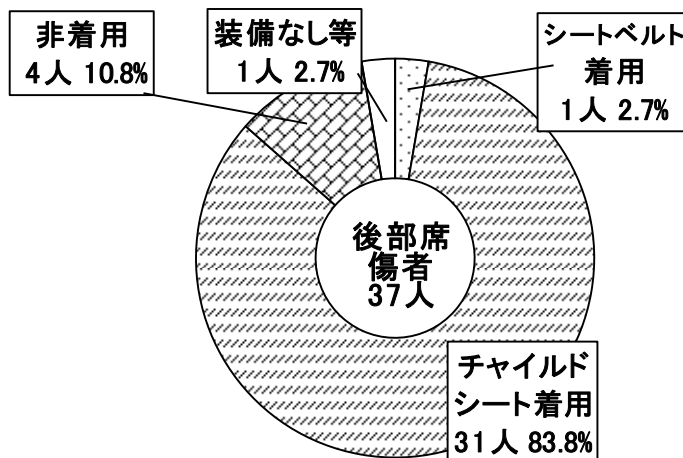
（単位：人）

後部座席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト	1		
	チャイルドシート	31		
計		32	0	0
非着用	効果あり	3		
	効果なし	1		
計		4	0	0
装備なし等		1		
合計		37	0	0



効果あり	1人
効果なし	0人

死亡	0人
重傷	0人



効果あり	3人
効果なし	1人

死亡	0人
重傷	0人



## 7 青年運転者の事故

### (1) 概況

青年運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数 816件（前年比 - 79件 8.8%減）

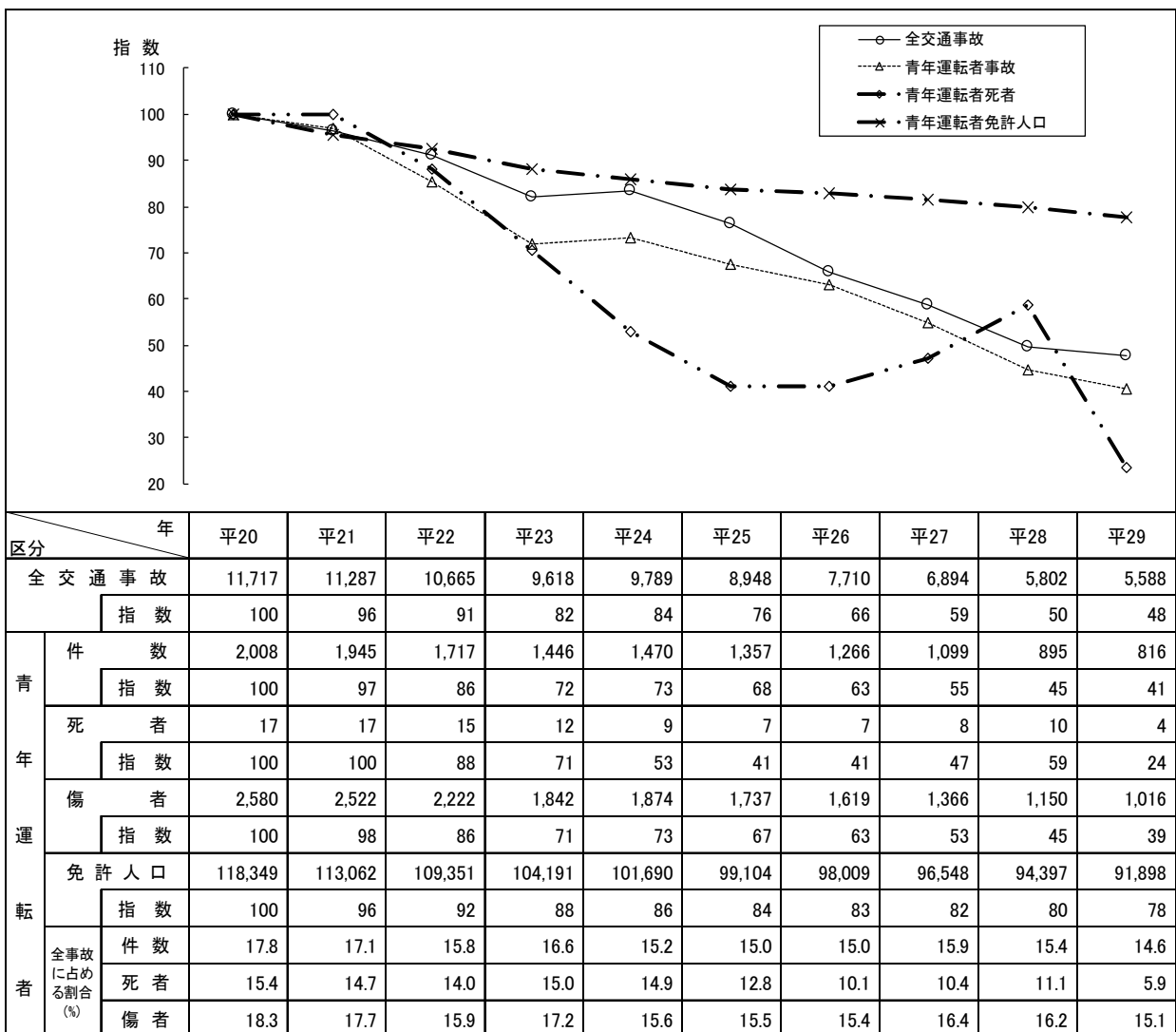
死者数 4人（前年比 - 6人 60.0%減）

傷者数 1,016人（前年比 -134人 11.7%減）

で、発生件数、死者数、傷者数の全てで減少した。

全事故に占める割合は、件数が14.6パーセント、死者数5.9パーセント、傷者数15.1パーセントとなっている。

（単位：件・人・％）



(2) 車種別・違反別

車種別では、普通乗用車が415件で最も多く、青年運転者の50.9パーセントを占めている。

違反別では、前方不注意が263件で最も多く32.2パーセントを占めている。

悪質違反による事故は125件で青年運転者の15.3パーセントを占め、うち一時不停止が46件と最も多い。

(単位：件)

違反	車種	自 動 車						二 輪 車				合計	
		大乗等	普 乗	軽 乗	大貨等	普 貨	軽 貨	特 殊	小	二 軽	二 原		二 原 付
悪質違反	信号無視		13	14			1						28
	最高速度		2	1									3
	通区・追越		18	12			1						31
	歩行者妨害等		7	8			1					1	17
	一時不停止		20	23			3						46
	酒酔い運転												0
計		0	60	58	0	0	6	0	0	0	0	1	125
横断禁止等			7	4	1								12
右折違反			1										1
左折違反													0
優先通行妨害等			35	33		3	2			1			74
交差点安全進行			13	11			1						25
徐行違反			1										1
過労運転			2										2
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ		42	21	3	2	2						70
	前方不注意		131	111	3	10	5		2			1	263
	動静不注意		73	68	1	3	3						148
	安全不確認		30	28	3	3	2		1				67
	安全速度		12	4		2							18
	その他		7	1									8
計		0	295	233	10	20	12	0	3	0	0	1	574
その他			1			1							2
合計		0	415	339	11	24	21	0	3	1	0	2	816

(3) 時間別・道路別

時間別では、18～20時が164件と最も多く、次いで16～18時の148件、6～8時の126件となっている。

道路別では、国道が301件と最も多く、次いで市町村道が283件となっており、市町村道と国道を合わせると、青年運転者事故の71.6パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
		国 道	4号	3		2	10	10	10	5	9	16	25	
6号			1	1	9	11	3	4	2	12	9	3	1	56
13号					2			1	2	2	2		2	11
49号					6	5	2	5	11	7	7	4	1	48
三桁	1			1	16	7	4	8	5	16	18	3	3	82
計		4	1	4	43	33	19	23	29	53	61	18	13	301
県 道		5	2	3	32	18	13	7	20	37	43	17	7	204
市町村道		6	4	4	48	27	19	20	23	52	55	15	10	283
高 速 道					1					1	1			3
そ の 他					2		3	5	4	5	4	1	1	25
合 計		15	7	11	126	78	54	55	76	148	164	51	31	816

(4) 事故類型別

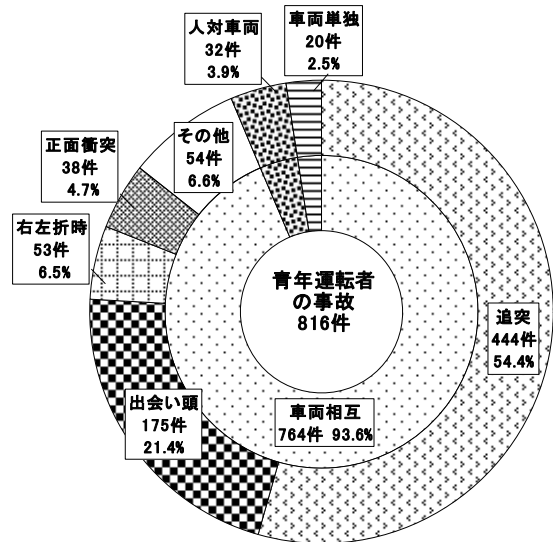
車両相互が764件で青年運転者事故の93.6パーセントを占めている。

特に、

追突：444件(54.4%)

出会い頭：175件(21.4%)

が多く、両事故類型を合わせると619件で車両相互の81.0パーセントを占めている。

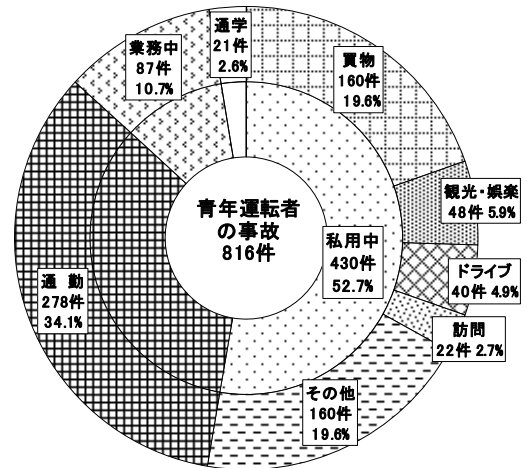


(5) 通行目的別

私用中が430件で青年運転者事故の52.7パーセントを占めている。

特に、買物が160件と多く、私用中事故の37.2パーセントを占め、次いで観光・娯楽の48件の順となっている。

また通勤時の事故も278件発生し、青年運転者事故の34.1パーセントを占めている。



(6) 車種別・速度別（事故直前速度）

事故直前の速度をみると、50キロメートル以下が720件で最も多く、青年運転者事故の88.2パーセントを占めている。

車種別でみると、普通乗用車の速度が他の車種に比べ速くなっている。

(単位：件)

速度	自動車											二輪車				合計	
	大乗中	乗準中型	普乗	軽乗	乗大	貨中	貨準中型	普貨	軽貨	特貨	殊	小	二軽	二原	二原付		
停止中					1											1	
50 km/h以下			366	303	2	1	5	20	19			1	1			2	720
60 km/h以下			36	28					3	2							69
70 km/h以下			8	3		1			1								13
80 km/h以下			3	1		1						1					6
90 km/h以下				2	1												3
100 km/h以下				2													2
101 km/h以上																	0
調査不能					1							1					2
合計	0	0	0	415	339	3	3	5	24	21	0	3	1	0	2		816

(7) 人的原因別

発見の遅れが 524 件と多く、青年運転者による事故の 64.2 パーセントを占めている。

中でも脇見が 269 件で、発見の遅れ全体の 51.3 パーセントを占めている。

交通事故の人的原因(第1当) (単位:件・人)			
合 計	件数	死者	816
	傷者	者	4
			1,016
<b>発見の遅れ 計</b>	件数	死者	524
	傷者	者	3
			663
<b>前方不注意 計</b>	件数	死者	326
	傷者	者	2
			422
<b>内在的(漫然等) 計</b>	件数	死者	113
	傷者	者	2
			153
居眠り運転	件数	死者	5
	傷者	者	0
			8
ラジオ・ステレオを聴いていた	件数	死者	1
	傷者	者	0
			1
雑談や携帯電話等で話していた	件数	死者	2
	傷者	者	0
			4
その他、考え事等の漫然運転	件数	死者	105
	傷者	者	2
			140
<b>外在的(脇見等) 計</b>	件数	死者	213
	傷者	者	0
			269
物を落とした、物を取ろうとした	件数	死者	44
	傷者	者	0
			53
同乗者、同乗の動物等に脇見	件数	死者	13
	傷者	者	0
			19
スマートフォン、携帯電話等を操作していた	件数	死者	11
	傷者	者	0
			13
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた	件数	死者	14
	傷者	者	0
			18
雑誌、地図帳等を見ていた	件数	死者	1
	傷者	者	0
			2
道、案内標識等を探して脇見	件数	死者	6
	傷者	者	0
			10
風景、地物等に脇見	件数	死者	34
	傷者	者	0
			43
他の車、歩行者に脇見	件数	死者	34
	傷者	者	0
			39
バックミラーやドアミラーを見ていた	件数	死者	5
	傷者	者	0
			9
その他脇見	件数	死者	51
	傷者	者	0
			63
<b>安全不確認 計</b>	件数	死者	198
	傷者	者	1
			241
安全確認をしなかった	件数	死者	81
	傷者	者	1
			102
安全確認が不十分だった	件数	死者	117
	傷者	者	0
			139

交通事故の人的原因(第1当) (単位:件・人)			
<b>判断の誤り等 計</b>	件数	死者	206
	傷者	者	0
			242
<b>動静不注視 計</b>	件数	死者	174
	傷者	者	0
			208
相手が譲ってくれると思って注視を怠った	件数	死者	10
	傷者	者	0
			14
他の危険を避けようとして注視を怠った	件数	死者	1
	傷者	者	0
			1
その他特に具体的危険性がないとして注視を怠った	件数	死者	163
	傷者	者	0
			193
<b>予測不適 計</b>	件数	死者	12
	傷者	者	0
			12
運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	件数	死者	5
	傷者	者	0
			5
相手がルールを守ると思った	件数	死者	0
	傷者	者	0
			0
相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	件数	死者	1
	傷者	者	0
			1
他の事故(危険)を避けようと思った	件数	死者	0
	傷者	者	0
			0
その他相手の行動予見等の判断を誤った	件数	死者	6
	傷者	者	0
			6
<b>交通環境 計</b>	件数	死者	20
	傷者	者	0
			22
道路形状、道路線形に対する認識を誤った	件数	死者	0
	傷者	者	0
			0
道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	件数	死者	12
	傷者	者	0
			12
交通規制に対する認識を誤った	件数	死者	6
	傷者	者	0
			7
交通安全施設に対する認識を誤った	件数	死者	0
	傷者	者	0
			0
障害物等に対する認識を誤った	件数	死者	0
	傷者	者	0
			0
その他の交通環境に対する認識を誤った	件数	死者	2
	傷者	者	0
			3
<b>操作上の誤り(操作不適) 計</b>	件数	死者	86
	傷者	者	1
			111
ブレーキとアクセルの踏み違い	件数	死者	11
	傷者	者	0
			19
ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	件数	死者	35
	傷者	者	0
			39
急ブレーキをかけた	件数	死者	11
	傷者	者	0
			13
エンジン・ブレーキを使用しなかった	件数	死者	1
	傷者	者	0
			1
ハンドルの操作不適	件数	死者	8
	傷者	者	1
			12
ギヤの入れ違い	件数	死者	2
	傷者	者	0
			3
ブレーキをかけながらハンドル操作	件数	死者	1
	傷者	者	0
			1
オートスピードコントロール装置等の操作不適	件数	死者	0
	傷者	者	0
			0
その他の操作不適	件数	死者	17
	傷者	者	0
			23
<b>調査不能</b>	件数	死者	0
	傷者	者	0
			0

## 8 高齢者の事故 (65 歳以上)

### (1) 高齢運転者による事故

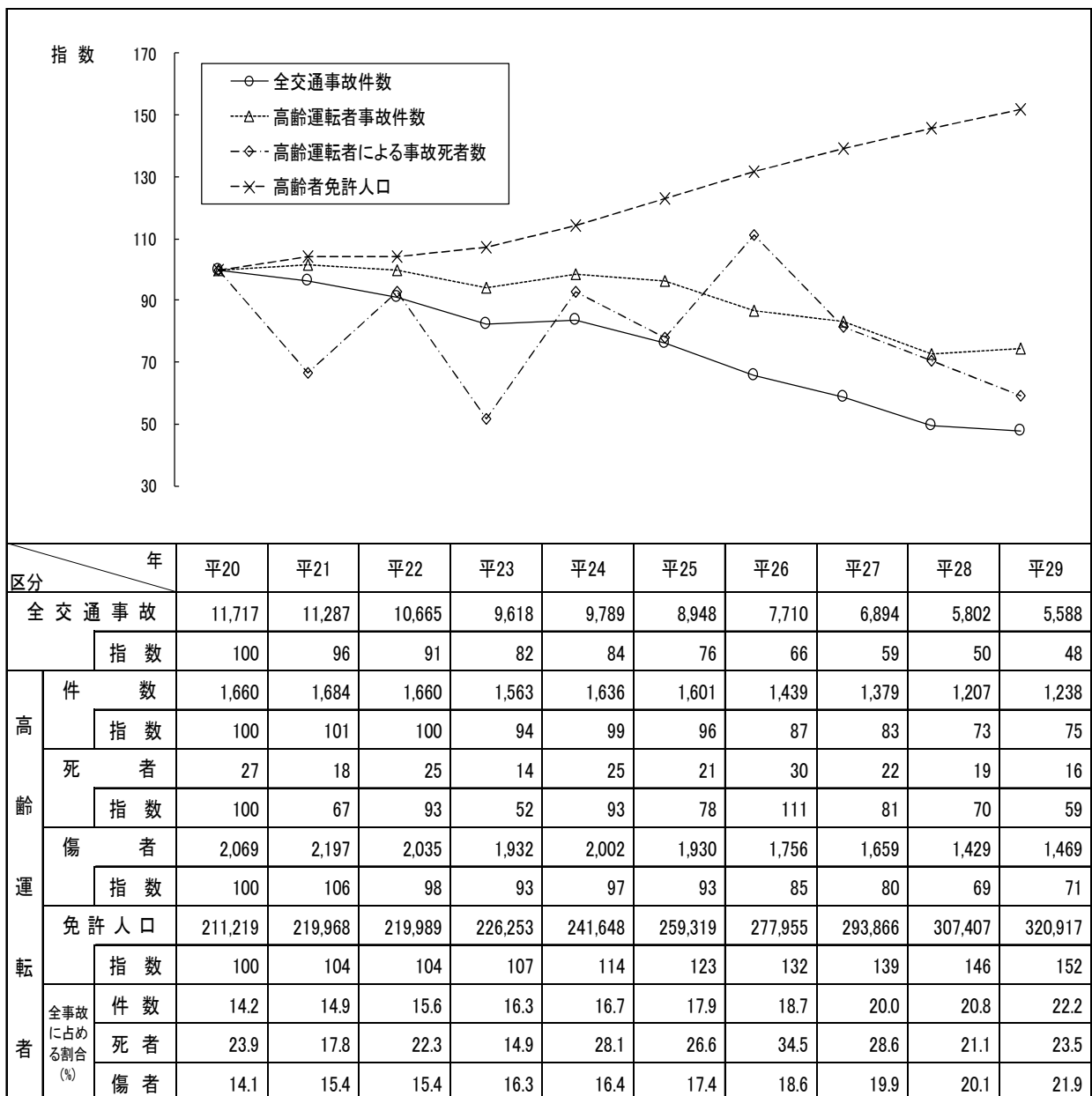
#### ア 概況

高齢運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数	1,238件	(前年比	+ 31件	2.6%増)
死者数	16人	(前年比	- 3人	15.8%減)
傷者数	1,469人	(前年比	+ 40人	2.8%増)

で、死者数は減少したが、発生件数、傷者数ともに増加した。

(単位：件・人・%)



イ 時間別・道路別

時間別では16～18時が216件と最も多く、次いで10～12時の208件、14～16時の197件の順となっている。

8時～18時までの発生は980件と高齢運転者事故の79.2パーセントを占めている。

また、路線別では県道・市町村道のいわゆる生活道路で多発し、816件と高齢運転者事故の65.9パーセントを占めている。

(単位：件)

時間		0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計	昼間	夜間
国 道	4号		1		5	4	12	8	12	15	7	2	1	67	52	15
	6号	1		1	3	13	8	6	8	7	5	1	1	54	41	13
	13号					1	4	3	5	2	2			17	14	3
	49号		2	1	3	4	9	8	10	5	3	2		47	39	8
	三桁			6	4	21	25	11	19	23	11	5		125	98	27
計		1	3	8	15	43	58	36	54	52	28	10	2	310	244	66
県 道	県道	1	3	2	28	44	53	42	45	57	23	8	3	309	257	52
	市町村道	2	2	8	36	76	78	84	81	81	48	7	4	507	425	82
生活道路計		3	5	10	64	120	131	126	126	138	71	15	7	816	682	134
高 速 道							3	2	2	4				11	10	1
そ の 他			1	2	3	12	16	20	15	22	7	2	1	101	83	18
合 計		4	9	20	82	175	208	184	197	216	106	27	10	1,238	1,019	219

ウ 車種別

車種別では普通乗用車が579件で、高齢運転者事故の46.8パーセントを占め、次いで軽乗用車の379件、軽貨物車の204件と続いている。

また、二輪車による事故は12件で高齢運転者事故の1.0パーセントを占めている。

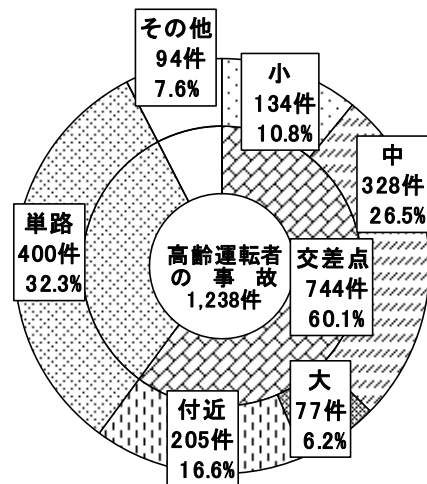
(単位：件)

年齢	車種	自 動 車						特殊車	二 輪 車			合計
		大乗等	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨		自二	原二	原付	
65～69歳		3	222	147	20	15	67	3	2		1	480
70歳代			265	169	7	11	92	1	2	1	6	554
80歳以上			92	63		4	45					204
合 計		3	579	379	27	30	204	4	4	1	7	1,238

エ 道路形状別

交差点での事故は744件で、高齢運転者事故の60.1パーセントを占めている。

特に「中」交差点での発生が多く、交差点事故全体の44.1パーセントを占めている。



オ 違反別

前方不注意による事故が 240 件と最も多く、高齢運転者事故の 19.4 パーセントを占め、次いで安全不確認 188 件の順となっている。

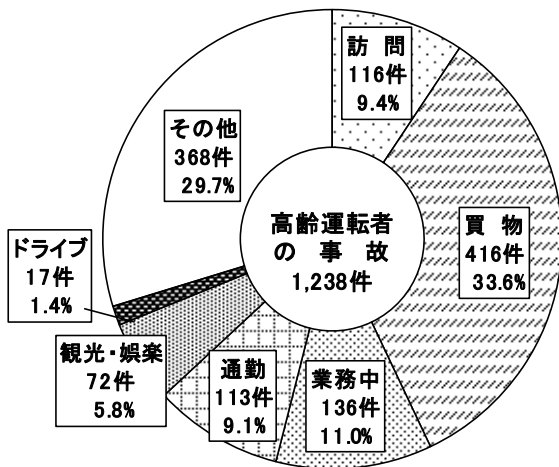
悪質違反は 325 件で高齢運転者事故の 26.3 パーセントを占め、うち歩行者妨害が 111 件と最も多く、次いで一時不停止の 106 件の順となっている。

高齢運転者の悪質違反による事故の占める割合は 26.3 パーセントとなっており、全交通事故の占める悪質違反の割合 20.4 パーセントと比較すると 5.9 ポイント上回るなど悪質運転による事故の占める割合が高い。(単位：件・%)

違反 区分	悪 質 違 反						横 断 禁 止 等	右 折	左 折	優 先 通 行 妨 害 等	交 差 点 安 全 進 行	徐 行 違 反	安 全 運 転 義 務 違 反					そ の 他 計	そ の 他 計			
	信 号 無 視	最 高 速 度	通 区 ・ 追 越	歩 行 者 妨 害 等	一 時 不 停 止	酒 酔 い 運 転							計	ハ ン ド ル ・ ブ レ ー キ	前 方 不 注 意	動 静 不 注 視	安 全 不 確 認			安 全 速 度	そ の 他	
件 数	75		29	111	106	4	325	27	3	4	143	63	4	89	240	128	188	6	6	657	12	1,238
構成率(%)	6.1	0.0	2.3	9.0	8.6	0.3	26.3	2.2	0.2	0.3	11.6	5.1	0.3	7.2	19.4	10.3	15.2	0.5	0.5	53.1	1.0	100.0

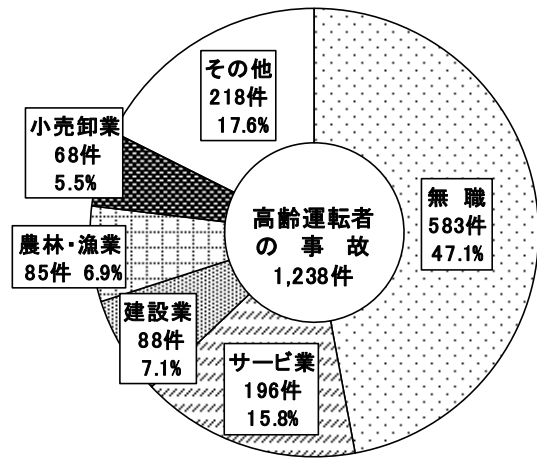
カ 通行目的別

買物が 416 件と多く、高齢運転者事故の 33.6 パーセントを占めている。



キ 職業別

無職が 583 件と最も多く、高齢運転者の 47.1 パーセントを占めている。



ク 免許人口に占める事故率 (年齢別交通事故発生状況)

(単位：人・件・%)

区分	年 齢			合 計
	25歳未満	25～64歳	65歳以上	
免 許 人 口	91,898	890,597	320,917	1,303,412
構成率(%)	7.1	68.3	24.6	100
件 数	816	3,444	1,238	5,498
構成率(%)	14.8	62.6	22.5	100
死 者	4	45	16	65
構成率(%)	6.2	69.2	24.6	100
傷 者	1,016	4,128	1,469	6,613
構成率(%)	15.4	62.4	22.2	100

※ 原付以上の運転者が対象 (不明除く)

(免許人口は平成 29 年 12 月末現在)

(2) 高齢者の死傷者

ア 概況

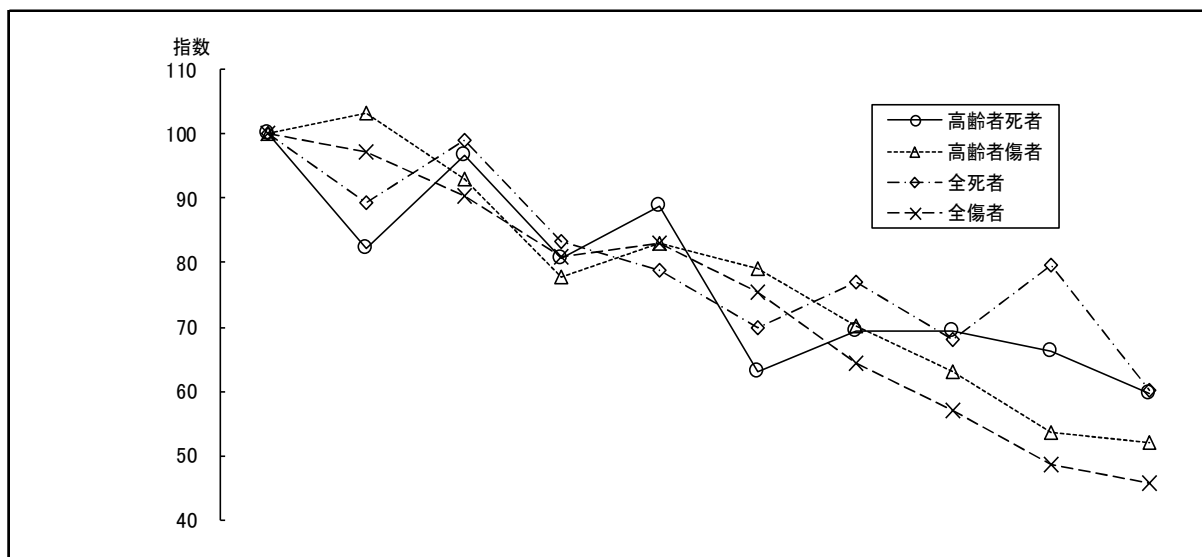
交通事故で死傷した高齢者は、

死者数 37人 (前年比 -4人 9.8%減)

傷者数 1,043人 (前年比 -32人 3.0%減)

で、死者数、傷者数ともに減少した。

(単位：人)



死傷者		年	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29
高齢者死傷者	死者		62	51	60	50	55	39	43	43	41	37
	指数		100	82	97	81	89	63	69	69	66	60
高齢者死傷者	傷者		2,009	2,073	1,868	1,563	1,666	1,587	1,411	1,266	1,075	1,043
	指数		100	103	93	78	83	79	70	63	54	52
全死傷者	死者		113	101	112	94	89	79	87	77	90	68
	指数		100	89	99	83	79	70	77	68	80	60
全死傷者	傷者		14,659	14,242	13,253	11,855	12,188	11,061	9,450	8,344	7,112	6,710
	指数		100	97	90	81	83	75	64	57	49	46

イ 道路別

生活道路での死傷者が多く、死者は21名で高齢者死者の56.8パーセント、傷者は669人で高齢者傷者の64.1パーセントを占めている。

(単位：人・%)

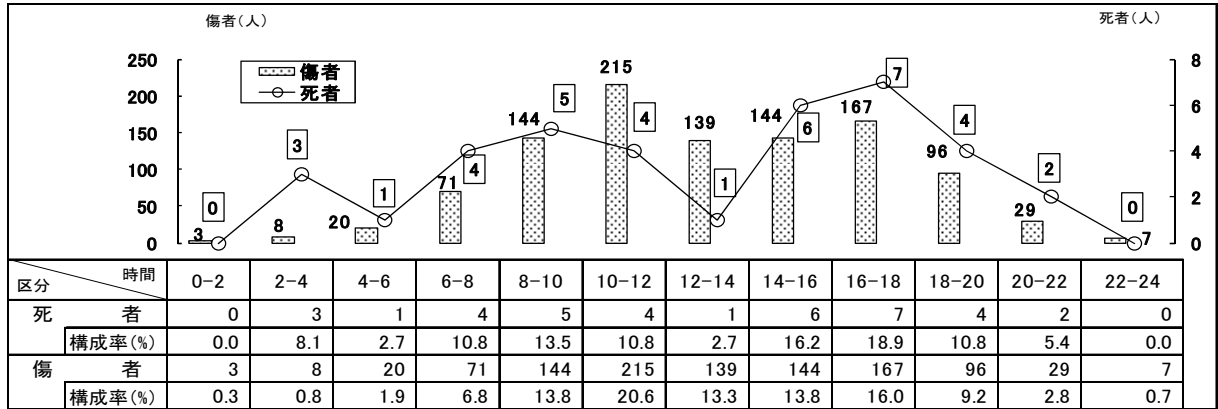
区分	道路	国 道					計	生活道路			高 速	そ の 他	合 計
		4 号	6 号	13 号	49 号	三 桁		県 道	市 町 村 道	計			
死 者		1	3		5	6	15	11	10	21		1	37
	構成率(%)	2.7	8.1	0.0	13.5	16.2	40.5	29.7	27.0	56.8	0.0	2.7	100.0
傷 者		72	54	12	47	125	310	251	418	669	10	54	1,043
	構成率(%)	6.9	5.2	1.2	4.5	12.0	29.7	24.1	40.1	64.1	1.0	5.2	100.0



ウ 時間別

死者は16～18時の7人が最も多く、高齢者死者の18.9パーセントを占め、次いで14～16時の6人の順となっている。

傷者は10～12時の215人が最も多く、高齢者傷者の20.6パーセントを占め、次いで16～18時の167人の順となっている。 (単位：人・%)



エ 年齢別・状態別

死者は歩行者の15人が最も多く、高齢死者の40.5パーセントを占め、次いで四輪運転の11人、自転車の5人の順となっている。

傷者は四輪運転が最も多く、次いで歩行者の順となっている。 (単位：人)

状態	年齢	65～69歳		70歳代		80歳以上		合計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
歩行者		1	48	9	89	5	64	15	201
自転車		0	31	3	70	2	31	5	132
原付		1	10	1	20		7	2	37
自二		0	5		1		1	0	7
四輪運転		4	248	5	202	2	41	11	491
四輪同乗		1	68	3	68		37	4	173
その他					1		1	0	2
合計		7	410	21	451	9	182	37	1,043

オ 違反別

(ア) 歩行者

死者のうち何らかの違反があったのは9人で60.0パーセントを占めた。

傷者のうち何らかの違反があったのは63人で31.3パーセントを占め、横断に関する違反が多い。

(単位：人)

違反	違反あり									違反なし	合計	
	信号無視	左側通行	横断					酩酊・徘徊	その他			
			横歩道断外	斜め横断	駐車車両	走直前車直両後	横止断場禁所					
死者			2	1			2		3	1	6	15
傷者	4	8	28	4			8	1	2	8	138	201

(イ) 自転車

死者の違反については、優先通行妨害、安全不確認の各1人、その他の2人となっている。

傷者のうち、何らかの違反があったのは69人で52.3パーセントを占め、うち交差点安全進行が29人と最も多い。

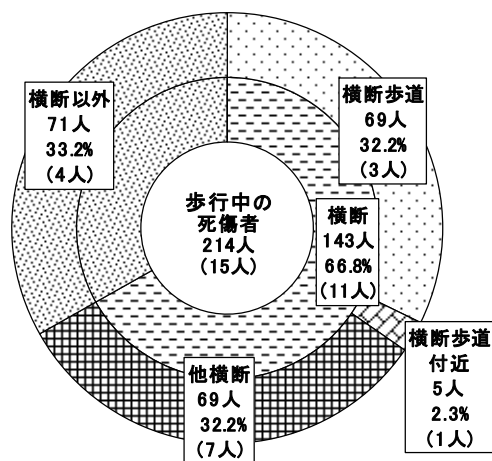
(単位：人)

違反 区分	違 反 あ り									違 反 な し	合 計
	信 号 無 視	右 側 通 行	横 断 等 禁 止	優 妨 先 通 行 害	交 安 差 全 進 点 行	一 時 不 停 止	酒 醉 い	安 不 確 全 認	そ の 他		
死 者				1				1	2	1	5
傷 者	2	2	2	1	29	2		14	17	63	132

カ 事故類型別

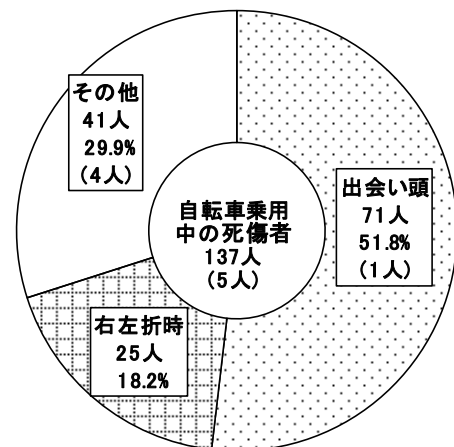
(ア) 歩行者

横断が143人と多く、歩行中死傷者の66.8パーセントを占めている。



(イ) 自転車

出会い頭事故が71人と多く、自転車事故死傷者の51.8パーセントを占めている。

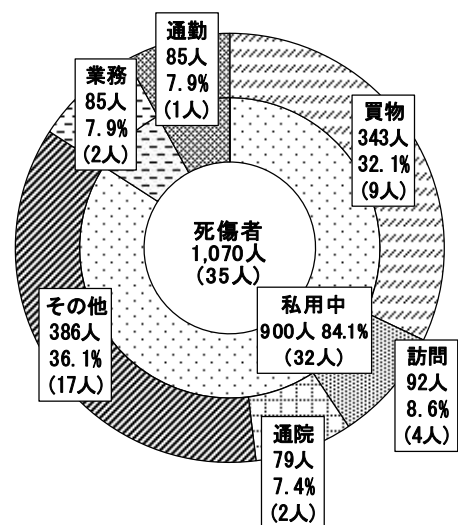


\*1 ( )内は死者で内数  
\*2 人対車両事故以外の事故による歩行者の負傷者を除く

\* ( )内は死者で内数

キ 通行目的別

買物が343人と最も多く、高齢者死傷者全体の32.1パーセントを占め、次いで訪問、通勤業務と続いている。



\*1 ( )内は死者で内数  
\*2 通行目的が調査不能、道路外の人等を除く(死傷者から10人 うち死者2人を除外)

## 9 初心運転者の事故

### (1) 概況

初心運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数 200件（前年比 -26件 11.5%減）

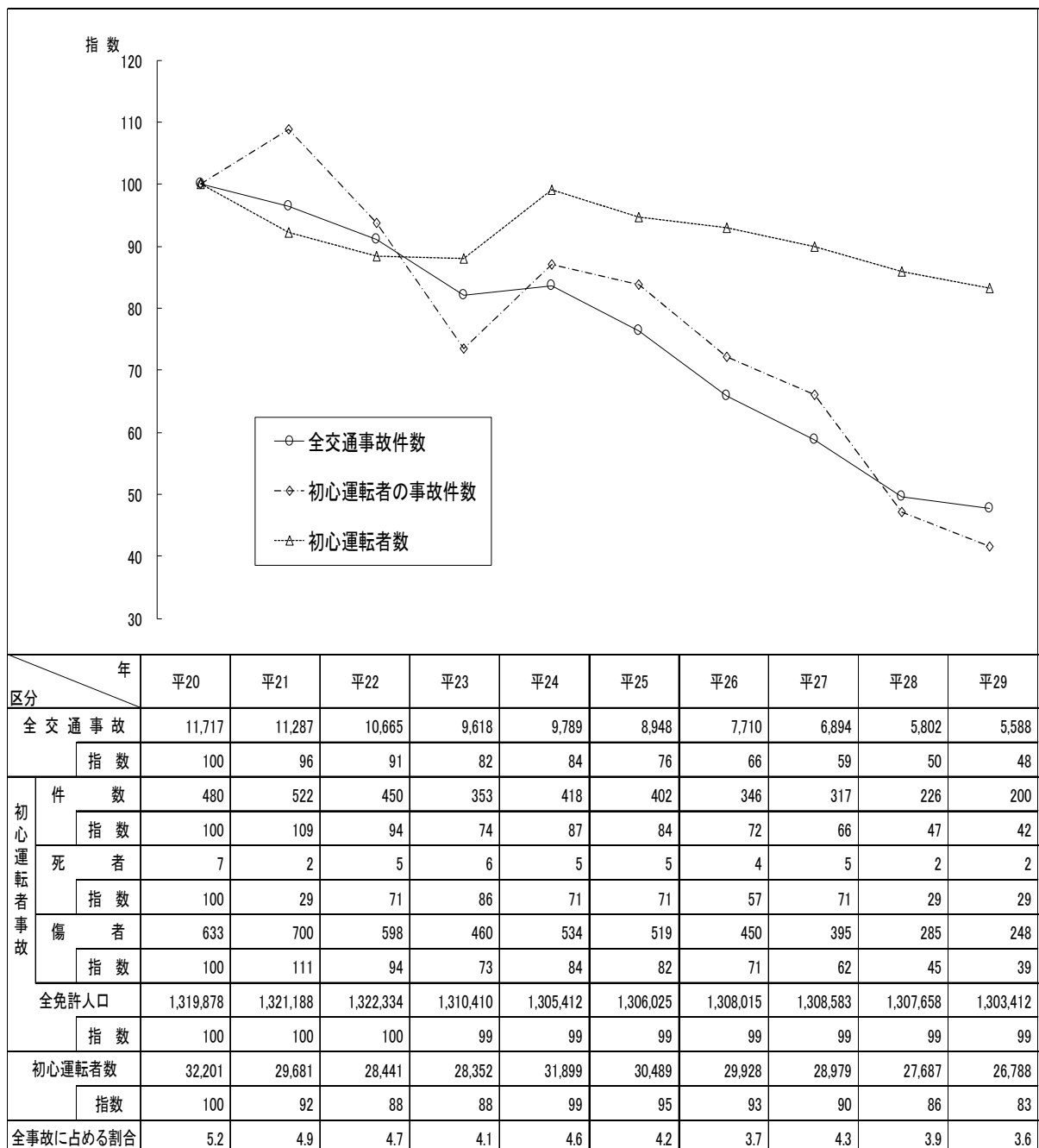
死者数 2人（前年比 ±0人）

傷者数 248人（前年比 -37人 13.0%減）

で、死者は前年同数で発生件数、傷者数ともに減少した。

過去10年間の推移をみると、総括的には、初心運転者数は減少し、全事故に占める初心運転者の事故割合は、ほぼ横ばい状態である。

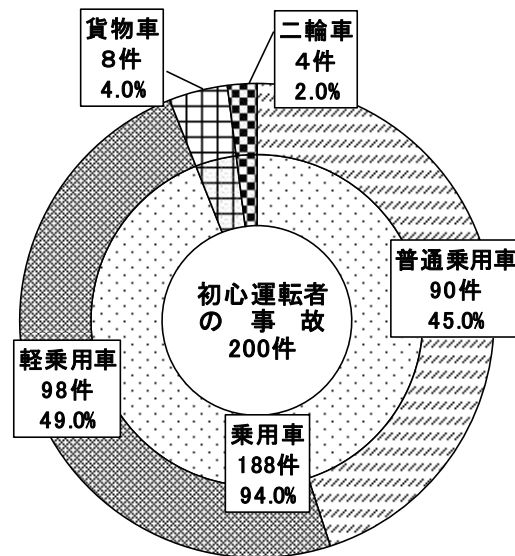
（単位：件・人・%）



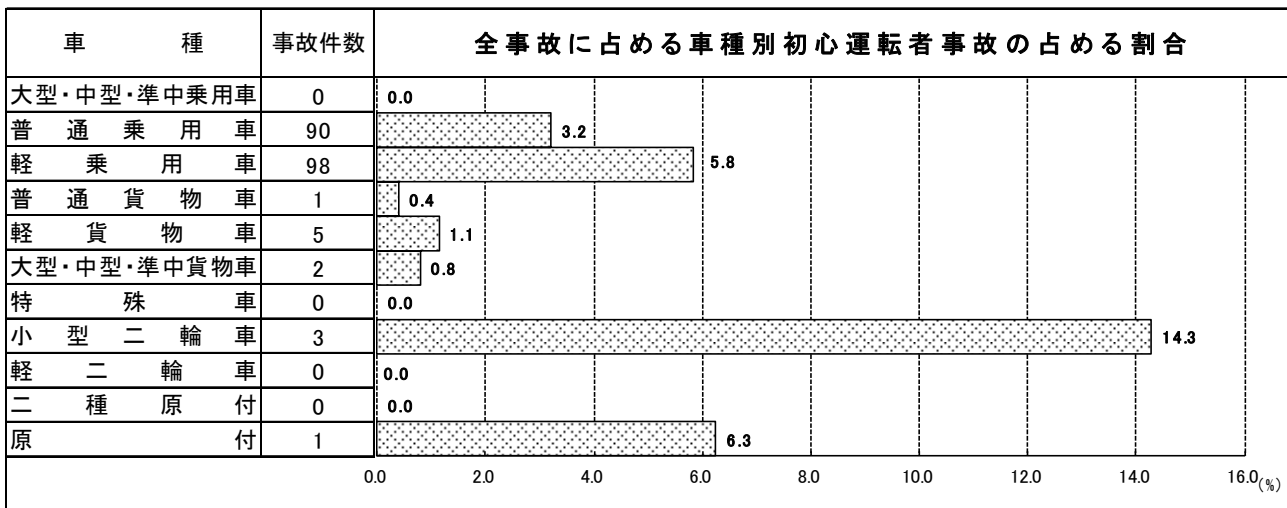
(2) 車種別

乗用車が188件で初心運転者事故の94.0パーセントを占め、軽乗用車の占める割合が49.0パーセントと高い。

また、車種別全事故に占める初心運転者の事故割合をみると、小型二輪車が14.3パーセントと高くなっている。



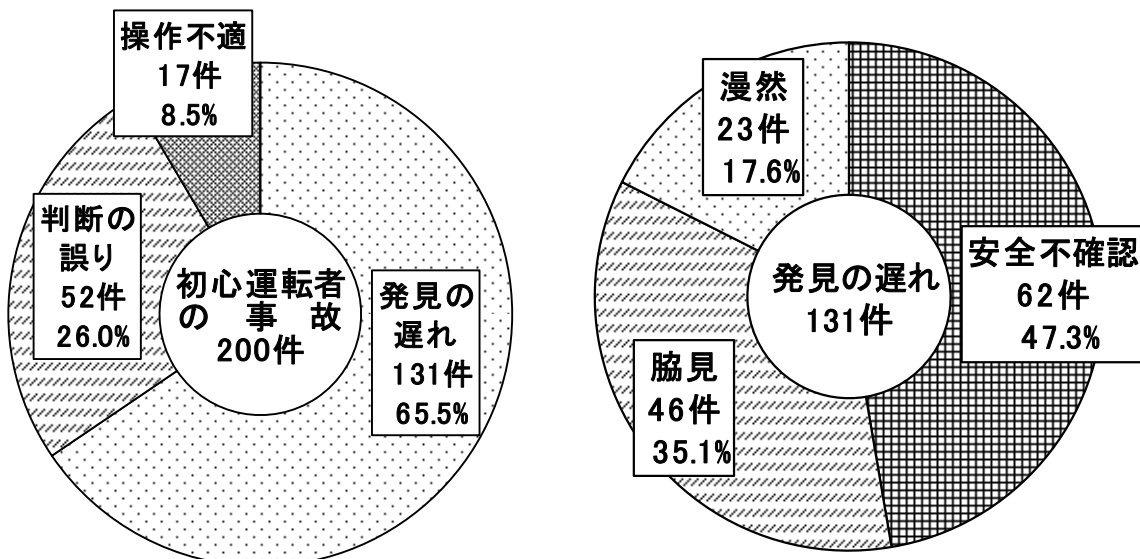
(単位：件・%)



(3) 人的原因

発見の遅れが131件で最も多く、初心運転者事故の65.5パーセントを占めている。

発見の遅れのうち、安全不確認が62件と最多で、脇見が46件が続いている。



(4) 違反別

前方不注意が 50 件で初心運転者事故の 25.0 パーセントを占め最も多く、次いで動静不注意の 34 件となっている。

悪質違反は 42 件で同事故の 21.0 パーセントを占め、うち一時不停止が 19 件で最も多く、次いで信号無視の 9 件となっている。両違反を合わせると 28 件となり、悪質違反の 66.7 パーセントを占めている。

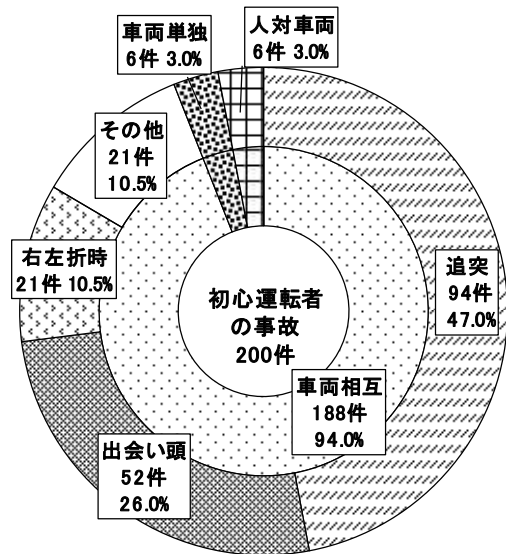
(単位：件・%)

違反		区分	件数	構成率(%)	違反		区分	件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視		9	4.5	安全運転義務違反	徐行違反			0.0
	最高速度		1	0.5		過労運転	2	1.0	
	通区・追越		8	4.0		ハンドル操作			0.0
	歩行者妨害等		5	2.5		ブレーキ操作	11	5.5	
	一時不停止		19	9.5		前方不注意	50	25.0	
	酒酔い運転			0.0		動静不注意	34	17.0	
計		42	21.0	安全不確認		16	8.0		
横断禁止等		4	2.0	安全速度		4	2.0		
車間距離不保持		1	0.5	予測不適			0.0		
進路変更禁止			0.0	その他		3	1.5		
右・左折違反			0.0	計		118	59.0		
優先通行妨害等		26	13.0	その他	1	0.5			
交差点安全進行		6	3.0	合計	200	100.0			

(5) 事故類型別

車両相互の事故が 188 件で初心運転者事故の 94.0 パーセントを占めている。

その中でも追突が 94 件と多く、次いで出会い頭が 52 件と続いており、両事故で 73.0 パーセントを占めている。



(6) 通行目的・年齢別

通行目的別では、私用中が最も多く 119 件で初心運転者事故の 59.5 パーセントを占め、年齢別では、25 歳未満の事故が 180 件 (90.0%) となっている。

(単位：件・%)

通行目的		区分	件数	構成率(%)	年齢別		区分	件数	構成率(%)
業務	職業運転		2	1.0	年齢別	青年	16 ~ 19 歳	138	69.0
	業務目的		13	6.5			20 ~ 24 歳	42	21.0
通勤等	出勤		30	15.0		計	180	90.0	
	退社		28	14.0		年齢別	25 ~ 29 歳	10	5.0
私用	通学		8	4.0			30 歳代	3	1.5
	観光・娯楽		15	7.5			40 歳代	5	2.5
	ドライブ		13	6.5			50 歳代	2	1.0
	散歩			0.0			60 ~ 64 歳		0.0
	飲食		7	3.5			計	20	10.0
	買物		41	20.5		高齢者	65 ~ 69 歳		0.0
訪問		9	4.5	70 歳代			0.0		
帰省		2	1.0	80 歳以上			0.0		
その他		32	16.0	計	0	0.0			
調査不能			0.0	合計	200	100.0			
合計		200	100	(内数) 高校生	1	0.5			

## 10 飲酒運転の事故

(注) 各表の○は酒酔いで内数 (以下飲酒運転事故表中の○は同じ)

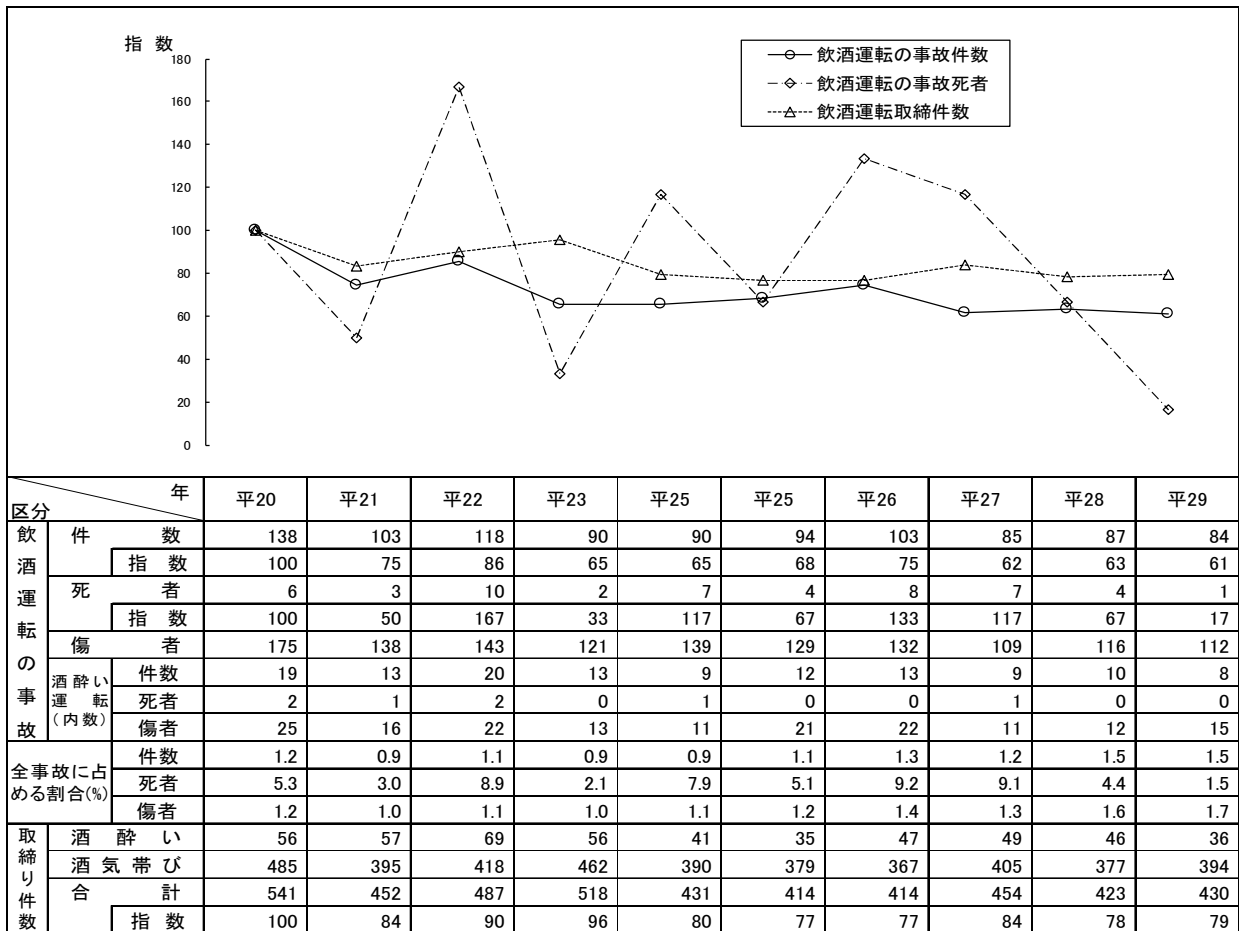
### (1) 概況

第1当事者が飲酒の状態で車両を運転して起こした事故は、

発生件数	84件 (前年比 - 3件 3.4%減)	うち酒酔い	8件 前年比- 2件
死者数	1人 (前年比 - 3人 75.0%減)	うち酒酔い	0人 前年同数
傷者数	112人 (前年比 - 4人 3.4%減)	うち酒酔い	15人 前年比+ 3人

で、発生件数、死者数、傷者数の全てで減少した。

(単位：件・人・%)



年		平20	平21	平22	平23	平25	平25	平26	平27	平28	平29	
飲酒運転の事故	件数	138	103	118	90	90	94	103	85	87	84	
	指数	100	75	86	65	65	68	75	62	63	61	
	死者	6	3	10	2	7	4	8	7	4	1	
	指数	100	50	167	33	117	67	133	117	67	17	
	傷者	175	138	143	121	139	129	132	109	116	112	
	酒酔い運転(内数)	件数	19	13	20	13	9	12	13	9	10	8
		死者	2	1	2	0	1	0	0	1	0	0
		傷者	25	16	22	13	11	21	22	11	12	15
	全事故に占める割合(%)	件数	1.2	0.9	1.1	0.9	0.9	1.1	1.3	1.2	1.5	1.5
		死者	5.3	3.0	8.9	2.1	7.9	5.1	9.2	9.1	4.4	1.5
傷者		1.2	1.0	1.1	1.0	1.1	1.2	1.4	1.3	1.6	1.7	
取締り件数	酒酔い	56	57	69	56	41	35	47	49	46	36	
	酒気帯び	485	395	418	462	390	379	367	405	377	394	
	合計	541	452	487	518	431	414	414	454	423	430	
	指数	100	84	90	96	80	77	77	84	78	79	

### (2) 月別

飲酒運転が最も多いのは2月と11月の各10件で、次いで3月と10月の各9件となっている。

うち、酒酔い運転は1月の3件が最も多い。

(単位：件・人)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計			
件数	③	7	②	10	9	6	①	6	6	8	5	9	10	②	8	⑧	84
	全事故に占める割合	1.5	2.1	1.8	1.3	1.3	0.0	1.3	1.8	1.1	1.9	2.1	1.6	1.5			
死者				1										1			
傷者	⑤	9	④	14	9	11	②	7	11	10	5	10	13	④	13	⑮	112

(3) 曜日・時間別

土曜日が18件と最も多く、次いで火曜日の17件の順となっている。

時間別では、18～20時が12件と多く、次に20～22時が10件と多い。

(単位：件・%)

時間	曜日								合計						
	日	月	火	水	木	金	土	合計	構成率(%)						
0～2		3					1	5	9.3						
2～4	①	1	①	2		2	1	②	7	13.0					
4～6		2	1					3	2.9						
6～8		1	3	1		1	2	8	1.2						
8～10		1	2				4	7	1.0						
10～12		2	2	1	1		1	7	1.1						
12～14		1						1	0.2						
14～16		2	3			1	2	8	1.2						
16～18	①	2		①	3	1	2	②	8	0.8					
18～20		2	3	①	2	3	1	①	12	1.5					
20～22		1	1	2		①	3	②	10	4.2					
22～24	①	1	1			2	2	①	8	6.4					
合計	③	16	6	①	17	②	8	①	9	10	①	18	⑧	84	1.5
構成率(%)	2.7	0.7	1.9	1.0	1.1	1.1	2.6	1.5							

(4) 発生地別

市部で71件発生し、飲酒運転の84.5パーセントを占めている。特にいわき市、郡山市が多く、二市の合計は51件で、市部の71.8パーセントを占めている。

(単位：件・人)

発生地	福島市	二本松市	伊達市	本宮市	郡山市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計		
件数	12	①	3	1	④	22	2		1		②	29	1	①	13	⑧	84
死者												1					1
傷者	14	①	3	1	⑦	30	2		1		④	39	1	③	21	⑮	112

(5) 道路別

道路別で発生件数をみると、県道が32件で、飲酒運転の38.1パーセントを占めている。死者は市町村道の1人となっている。

(単位：件・人)

区分	国 道						県 道			市 村 町 道	その他	合計												
	4号	6号	13号	49号	三 折	計	主 要 地 方 道	一 般 県 道	計															
件数	①	4	①	6	1	①	6	①	4	④	21	②	24		8	②	32	①	26	①	5	⑧	84	
死者											0						0		1					1
傷者	①	9	②	9	1	②	8	③	9	⑧	36	②	25		10	②	35	③	35	②	6	⑮	112	

(6) 事故類型別

(単位：件・人・%)

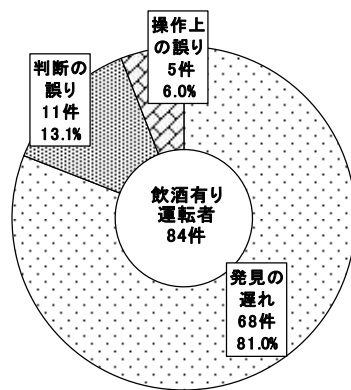
追突が最も多く、36件(42.9%)となっており、次いで車両相互のその他が13件の順となっている。

車両相互の事故が発生件数、傷者数とも全体の8割を超える高い割合を占めている。

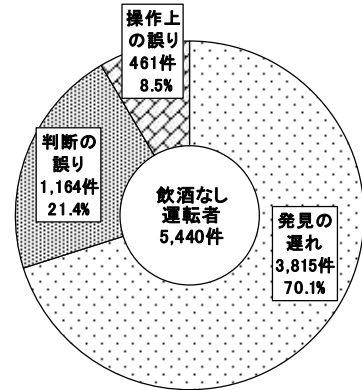
事故類型	区分	件数		死者	傷者		
		件数	構成率(%)				
人対車両	対面・背面歩行中	①	2	2.4		①	2
	横断中		2	2.4			2
	その他			0.0			
	計		4	4.8		0	4
車両相互	正面衝突		6	7.1			13
	追突	⑤	36	42.9		⑩	53
	出会い頭	①	8	9.5		②	9
	転回時			0.0			
車両単独	右・左折時		7	8.3			7
	その他	①	13	15.5		②	17
	計		70	83.3		0	99
列車	工作物衝突		7	8.3			7
	路外逸脱		3	3.6		1	2
	駐車車両衝突			0.0			
	転倒			0.0			
合計	その他			0.0			
	計		10	11.9		1	9
合計	⑧	84	100.0		1	⑮	112

(7) 人的原因

飲酒なし運転者と比較すると、「発見の遅れ」で10.9ポイント高くなっている。



当事者不明を除く



\* 第1当事者が歩行者、不明、調査不能を除く

(8) 飲酒動機・飲酒理由・飲酒場所

飲酒動機をみると、「酔いをさました」が16件、次いで「他に乗り物がなかった」が14件と多く、両項目で飲酒運転事故の35.7パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

動機 区分	件数	構成率(%)	飲酒運転のうち											
			酒酔い運転	酒気帯び運転	その他不明	合計	酒酔い運転	酒気帯び運転	その他不明	合計				
他に乗り物がなかった	14	16.7												
翌日の出勤	4	4.8												
少量の飲み過ぎ	12	14.3												
酔いをさました	16	19.0												
車を置いていく	1	1.2												
運転代行がなかった	3	3.6												
深夜なもので大丈夫と思った	10	11.9												
交通量がなかった	3	3.6												
その他不明	21	25.0												
合計	84	100.0	8	64										
死者														
傷者	17		9	17	19	1	9	11	5	24	112	15	83	

飲酒理由は「酒好き晩酌等」が最も多く53件で63.1パーセントを占めている。

また、飲酒場所は「自宅」が37件で44.0パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

飲酒理由 飲酒場所	件数	死者	傷者	忘年会	新年会	歓送迎会等	冠婚葬祭	等閑祭	花見祭典	各種会合	他家訪問	友人等と	のつきあい	酒好き等	晩酌	その他不明	合計	構成率(%)
自宅	37	0	48								1	1	34	1	37		44.0	
知人・友人宅	2	0	2									1	1	43	3	48	2.4	
取引・勤務先	3	0	6										3	6	6	3	3.6	
料理店・キャバレー・バー・スナック	19	0	26	2						1		11	4	1	19		22.6	
その他の料理店	9	0	11									5	4		9		10.7	
旅館・ホテル等の宿泊施設	3	0	4							1			2		3		3.6	
ドライブイン・酒類販売店等	5	0	10										4	1	5		6.0	
自動販売機付近	1	0	1									1			1		1.2	
その他(不明)	5	1	4										1	4	5		6.0	
合計	84	7	112	2	0	0	0	0	0	2	1	19	53	7	84		100.0	
死者		0	0										0	0	1			
傷者	3	0	0							2	1	25	73	8	112			

件数の構成率	2.4	0.0	0.0	0.0	2.4	1.2	22.6	63.1	8.3	100.0
--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	-----	-------



## 11 無免許運転の事故

「無免許運転」とは、停止中・無資格・審査未済・免許外・期限切れ・その他の無免許・条件違反による運転及び仮免許等違反をいう。

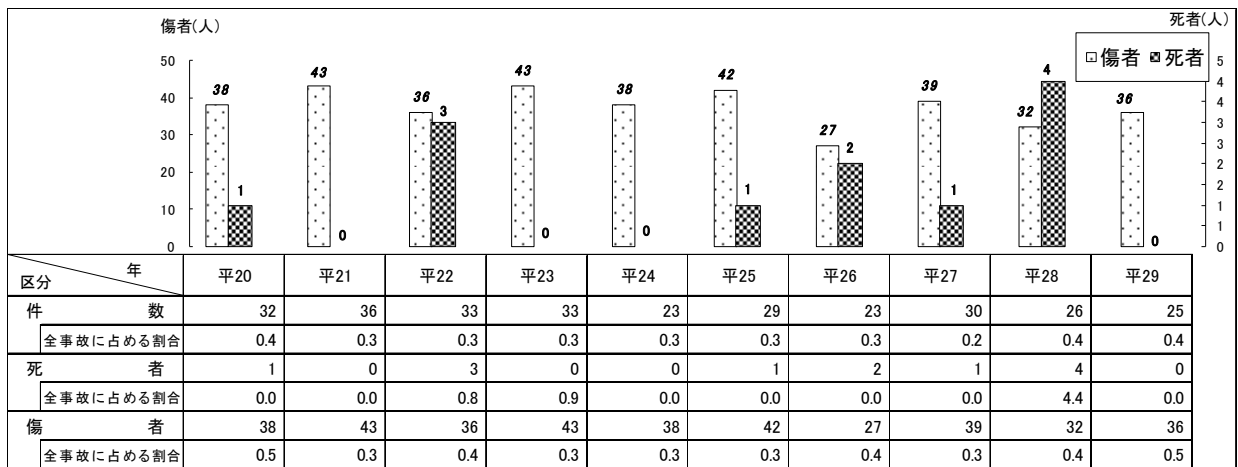
### (1) 概況

第1当事者が無免許運転であった事故は、

発生件数	25件	(前年比	-1件	3.8%減)
死者数	0人	(前年比	-4人	100.0%減)
傷者数	36人	(前年比	+4人	12.5%増)

で、発生件数、死者数は減少したが、傷者数は増加した。

(単位：件・人・%)



### (2) 月別

無免許運転が最も多いのは、10月の5件、次いで11月の3件の順で、6月以外、毎月発生している。

(単位：件・人)

区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	1	2	2	1	2		2	2	3	5	3	2	25
死者													0
傷者	1	3	2	1	3		2	5	5	8	4	2	36

### (3) 発生地別

無免許運転は市部での発生が多く、郡山市、いわき市の2市を合わせると16件で、無免許運転事故の64.0パーセントを占めている。

(単位：件・人)

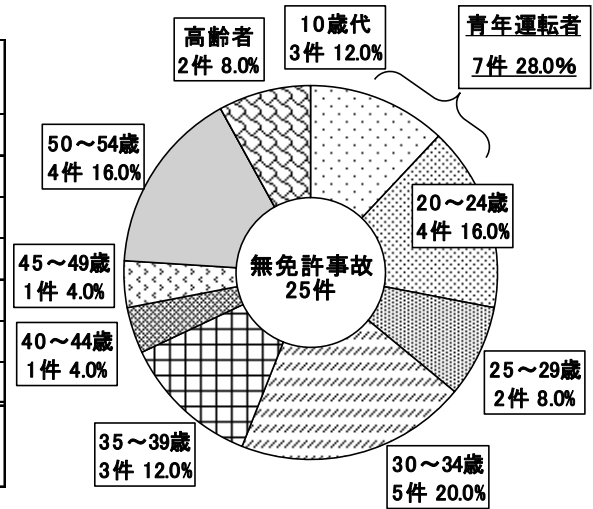
発生地	福島市	伊達市	二本松市	郡山市	本宮市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計
件数	2			10		1		1	1		6		1	3	25
死者															0
傷者	2			11		3		1	1		10		1	7	36

(4) 年齢別

青年運転者が7件で28.0パーセントを占め、次いで30～34歳が5件と続いている。

(単位：件)

年齢	区分		件数	区分	件数
	年齢	件数			
10歳代	16歳未満			35～39歳	3
	16歳	1		40～44歳	1
	17歳		1	45～49歳	1
	18歳	1		50～54歳	4
	19歳	1		55～59歳	
	計	3		60～64歳	
	20～24歳	4		高齢者	2
	25～29歳	2		合計	25
	30～34歳	5			

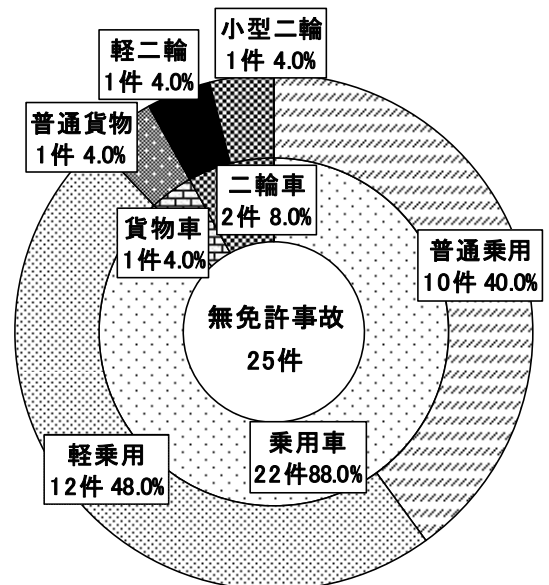


(5) 車種別

車種別では、軽乗用車の事故が12件、次いで普通乗用車の事故が10件の順となっており、両車種による事故の合計は22件となり、全体の88.0パーセントを占めている。

(単位：件・%)

車種	区分	件数		全事故	
		構成率 (%)	無免許の割合		
乗用車	バス・マイクロバス		0.0	16	0.3
	普通	10	40.0	2,807	51.1
	軽(ミニカーを含む)	12	48.0	1,680	30.6
	計	22	88.0	4,503	81.9
貨物車	大型・中型・準中型		0.0	252	4.6
	普通	1	4.0	251	4.6
	軽		0.0	441	8.0
	計	1	4.0	944	17.2
特殊車(大型・小型)			0.0	9	0.2
二輪車	小型二輪	1	4.0	21	0.4
	軽二輪	1	4.0	2	0.0
	二種原付		0.0	3	0.1
	原付		0.0	16	0.3
	計	2	8.0	42	0.8
合計		25	100.0	5,498	100.0



\* 全事故は第1当事者が、軽車両、歩行者、不明など90件を除く

(6) 職業別

建設業が8件（32.0%）と多く、次いでサービス業が5件となっている。

（単位：件・%）

職業 区分	職業 運転手	官 公 署	建 設 業	製 造 業	卸 小 売 業	飲 食 業	サ ー ビ ス 業	農 林 漁 業	主 婦	無 職	そ の 他	合 計
	件数			8	2	1		5		1	5	3
構成率(%)	0.0	0.0	32.0	8.0	4.0	0.0	20.0	0.0	4.0	20.0	12.0	100

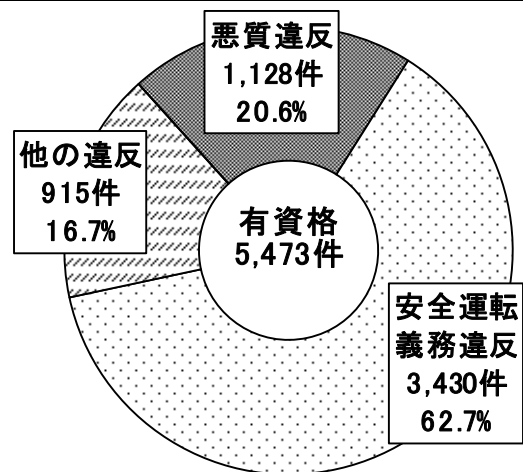
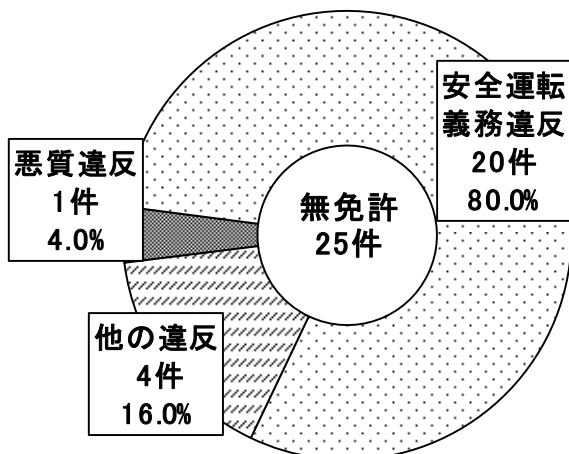
(7) 違反別・原因別

前方不注意が最も多く7件（28.0%）、安全運転義務違反は20件で無免許運転全体の80.0%を占めている。

有資格者と無免許における悪質違反による事故の構成率は、それぞれ20.6%、4.0%と全く異なり、有資格者ほど悪質違反が多くなっている。

（単位：件・%）

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)
悪 質 違 反	信 号 無 視	1	4.0	安 全 運 転 義 務 違 反	過 労 運 転		0.0
	最 高 速 度		0.0		ハ ン ド ル ・ プ レ ー キ 操 作	1	4.0
	通 区 ・ 追 越		0.0		前 方 不 注 意	7	28.0
	歩 行 者 妨 害 等		0.0		動 静 不 注 視	6	24.0
	一 時 不 停 止		0.0		安 全 不 確 認	6	24.0
	酒 酔 い 運 転		0.0		安 全 速 度		0.0
計		1	4.0	そ の 他		0.0	
車 間 距 離 不 保 持			0.0	計		20	80.0
優 先 通 行 妨 害 等		1	4.0	そ の 他		2	8.0
交 差 点 安 全 進 行		1	4.0	合 計		25	100.0
左 折 違 反			0.0	飲 酒 運 転 ( 内 数 )			0.0



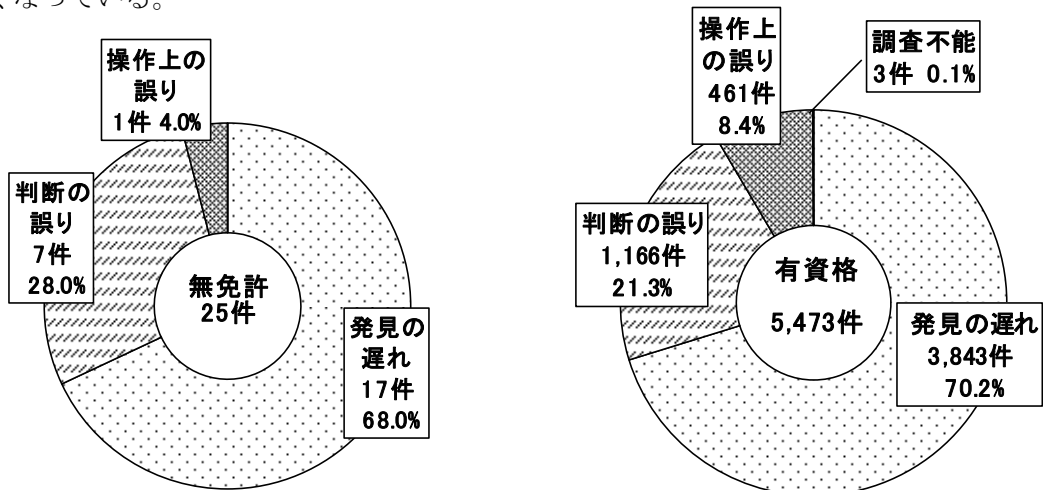
(8) 人的原因別

発見の遅れが 17 件で、無免許運転事故の 68.0 パーセントを占め最も多い。安全不確認が 9 件、前方不注視 8 件となっている。

(単位：件)

人的原因	件数	人的原因	件数
<b>合計</b>	<b>25</b>	<b>予測不適</b>	<b>計 0</b>
<b>発見の遅れ</b>	<b>計 17</b>	運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	
<b>前方不注視</b>	<b>計 8</b>	相手がルールを守ると思った	
<b>内在的(漫然等)</b>	<b>計 0</b>	相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	
居眠り運転		他の事故(危険)を避けようと思った	
ラジオ・ステレオを聴いていた		その他相手の行動予見等の判断を誤った	
雑談や携帯電話等で話していた		<b>交通環境</b>	<b>計 0</b>
その他、考え事等の漫然運転		道路形状、道路線形に対する認識を誤った	
<b>外在的(脇見等)</b>	<b>計 8</b>	道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	
物を落とした、物を取ろうとした	2	交通規制に対する認識を誤った	
同乗者、同乗の動物等に脇見	1	交通安全施設に対する認識を誤った	
スマートフォン、携帯電話等を操作していた		障害物等に対する認識を誤った	
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた		その他の交通環境に対する認識を誤った	
雑誌、地図帳等を見ていた		<b>操作上の誤り(操作不適)</b>	<b>計 1</b>
道、案内標識等を探して脇見	1	ブレーキとアクセルの踏み違い	
風景、地物等に脇見		ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	1
他の車、歩行者に脇見	1	急ブレーキをかけた	
バックミラーやドアミラーを見ていた		エンジン・ブレーキを使用しなかった	
その他脇見	3	ハンドルの操作不適	
<b>安全不確認</b>	<b>計 9</b>	ギヤの入れ違い	
安全確認をしなかった	3	ブレーキをかけながらハンドル操作	
安全確認が不十分だった	6	オートスピードコントロール装置等の操作不適	
<b>判断の誤り等</b>	<b>計 7</b>	その他の操作不適	
<b>動静不注視</b>	<b>計 7</b>	<b>調査不能</b>	
相手が譲ってくれると思って注視を怠った	2		
他の危険を避けようとして注視を怠った			
危険性がないとして注視を怠った	5		

無免許運転と有資格者の事故を比較すると、無免許運転事故では判断の誤りの構成率が 6.7 ポイント高くなっている。



## 12 二輪車の事故

### (1) 二輪車による事故

#### ア 概況

二輪車が第1当事者になった事故は、

発生件数	42件	(前年比	-6件	12.5%減)
死者数	9人	(前年比	+2人	28.6%増)
傷者数	39人	(前年比	-14人	26.4%減)

で、発生件数、傷者数は減少したが、死者数は増加した。

車種別にみると、発生件数、死者数、傷者数とも小型二輪が多く、二輪車事故の50.0パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

区分 車種	本年						増減数			増減率(%)		
	件数	構成率(%)	死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
小型二輪	21	50.0	5	55.6	21	53.8	11	4	8	110.0	400.0	61.5
軽二輪	2	4.8	1	11.1	2	5.1	-5	0	-5	-71.4	0.0	-71.4
二種原付	3	7.1		0.0	3	7.7	-4	-1	-4	-57.1	-100.0	-57.1
原付	16	38.1	3	33.3	13	33.3	-8	-1	-13	-33.3	-25.0	-50.0
合計	42	100.0	9	100.0	39	100.0	-6	2	-14	-12.5	28.6	-26.4

死亡事故率をみると軽二輪が高くなっている。

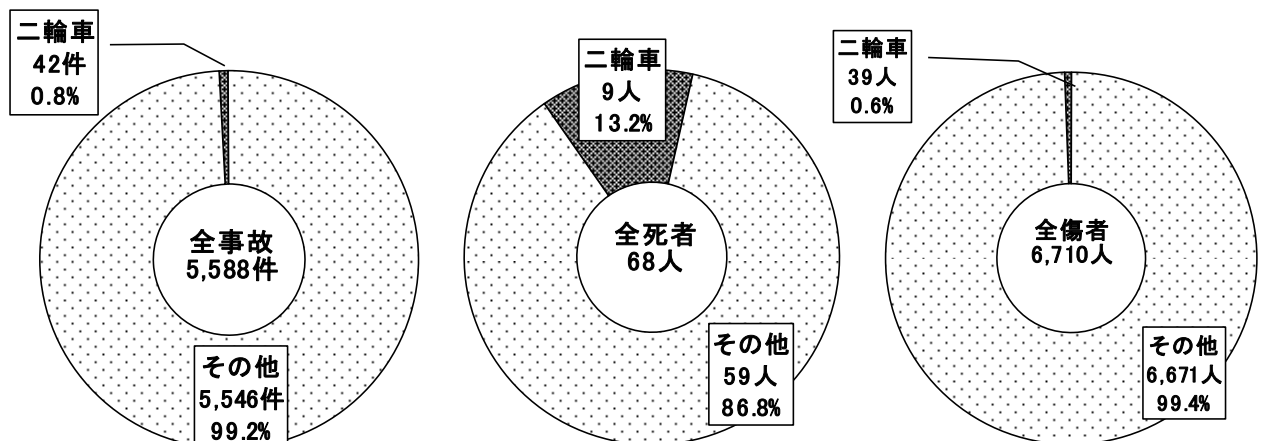
(単位：件・%)

区分 車種	二輪車							合計				
	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨	四輪その他	小型二輪	軽二輪	二種原付	原付	計	合計
車種別事故件数	2,807	1,680	252	251	441	25	21	2	3	16	42	5,498
死亡事故件数	19	14	11	0	7	1	5	1	0	3	9	61
死亡事故率	0.7	0.8	4.4	0.0	1.6	4.0	23.8	50.0	0.0	18.8	21.4	1.1

(軽車両、歩行者の第一当事者、当事者不明の交通事故を除く)

$$(注) 死亡事故率 = \frac{\text{死亡事故件数}}{\text{車種別事故件数}} \times 100$$

全事故に占める二輪車事故の構成率は0.8パーセントであるのに対し、死者の構成率は13.2パーセントと高くなっている。

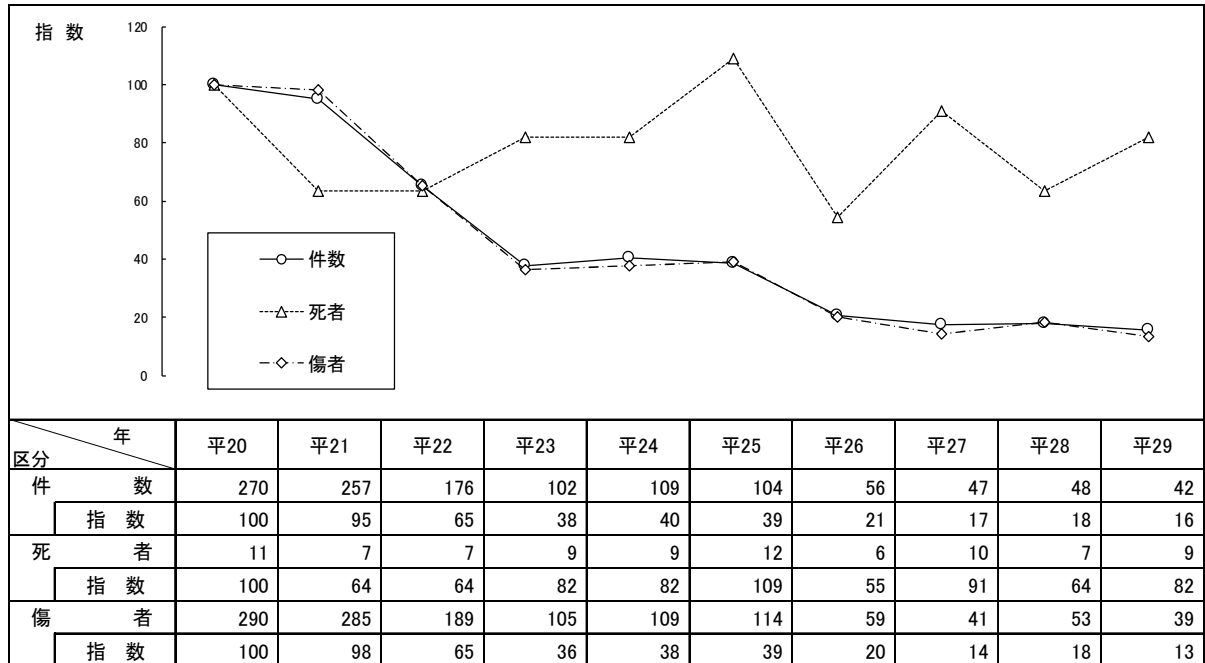


イ 年別推移

(7) 発生件数、死者数、傷者数

死者数は増減があるが、発生件数、傷者数は減少傾向である。

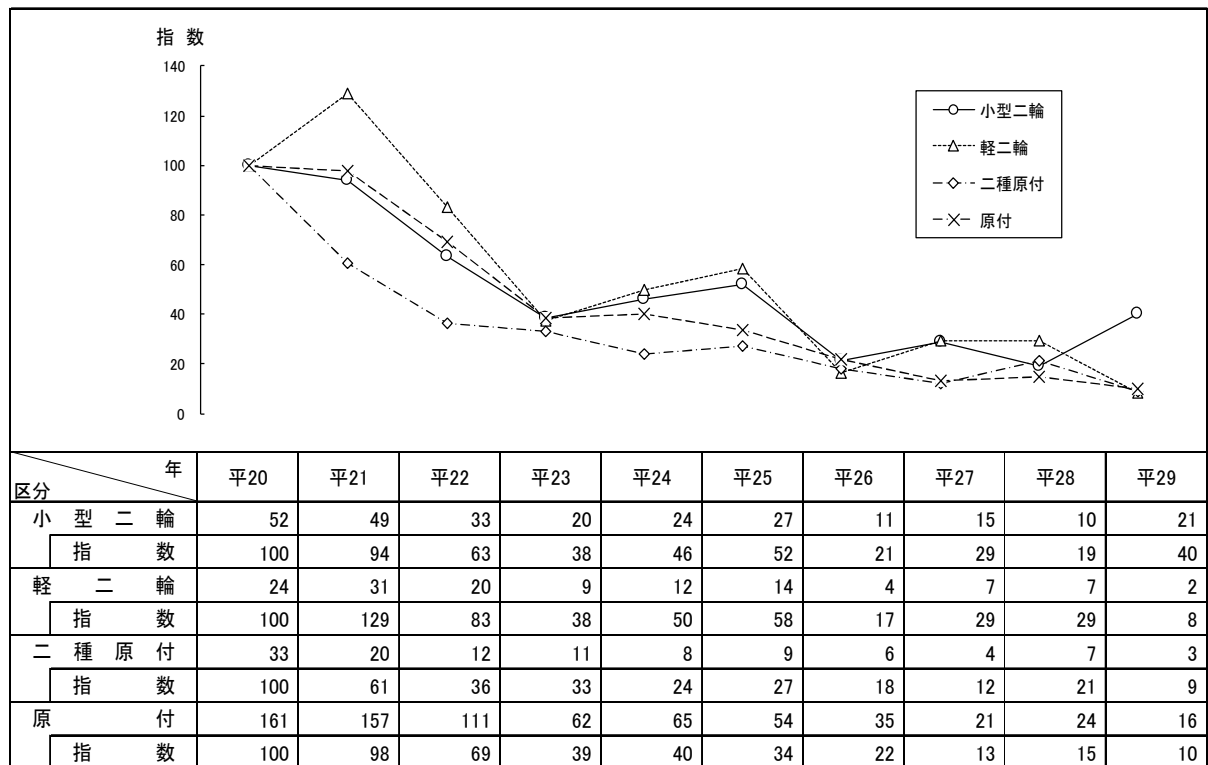
(単位：件・人)



(イ) 車種別交通事故発生件数

全体的に減少傾向ではあるが、平成29年は小型二輪で増加した。

(単位：件)



ウ 年齢別

二輪車の事故は、高齢者が12件（28.6%）と多く、次いで50歳代が7件と多い。

（単位：件・%）

区分	年齢	青年運転者				計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
		子供	高校生	その他10歳代	20～24歳								
全運転者の事故			2	209	605	816	515	820	828	838	443	1,238	5,498
	構成率(%)	0.0	0.0	3.8	11.0	14.8	9.4	14.9	15.1	15.2	8.1	22.5	100.0
二輪車事故			1	4	1	6	3	4	6	7	4	12	42
	構成率(%)	0.0	2.4	9.5	2.4	14.3	7.1	9.5	14.3	16.7	9.5	28.6	100.0
	全運転者事故に占める割合	0.0	50.0	1.9	0.2	0.7	0.6	0.5	0.7	0.8	0.9	1.0	0.8

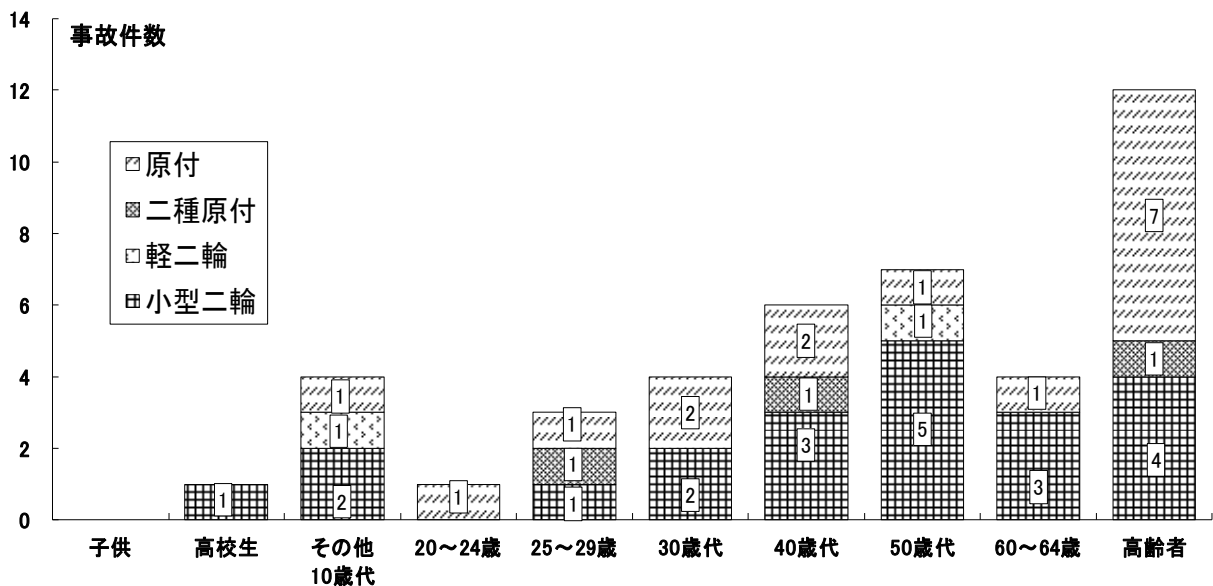
\* 軽車両、歩行者の第1当事者、当事者不明の交通事故を除く

エ 年齢別・車種別

高齢運転者による車種別構成率では、原付が43.8パーセントを占め、50歳代による車種別構成率では、小型二輪が23.8パーセントを占めている。

（単位：件・%）

区分	年齢	青年運転者				計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
		子供	高校生	その他10歳代	20～24歳								
小型二輪			1	2		3	1	2	3	5	3	4	21
	構成率(%)	0.0	50.0	9.5	0.0	14.3	4.8	9.5	14.3	23.8	14.3	19.0	100
軽二輪				1		1				1			2
	構成率(%)	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100
二種原付						0	1		1			1	3
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	100
原付				1	1	2	1	2	2	1	1	7	16
	構成率(%)	0.0	0.0	6.3	6.3	12.5	6.3	12.5	12.5	6.3	6.3	43.8	100



オ 車種別・免許経験年数別

車種別事故当事者の運転免許経験年数をみると、二輪車全体では10年以上の占める割合が高く、構成率は73.8パーセントを占めている。

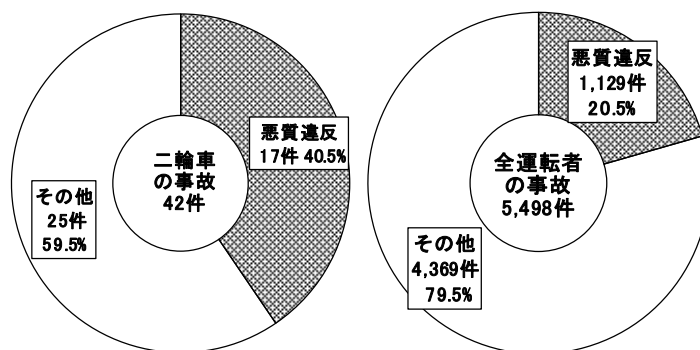
(単位：件・%)

車種 経験年数	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	
1年未満	3	14.3		0.0		0.0	1	6.3	4	9.5
1～2年		0.0		0.0		0.0	1	6.3	1	2.4
2～3年		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
3～4年		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
4～5年		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
10年未満	2	9.5		0.0	1	33.3	1	6.3	4	9.5
10年以上	15	71.4	1	50.0	2	66.7	13	81.3	31	73.8
無免許	1	4.8	1	50.0		0.0		0.0	2	4.8
合計	21	100.0	2	100.0	3	100.0	16	100.0	42	100.0

カ 車種別・違反別

二輪事故のうち悪質違反の占める割合は、40.5パーセントとなっており、全運転者の事故と比較して20ポイント高くなっている。

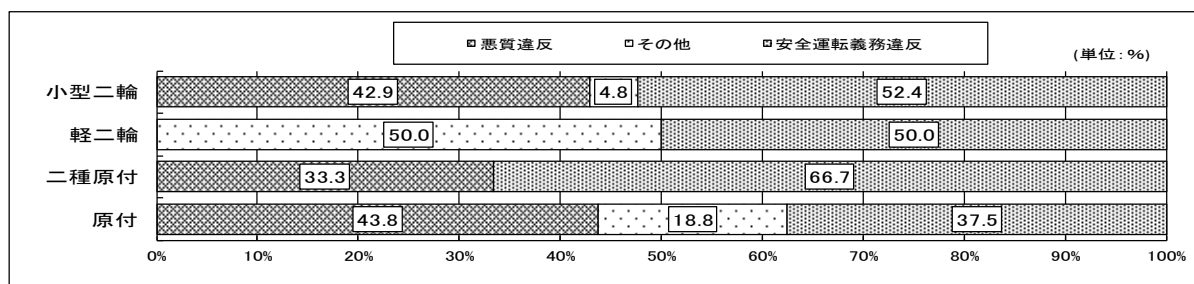
車種別にみると、悪質違反の占める割合が高いのは、原付で43.8パーセントとなっている。



二輪車の車種別違反割合では、原付以外で安全運転義務違反が高くなっている。

(単位：件・%)

違反	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	
悪質違反										
信号無視	1	4.8		0.0		0.0		0.0	1	2.4
最高速度超過	3	14.3		0.0		0.0		0.0	3	7.1
通区追越	4	19.0		0.0		0.0		0.0	4	9.5
歩行者妨害等	1	4.8		0.0		0.0	4	25.0	5	11.9
一時不停止		0.0		0.0	1	33.3	3	18.8	4	9.5
酒酔い運転		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
計	9	42.9	0	0.0	1	33.3	7	43.8	17	40.5
横断禁止等		0.0		0.0		0.0	1	6.3	1	2.4
右・左折違反		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
優先通行妨害等		0.0	1	50.0		0.0		0.0	1	2.4
交差点安全進行		0.0		0.0		0.0	2	12.5	2	4.8
徐行違反		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
安全運転義務違反										
ハンドル・ブレーキ操作	2	9.5	1	50.0		0.0		0.0	3	7.1
前方不注意	6	28.6		0.0	2	66.7	5	31.3	13	31.0
安全不確認	1	4.8		0.0		0.0	1	6.3	2	4.8
安全速度	2	9.5		0.0		0.0		0.0	2	4.8
その他		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
計	11	52.4	1	50.0	2	66.7	6	37.5	20	47.6
その他	1	4.8		0.0		0.0		0.0	1	2.4
合計	21	100.0	2	100.0	3	100.0	16	100.0	42	100.0





キ 車種別・事故類型別

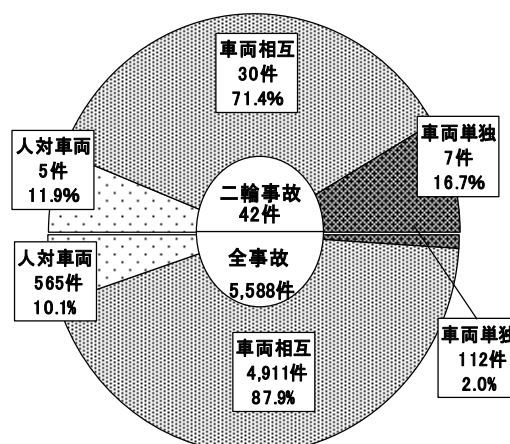
(単位：件・%)

類型	車種	全 事 故		二 輪 合 計		小 型 二 輪		軽 二 輪		二 種 原 付		原 付	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
人対車両	横断中	339	6.1	3	7.1	1	4.8		0.0	1	33.3	1	6.3
	対面・背面	85	1.5	1	2.4		0.0		0.0		0.0	1	6.3
	その他	141	2.5	1	2.4		0.0		0.0		0.0	1	6.3
	計	565	10.1	5	11.9	1	4.8	0	0.0	1	33.3	3	18.8
車両相互	正面衝突	197	3.5	4	9.5	4	19.0		0.0		0.0		0.0
	追突												
	進行中	258	4.6	4	9.5	2	9.5		0.0		0.0	2	12.5
	駐・停止中	2,062	36.9	3	7.1	2	9.5	1	50.0	1	33.3		0.0
	出合い頭	1,410	25.2	11	26.2	2	9.5	1	50.0	1	33.3	7	43.8
	追越・追抜	55	1.0	4	9.5	4	19.0		0.0		0.0		0.0
	計	4,911	87.9	30	71.4	16	76.2	1	50.0	2	66.7	11	68.8
車両単独	工作物衝突	69	1.2	6	14.3	3	14.3	1	50.0		0.0	2	12.5
	路外逸脱	17	0.3	1	2.4	1	4.8		0.0		0.0		0.0
	転倒	1	0.0	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	駐車両衝突	14	0.3	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	その他	11	0.2	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
踏切		0.0	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
合計	5,588	100.0	42	100.0	21	100.0	2	100.0	3	100.0	16	100.0	

全事故の類型別構成率と二輪合計の類型別

構成率の対比では、

- ・ 人対車両・・・ 1.8ポイント高い
  - ・ 車両相互・・・ 16.5ポイント低い
  - ・ 車両単独・・・ 14.7ポイント高い
- 特に車両単独では、工作物衝突が高い等の特徴がみられる。



ク 昼夜別・道路別

二輪車事故の78.6パーセント（33件）が昼間に発生している。

道路別に対比すると、市町村道での発生が18件と最も多く42.9パーセントを占める。

夜間の発生は県道と市町村道で発生（9件）している。

(単位：件・%)

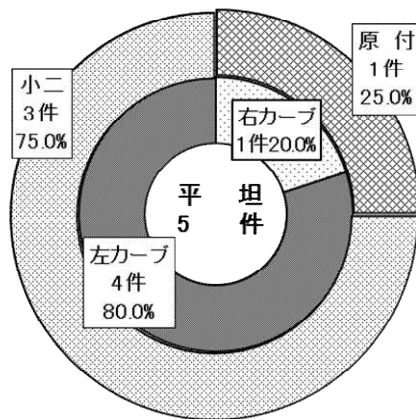
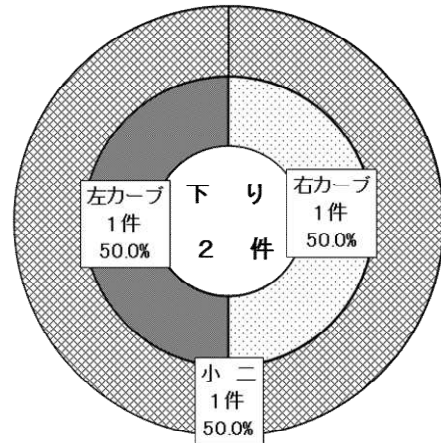
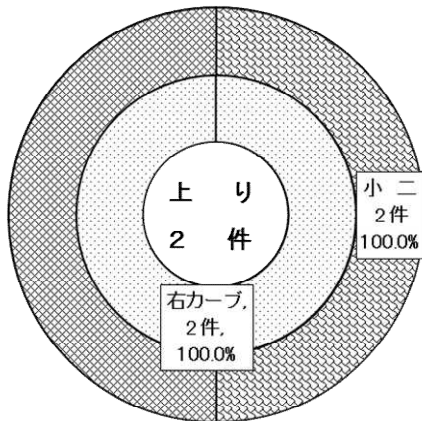
昼夜	国 道					計	県 道			市 村 町 道	高速道	その他	合 計
	4号	6号	13号	49号	三桁		主要	一般	計				
昼 間			1		3	4	8	2	10	14	5		33
構成率(%)	0.0	0.0	3.0	0.0	9.1	12.1	24.2	6.1	30.3	42.4	15.2	0.0	100.0
夜 間						0	5		5	4			9
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	0.0	55.6	44.4	0.0	0.0	100.0
薄暮(内数)						0	1	1	2				2
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
合 計	0	0	1	0	3	4	13	2	15	18	5	0	42
構成率(%)	0.0	0.0	2.4	0.0	7.1	9.5	31.0	4.8	35.7	42.9	11.9	0.0	100.0

ケ 道路線形別

全事故と比較するとカーブでの事故の割合が高く、全二輪事故のうち右カーブが9.5パーセント、左カーブが11.9パーセントを占めている。

(単位：件・%)

線形	車種	全事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
上り	右カーブ	20	0.4	2	4.8	2	9.5		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	27	0.5	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
下り	右カーブ	29	0.6	1	2.4	1	4.8		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	32	0.6	1	2.4	1	4.8		0.0		0.0		0.0
平坦	右カーブ	65	1.2	1	2.4	1	4.8		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	74	1.4	4	9.5	2	9.5	1	50.0		0.0	1	6.3
直線	上り	144	2.8	1	2.4	1	4.8		0.0		0.0		0.0
	下り	204	3.9	2	4.8	2	9.5		0.0		0.0		0.0
	平坦	4,622	88.6	30	71.4	11	52.4	1	50.0	3	100.0	15	93.8
合計	右カーブ	114	2.2	4	9.5	4	19.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	左カーブ	133	2.5	5	11.9	3	14.3	1	50.0	0	0.0	1	6.3
全事故件数		5,217	100	42	100	21	100	2	100	3	100	16	100



(2) 二輪車の死傷者

ア 概況

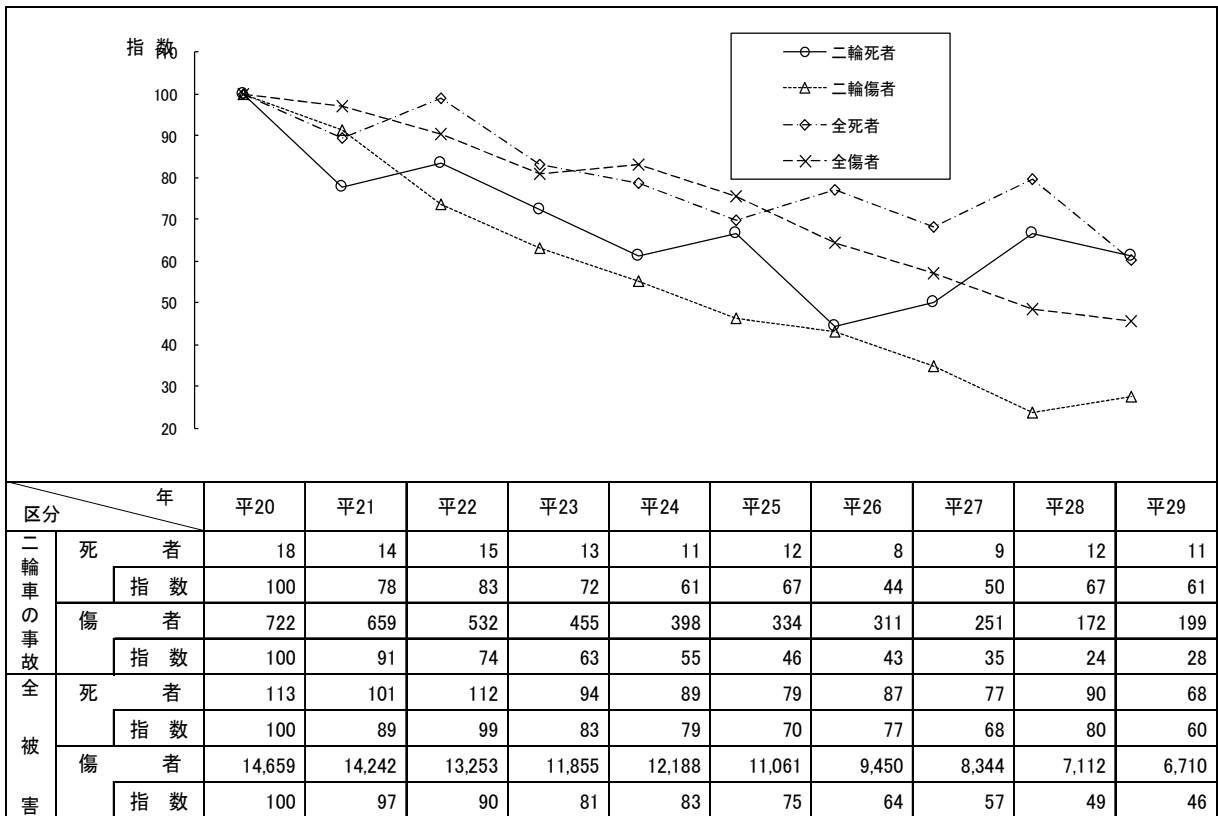
二輪乗車中（同乗者を含む）の死傷者は

死者数 11人（前年比 -1人 8.3%減）

傷者数 199人（前年比 +27人 15.7%増）

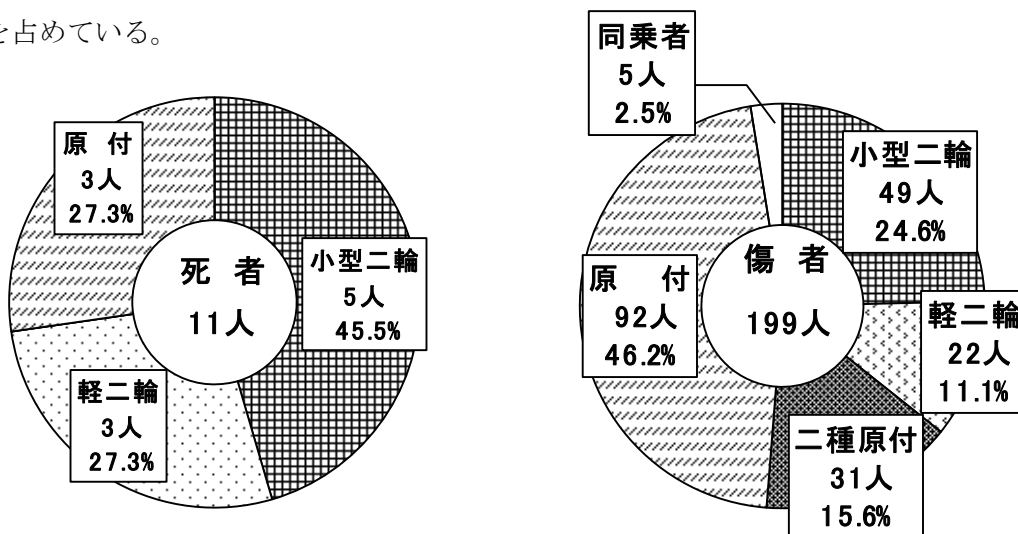
で、死者数は減少したが、傷者数は増加した。

（単位：人）



イ 車種別

車種別にみると、死者は小型二輪が多く 45.5 パーセントを占め、傷者は原付が多く 46.2 パーセントを占めている。



ウ 年齢別

年齢別にみると、死者は50歳代が5人で45.5パーセントを占め、傷者では高齢者が44人で22.1パーセントを占めている。

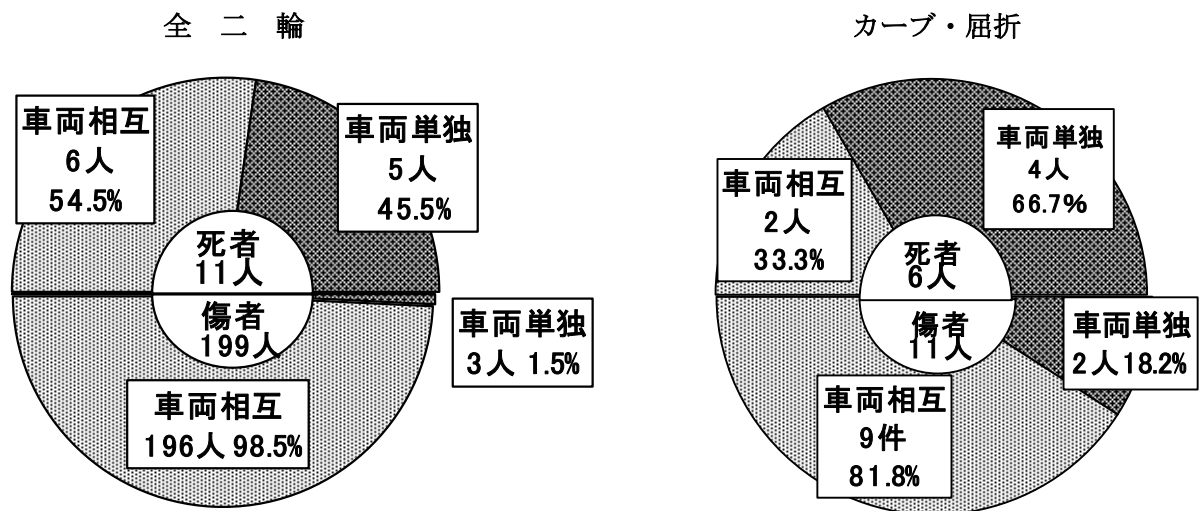
(単位：人・%)

車種		年齢								
		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
二輪車	死者	0	0	0	0	3	5	1	2	11
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	45.5	9.1	18.2	100
計	傷者	14	23	20	29	27	26	16	44	199
	構成率(%)	7.0	11.6	10.1	14.6	13.6	13.1	8.0	22.1	100.0
小型二輪	死者					2	3			5
	傷者	5	3	6	9	11	9	3	3	49
軽二輪	死者					1	2			3
	傷者	3	7	4	3	1	2	2		22
二種原	死者									0
	傷者		2	3	7	5	7	3	4	31
原付	死者							1	2	3
	傷者	4	10	7	10	9	7	8	37	92
同乗者	死者									0
	傷者	2	1			1	1			5

エ 事故類型別・道路形状別

全二輪事故では、死者、傷者ともに車両相互によるものが多い。

カーブ・屈折では、死者は車両単独、傷者は車両相互によるものが多い。



オ ヘルメット着用状況

自動二輪の着用率は、原付の着用率より2.8ポイント高くなっている。

(単位：人・%)

車種	区分	死者		傷者		合計	
		ヘルメット着用	構成率(%)	ヘルメット着用	構成率(%)	ヘルメット着用	構成率(%)
自動二輪		8	87.5	107	97.2	115	96.5
原付		3	100.0	92	93.5	95	93.7
合計		11	90.9	199	95.5	210	95.2

### 13 タクシーの事故

#### (1) 概況

タクシーが第1当事者となった事故は、

発生件数 55件（前年比 -6人 9.8%減）

死者数 1人（前年比 ±0人）

傷者数 61人（前年比 -9人 12.9%減）

で、死者は同数であったが、発生件数、傷者数は減少した。

タクシーが第2当事者になった事故は、

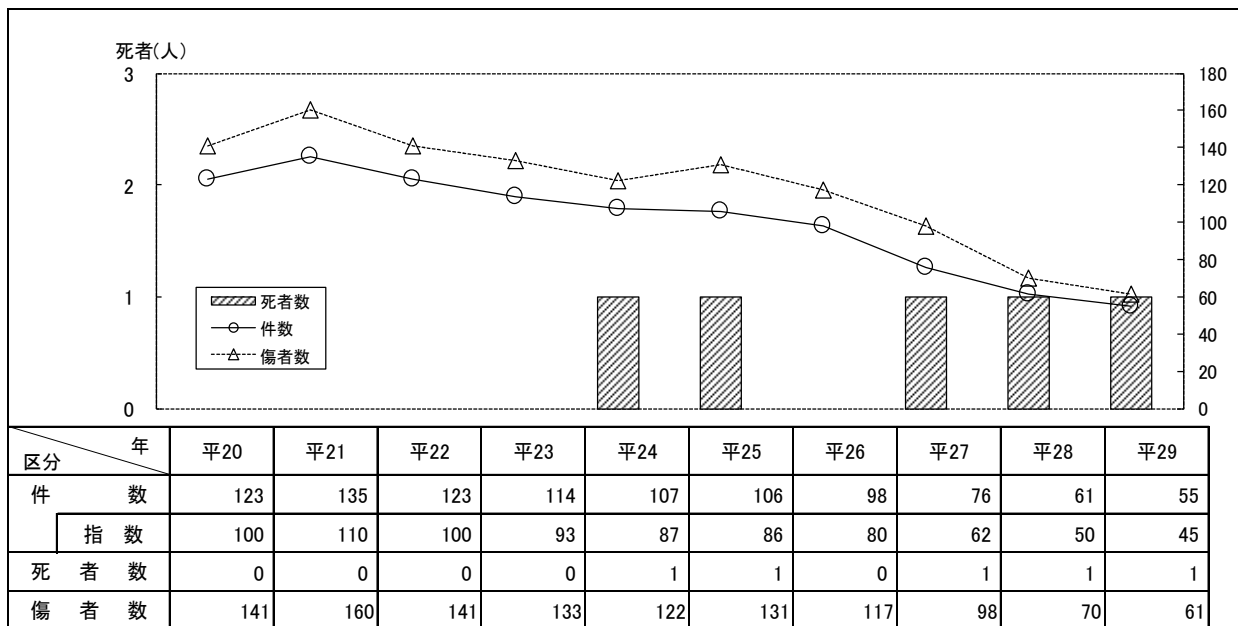
発生件数 44件（前年比 +1件 2.3%増）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 45人（前年比 -8人 15.1%減）

で、死者数は同数で発生件数は増加し傷者数は減少した。

（単位：件・人）



#### (2) 月別

3月が9件と最も多く、次いで4月、12月の8件の順となっている。

（単位：件・人）

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数		6	5	9	8	5	1	1	5	4	1	2	8	55
死者数						1								1
傷者数		7	5	10	9	4	2	1	7	5	1	2	8	61

(3) 年齢別

高齢者が 21 件で最も多く、タクシー事故の 38.2 パーセントを占めている。

(単位：件・%)

区分	年齢							高齢者 (65歳以上)	合計
	25未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳			
件数			1	1	16	16	21	55	
構成率(%)	0.0	0.0	1.8	1.8	29.1	29.1	38.2	100.0	

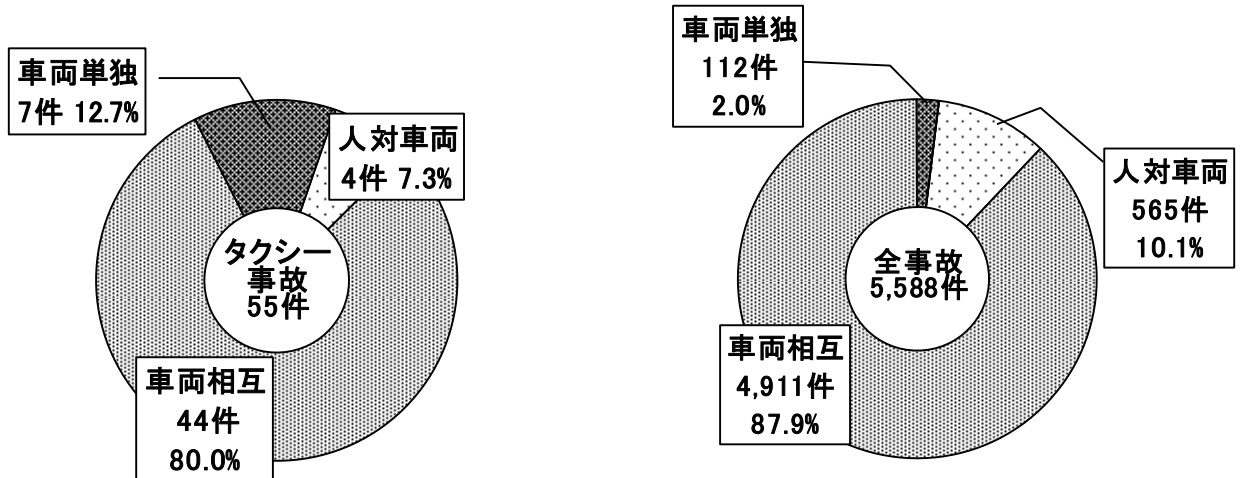
(4) 事故類型別

車両相互の事故が 44 件 (80.0%) と最も多く、うち出会い頭が 41.8 パーセントと高い。

全事故と比較すると、車両単独事故の占める割合が高くなっている。

(単位：件・%)

区分	類型	人対車両			車両相互							車両単独			合計		
		通行中	横断中	その他	計	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	計	工作物衝突	路外逸脱		その他	計
件数		2	2	4	1	10	23	3	6	1	44	3		4	7	55	
構成率(%)		3.6	3.6	7.3	1.8	18.2	41.8	5.5	10.9	1.8	80.0	5.5	0.0	7.3	12.7	100	



(5) 違反別

安全運転義務違反の事故が 30 件と多く、54.5 パーセントを占めている。

悪質違反は 9 件で 16.4 パーセントを占めている。

(単位：件・%)

区分	違反	悪質違反						横断禁止等	右・左折違反	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安全運転義務違反					その他	合計		
		信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転						計	ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注意	安全不確認			その他	計
件数		2			2	5	9	3		8	3	1	5	8	5	10	2	30	1	55	
構成率(%)		3.6	0.0	0.0	3.6	9.1	16.4	5.5	0.0	14.5	5.5	1.8	9.1	14.5	9.1	18.2	3.6	54.5	1.8	100	

## 14 バスの事故

### (1) 概況

バスが第1当事者となった事故は、

発生件数 10件（前年比 +6件 150.0%増）

死者数 1人（前年比 +1人）

傷者数 10人（前年比 +3人 42.9%増）

で、発生件数、死者数、傷者数すべてにおいて増加した。

バスが第2当事者となった事故は、

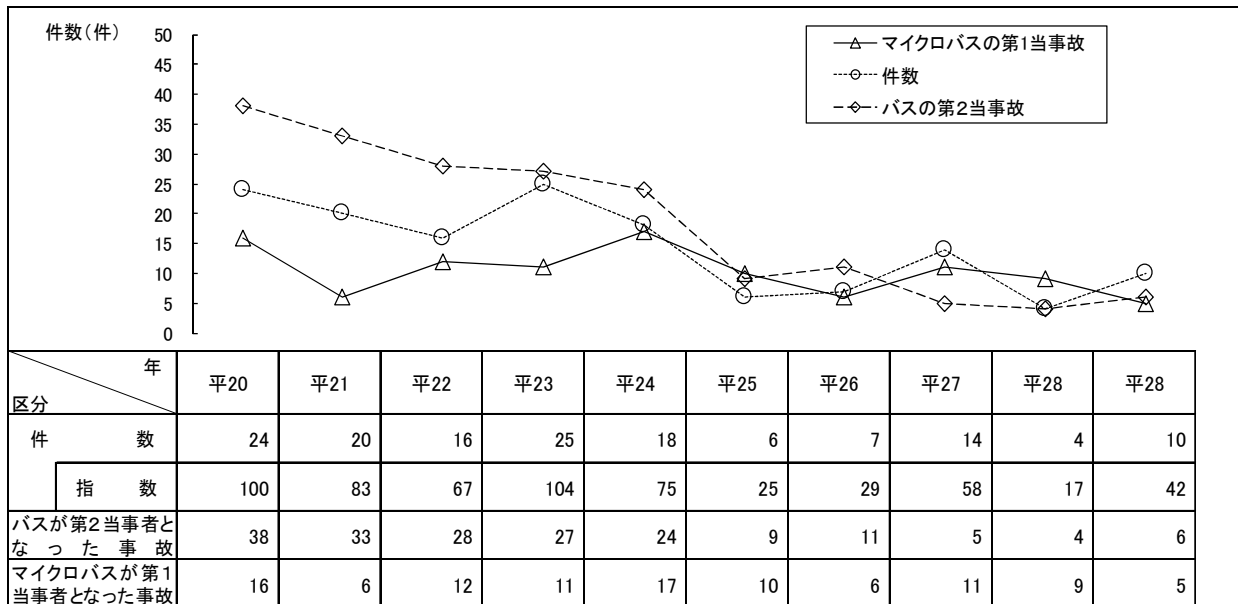
発生件数 6件（前年比 +2件 50.0%増）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 8人（前年比 +4人 100.0%増）

で、死者は同数で発生件数、傷者数において増加した。

（単位：件）



※ バス～乗車定員が30人以上、マイクロバス～乗車定員が11～30人未満

〈参考〉

マイクロバスが第1当事者となった事故

発生件数 5件（前年比 -4件 44.4%減）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 7人（前年比 -2人 22.2%減）

マイクロバスが第2当事者となった事故

発生件数 4件（前年比 ±0人）

死者数 1人（前年比 +1人 100.0%増）

傷者数 28人（前年比 +21人 300.0%増）

(2) 月別

バス運転者が第1当事者となった事故は、12月に3件と多く発生した。

第2当事者になった事故は10月、12月に各2件と発生し、いずれも下半期に多く発生した。

(単位：件・人)

区分		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
第1当事者	件数			1			2		1		2	1	3	10
	死者数												1	1
	傷者数			2			2		1		2	1	2	10
第2当事者	件数		1							1	2		2	6
	死者数													0
	傷者数		1							1	2		4	8

(3) 用途別

バス運転者が第1当事者となった事故は、路線バスが6件、貸切バス、自家用バスが各2件発生し、第2当事者になった事故は、路線バスが6件発生した。

(単位：件・人)

区分	用途	第1当事者				計	第2当事者			計
		路線バス	貸切バス	自家用バス	路線バス		貸切バス	自家用バス		
	件数	6	2	2	10	6			6	
	死者	1			1				0	
	傷者	5	3	2	10	8			8	

(4) 年齢別

50歳代が第1当事者となった事故は4件で最も多く40.0パーセントを占め、第2当事者になった事故で最も多いのも50歳代の4件で66.7パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者(65歳以上)	合計
		第1当事者				1	4	3	
第2当事者					2	4			6

(5) 道路別

第1当事者となった事故は、県道と市町村道で各3件60.0パーセントを占め、第2当事者になった事故では、県道で2件50.0パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	道路	国 道					計	県 道			市町村道	高速道	その他	合計
		4号	6号	13号	49号	三桁		主要地方道	一般道	計				
第1当事者		1				1	2	2	1	3	3	1	1	10
第2当事者						1	1	2		2	2	1		6

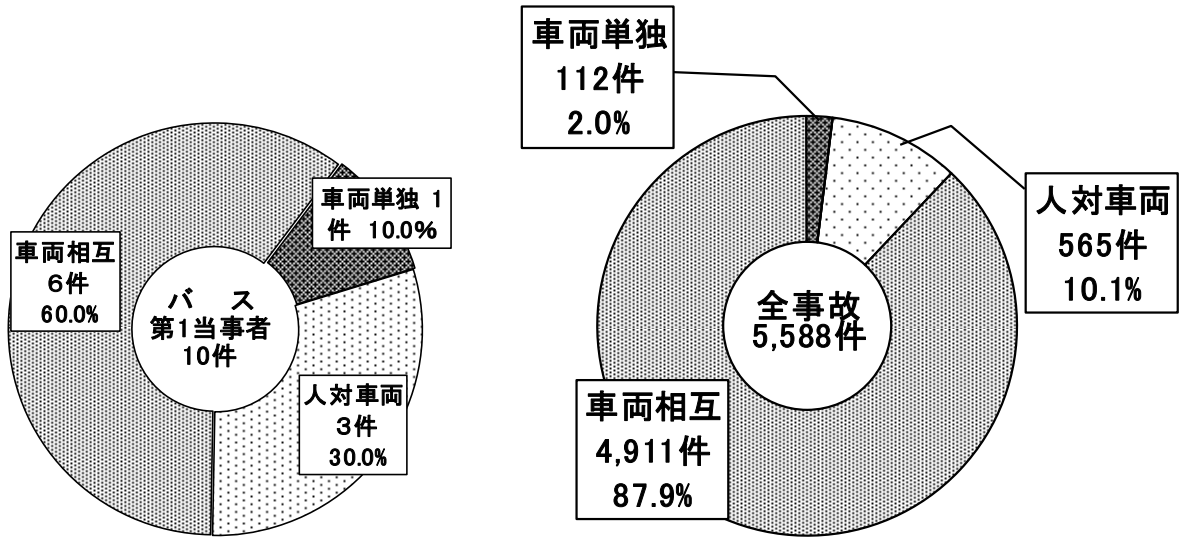


(6) 事故類型別

全事故と比較すると、車両相互事故の割合が高い。

(単位：件・%)

区分	人 対 車 両				車 両 相 互							車 両 単 独			合 計	
	通 行 中	横 断 中	そ の 他	計	正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	後 退 ・ 転 回	右 ・ 左 折 時	そ の 他	計	工 作 物 衝 突	路 外 逸 脱	そ の 他		計
件 数		1	2	3		1	2		1	2	6			1	1	10
構成率(%)	0.0	10.0	20.0	30.0	0.0	10.0	20.0	0.0	10.0	20.0	60.0	0.0	0.0	10.0	10.0	100



(7) 違反別

安全運転義務違反が6件で60.0パーセントを占めている。特に、安全不確認が2件で最も多くなっている。

(単位：件・%)

違反	区分	件 数		違反	区分	件 数		
		件	構成率(%)			件	構成率(%)	
悪 質 違 反	信 号 無 視		0.0	安 全 運 転 義 務 違 反	交 差 点 安 全 進 行	1	10.0	
	最 高 速 度		0.0		過 労 運 転		0.0	
	通 区 ・ 追 越		0.0		安 全 運 転 義 務 違 反	ハ ン ド ル ・ ブ レ ー キ	1	10.0
	歩 行 者 妨 害 等		0.0		前 方 不 注 意	1	10.0	
	一 時 不 停 止		0.0		動 静 不 注 視	1	10.0	
	酒 酔 い 運 転		0.0		安 全 不 確 認	2	20.0	
	計	0	0.0	安 全 速 度		0.0		
横 断 禁 止 等			0.0	そ の 他	1	10.0		
車 間 距 離 不 保 持			0.0	違 反 計	6	60.0		
進 路 変 更 禁 止			0.0	そ の 他		0.0		
右 ・ 左 折	1	10.0	歩 行 者 の 違 反		0.0			
優 先 通 行 妨 害 等	2	20.0	合 計	10	100			

## 15 ダンプカーの事故

### (1) 概況

ダンプカーが第1当事者になった事故は、

発生件数	41件	(前年比)	-16件	28.1%減)
死者数	3人	(前年比)	+3人)	
傷者数	46人	(前年比)	-32人	41.0%減)

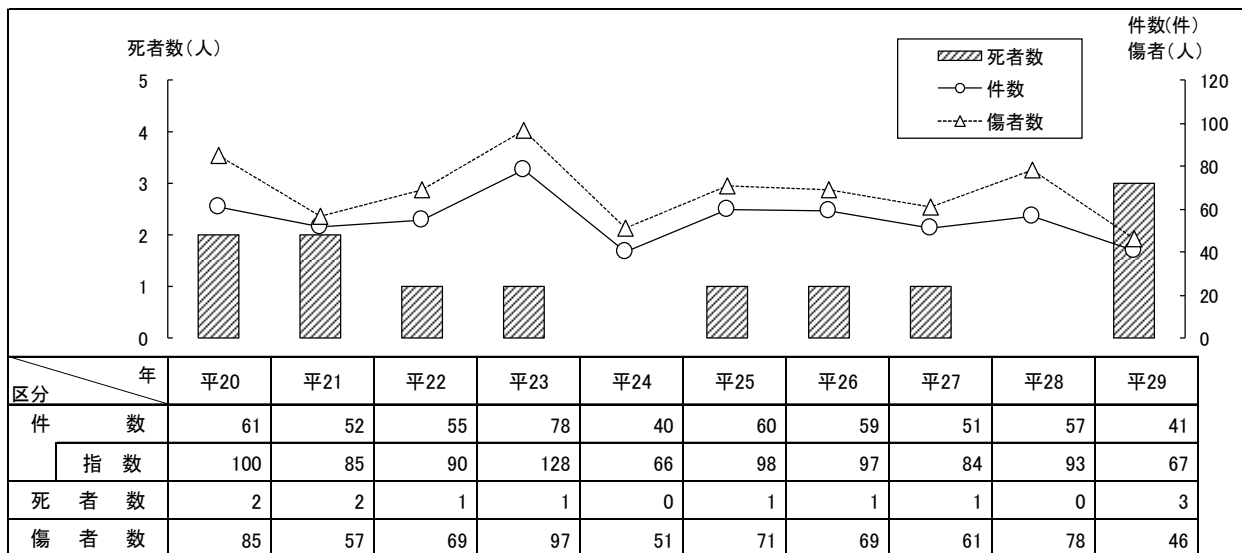
で、発生件数、傷者数は減少したが、死者数は増加した。

ダンプカーが第2当事者になった事故は、

発生件数	20件	(前年比)	+2件	11.1%増)
死者数	3人	(前年比)	+3人)	
傷者数	21人	(前年比)	+2人	10.5%増)

で、発生件数、死者数、傷者数すべてにおいて増加した。

(単位：件・人)



### (2) 月別

2月が8件で最も多く、次いで12月が7件の順となっている。

(単位：件・人)

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	5	8	4	4	2		2	2	2	1	4	7	41
死者数	死者数							1				2		3
傷者数	傷者数	5	11	4	5	4		1	2	2	2	2	8	46

(3) 年齢別・免許年数経過別

年齢別では、40歳代が11件で最も多く、次いで高齢者の8件となっている。また、免許経過年数では、10年以上が35件でダンプ事故の85.4パーセントを占めている。

区分	年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
1年未満									0
1～2年		1							1
2～3年									0
3～4年		1							1
4～5年		1			1				2
10年未満			2						2
10年以上				7	10	7	3	8	35
無免許									0
合計		3	2	7	11	7	3	8	41

(単位：件)

(4) 違反別

動静不注視が8件、安全不確認が7件でダンプ事故の36.6パーセントを占めている。

悪質違反は14件で、昨年よりも5件増加し、うち歩行者妨害が6件と悪質違反の42.9%を占めている。

(単位：件・%)

違反	区分	件数		違反	区分	件数		
		件	構成率(%)			件	構成率(%)	
悪質違反	信号無視	2	4.9	安全運転義務違反	交差点安全進行	1	2.4	
	最高速度		0.0		徐行違反			0.0
	通区・追越	4	9.8		ハンドル・ブレーキ	4	9.8	
	歩行者妨害等	6	14.6		前方不注意	4	9.8	
	一時不停止	2	4.9		動静不注視	8	19.5	
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	7	17.1	
	計	14	34.1	安全速度	1	2.4		
横断禁止等			0.0	その他	1	2.4		
車間距離不保持			0.0	計	25	61.0		
進路変更禁止			0.0	その他		0.0		
右・左折	1	2.4		歩行者の違反		0.0		
優先通行妨害等			0.0	合計	41	100.0		

(5) 用途別

自家用ダンプの事故が多く、第1当事者では82.9パーセント、第2当事者では85.0パーセントを占めている。

(単位：件・人)

(単位：件・人)

用途	区分	件数	死者傷者	
			死者	傷者
第1当事者	事業用	7	2	5
	自家用	34	1	41
	合計	41	3	46

用途	区分	件数	死者傷者	
			死者	傷者
第2当事者	事業用	3	1	3
	自家用	17	2	18
	合計	20	3	21

## 16 安全運転管理者選任事業所の事故

### (1) 概況

県内で発生した安全運転管理者選任事業所（以下安管という。）従業員の事故は、

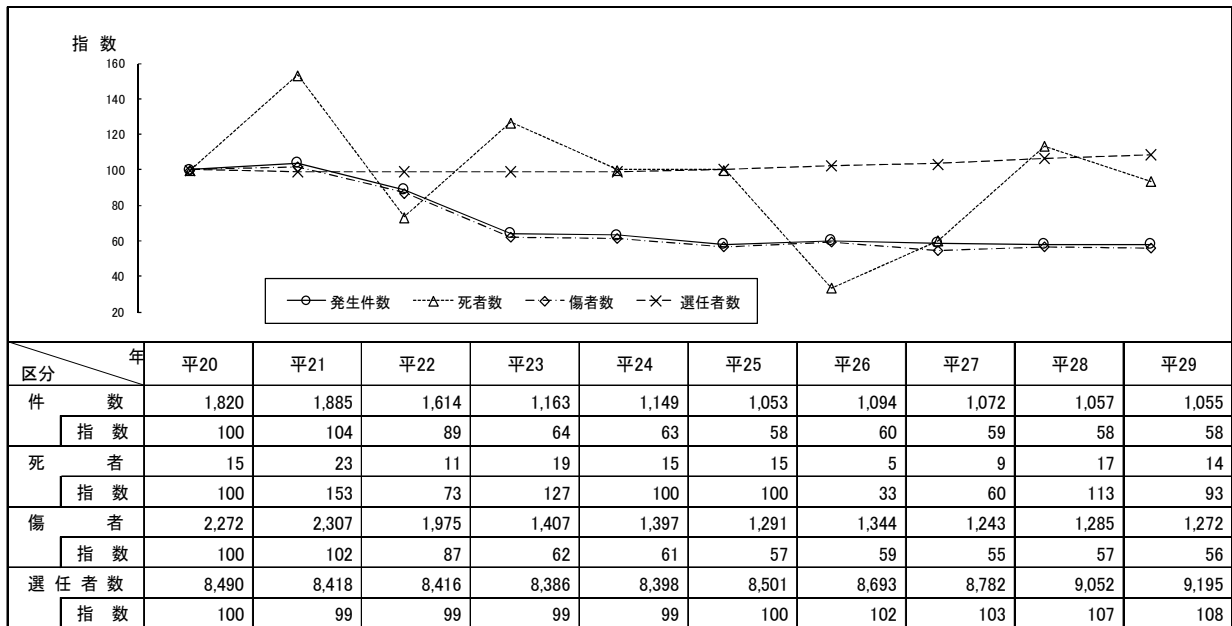
発生件数 1,055件（前年比 -2件 0.2%減）

死者数 14人（前年比 -3人 17.6%減）

傷者数 1,272人（前年比 -13人 1.0%減）

で、発生件数、死者数、傷者数全てで減少した。

(単位：件・人)



(注) 選任数は各年12月末の数値

### (2) 県内に所在する安管の事故

(単位：件・人・%)

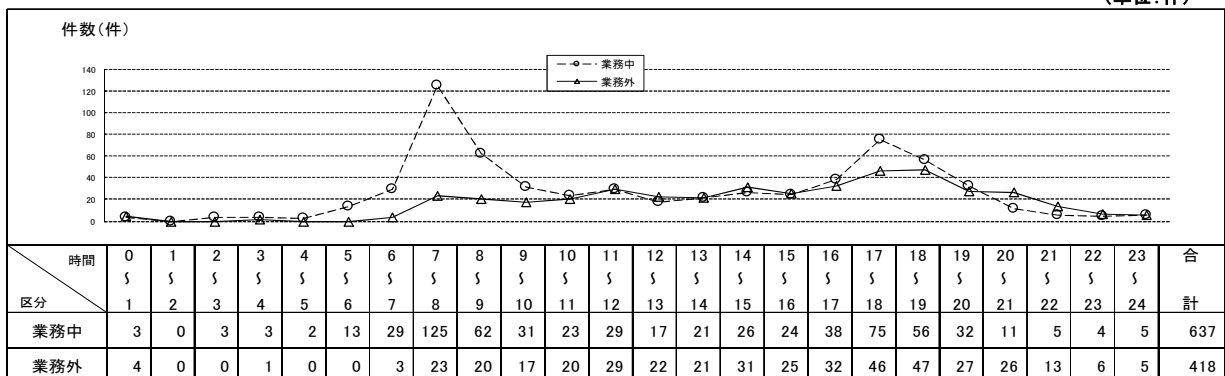
業務外の事故が安管事業所事故の77.1パーセントを占めている。

ア 時間別

業務中、業務外ともに朝夕の通勤時間帯の発生が多い。

区分	件数		死者	傷者
	件数	割合(%)		
業務中	242	22.9	4	292
業務外	813	77.1	10	980
通勤	395	37.4	4	467
私用中	418	39.6	6	513
調査不能	0	0.0	0	0

(単位：件)



イ 車種別・用途別

(ア) 車種別

業務中では、普通乗用車が325件51.0パーセント、次いで軽乗用車が151件で23.7パーセントを占めている。

業務外では、普通乗用車が252件と最も多く60.3パーセントを占めている。

(単位：件・%)

区分	車種	乗用車				貨物車				特殊車	二輪車				合計	
		大型	中型	普通	軽	計	大型	中型	普通		軽	計	小型	軽		二種
業務中		5	325	151	481	26	67	55	148	5			1	2	3	637
	構成率(%)	0.8	51.0	23.7	75.5	4.1	10.5	8.6	23.2	0.8	0.0	0.0	0.2	0.3	0.5	100
業務外			252	137	389		5	22	27		2				2	418
	構成率(%)	0.0	60.3	32.8	93.1	0.0	1.2	5.3	6.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	100

(イ) 用途別

用途別に業務中の事故をみると、自家用・その他が598件で最も多く、業務中事故の93.9パーセントを占めている。

代行運転の事故は10件で、代行道が3件、随伴車（代行会社の車両）が7件となっている。

(単位：件・%)

区分	車種	事業用	自家用				計	その他	合計	
			レンタカー	スクールバス	代行運転	随伴車				
業務中		13	9	2	3	7	598	619	5	637
	構成率(%)	2.0	1.4	0.3	0.5	1.1	93.9	97.2	0.8	100
業務外			4				414	418		418
	構成率(%)	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	99.0	100.0	0.0	100

ウ 事故類型別

業務中、業務外とも車両相互の割合が高く、なかでも追突が業務中で47.4パーセント、業務外で40.0パーセントを占めている。

(単位：件・%)

区分	類型	人対車両			車両相互						車両単独			列	合計		
		横断	その他	計	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	計	工作物衝突	路外逸脱			その他	計
業務中		33	29	62	20	302	155	17	48	23	565	7	1	2	10	637	
	構成率(%)	5.2	4.6	9.7	3.1	47.4	24.3	2.7	7.5	3.6	88.7	1.1	0.2	0.3	1.6	0.0	100
業務外		28	14	42	14	167	115	27	32	16	371	4	1		5	418	
	構成率(%)	6.7	3.3	10.0	3.3	40.0	27.5	6.5	7.7	3.8	88.8	1.0	0.2	0.0	1.2	0.0	100

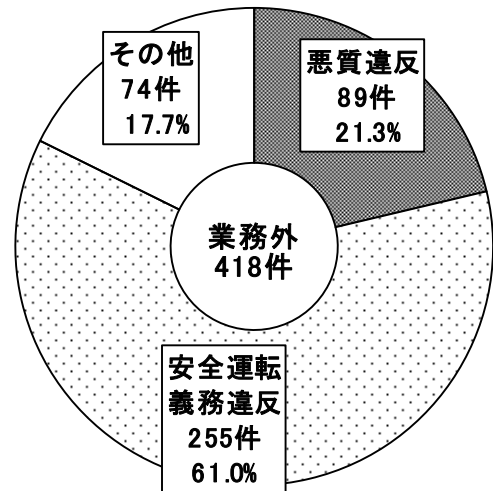
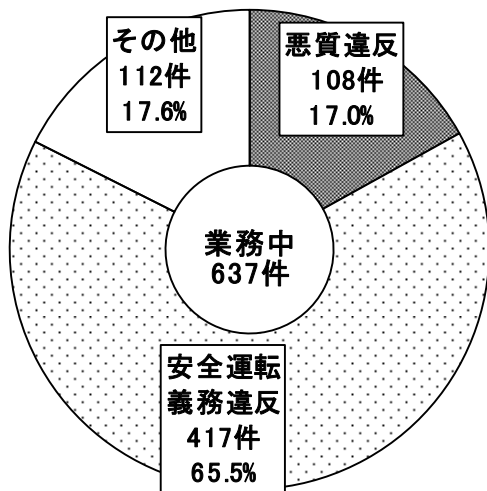
エ 違反別

業務中、業務外とも安全運転義務違反の割合が最も高く、業務中で 65.5 パーセント、業務外で 61.0 パーセントを占めている。

悪質違反では、業務中、業務外とも一時不停止と歩行者妨害等の占める割合が高い。

(単位：件・%)

違反	区分	業務中		業務外		違反	区分	業務中		業務外	
		構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)			構成率 (%)	構成率 (%)		
悪質違反	信号無視	14	2.2	25	6.0	徐行違反		3	0.5	2	0.5
	最高速度		0.0		0.0	過労運転			0.0	3	0.7
	通区・追越	19	3.0	12	2.9	ハンドル・ブレーキ		49	7.7	21	5.0
	歩行者妨害等	35	5.5	25	6.0	安全運転義務違反		189	29.7	103	24.6
	一時不停止	40	6.3	27	6.5	前方不注意		108	17.0	61	14.6
	酒酔い運転		0.0		0.0	動静不注意		61	9.6	60	14.4
	計	108	17.0	89	21.3	安全速度		8	1.3	7	1.7
横断禁止等	5	0.8	12	2.9	予測不適			0.0	1	0.2	
車間距離不保持		0.0		0.0	その他		2	0.3	2	0.5	
進路変更禁止		0.0		0.0	計		417	65.5	255	61.0	
右・左折	3	0.5	1	0.2	安全不確認ドア開放		1	0.2	1	0.2	
優先通行妨害等	57	8.9	33	7.9	その他		1	0.2	2	0.5	
交差点安全進行	42	6.6	20	4.8	合計		637	100.0	418	100	



オ 原因別

(単位：件・%)

業務中、業務外とも、発見の遅れが約 70 パーセントの高い割合を占めている。

原因	区分	業務中		業務外	
		構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)
発見の遅れ		444	69.7	304	72.7
判断の誤り等		139	21.8	88	21.1
操作上の誤り		53	8.3	26	6.2
調査不能		1	0.2		0.0
合計		637	100	418	100

## 17 県外居住者の事故

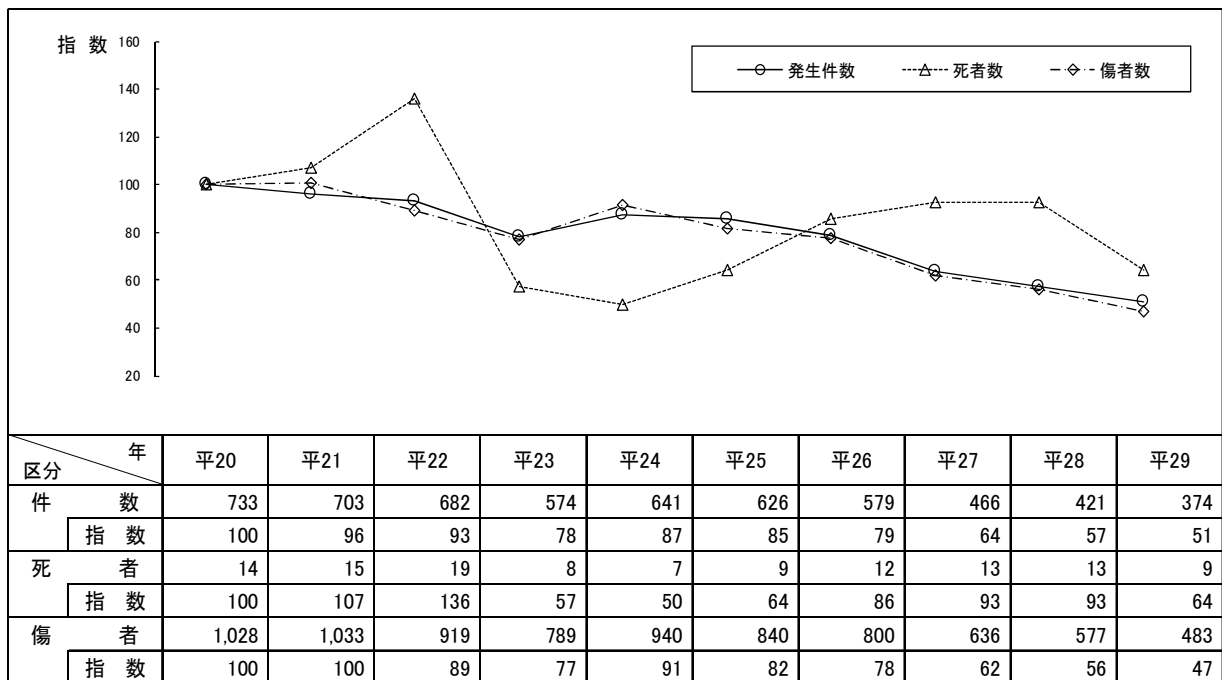
### (1) 概況

県外居住者が第1当事者となった事故は、

発生件数	374件	(前年比)	-46件	11.0%減)
死者数	9人	(前年比)	-4人	30.8%減)
傷者数	483人	(前年比)	-93人	16.1%減)

で、発生件数、死者数、傷者数の全てで減少した。

(単位：件・人)



### (2) 月別

2月と5月が40件で最も多く、次いで8月の35件となっている。

全事故に占める割合でみると、5月が8.5パーセントで最も高く、最も低い12月(5.3%)と比較すると3.2ポイントの差となっている。

(単位：件・人・%)

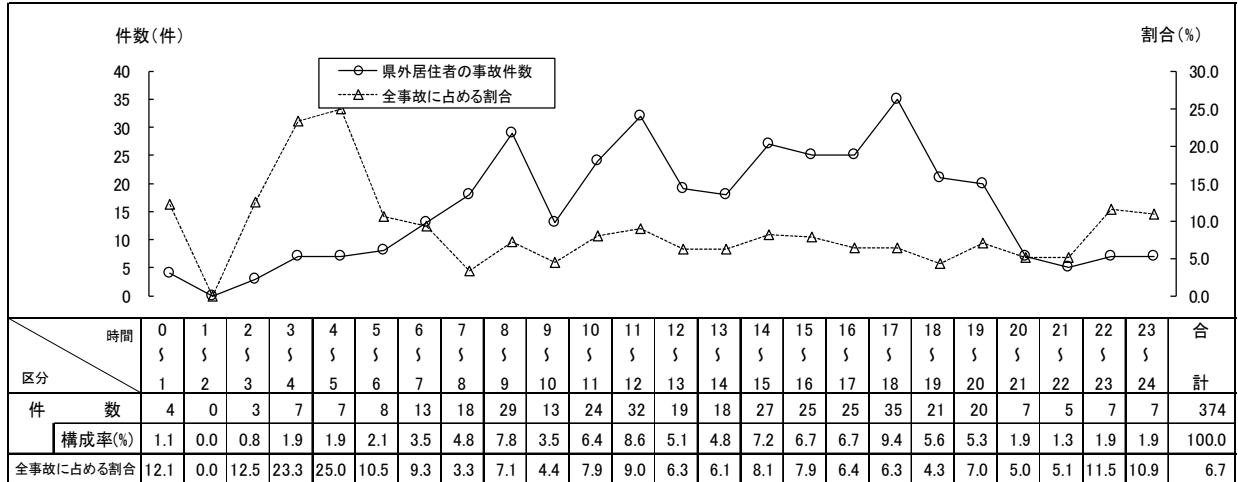
区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		全事故	461	487	487	463	472	403	447	455	460	476	487	490
県外居住者	件数	33	40	27	27	40	24	29	35	33	27	33	26	374
	全事故に占める割合	7.2	8.2	5.5	5.8	8.5	6.0	6.5	7.7	7.2	5.7	6.8	5.3	6.7
	死者				1			2	2		1	1	2	9
	傷者	43	47	38	40	54	32	38	40	47	31	41	32	483

(3) 時間別

発生件数が最も多いのは、17～18時の35件、次いで11～12時の32件の順となっている。

また、全事故に占める割合でみると、4～5時の25.0パーセントが最も高く、次いで3～4時の23.3パーセントとなっている。

(単位：件・%)



(4) 道路別

国道での発生が166件で、県外居住者事故の44.4パーセントを占めている。特に、国道4号は53件と国道事故の31.9パーセントを占めている。

全事故に占める割合では、高速道路が59.7パーセントと最も高く、次いで幹線国道の4号の順となっている。

(単位：件・%)

区分	道路	国 道											計	県 道	市 村 町 道	高 速 道	そ の 他	合 計
		幹 線 国 道					計	三 桁 国 道										
		4 号	6 号	13 号	49 号	計												
件 数		53	37	6	19	115	51	166	69	67	46	26	374					
構成率(%)		14.2	9.9	1.6	5.1	30.7	13.6	44.4	18.4	17.9	12.3	7.0	100.0					
全事故に占める割合(%)		12.1	10.1	6.9	7.2	10.0	9.5	9.8	4.9	3.2	59.7	8.7	6.7					

(5) 当事者別

普通乗用車が177件で最も多く、県外居住者事故の47.3パーセントを占めている。

全事故に占める割合でみると、大型貨物車が53.6パーセントと高い割合となっている。

(単位：件・%)

区分	車種	乗用車						貨物車						二輪車			特殊車	自転車	歩行者	合 計		
		計					計	計					計									
		大	型	中	型	準		中	型	普	通	軽		大	型	中					型	準
件 数		2	1	0	177	64	244	59	15	8	27	14	123	7	0	7	0	0	0	374		
構成率(%)		0.5	0.3	0.0	47.3	17.1	65.2	15.8	4.0	2.1	7.2	3.7	32.9	1.9	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	100.0		
全事故に占める割合		20.0	16.7	0.0	6.3	3.8	5.4	53.6	19.5	12.3	10.8	3.2	13.0	26.9	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	6.8		



(6) 年齢別

高齢者が 56 件で最も多く、次いで 25～29 歳が 41 件となっている。

全事故に占める割合については、50～54 歳の 9.0 パーセントが最も高くなっている。

(単位：件・%)

区分	年齢													高齢者	合計
	子ども	高校生	その他 10歳代	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳			
件数			8	39	41	26	26	40	31	36	33	38	56	374	
構成率(%)	0.0	0.0	2.1	10.4	11.0	7.0	7.0	10.7	8.3	9.6	8.8	10.2	15.0	100.0	
全体に占める割合	0.0	0.0	3.8	6.4	7.9	5.9	6.8	8.9	8.1	9.0	7.5	8.5	4.5	6.8	

(7) 通行目的別

私用中が 200 件で県外居住者事故の 53.5 パーセントを占めており、特に、観光が 56 件で最も多い。

業務中の事故は 144 件発生し、38.5 パーセントを占め死者数は 8 人となっている。

通行目的	区分	件数		死者	傷者
		件数	構成率(%)		
業務		144	38.5	8	176
通勤		29	7.8		32
通学		1	0.3		3
私用	観光	56	15.0	1	81
	ドライブ	16	4.3		17
	散歩		0.0		
	飲食	4	1.1		7
	買物	41	11.0		53
	訪問	24	6.4		32
	帰省	23	6.1		42
	その他	36	9.6		40
	計	200	53.5	1	272
	不明			0.0	
合計		374	100.0	9	483

(8) 違反別

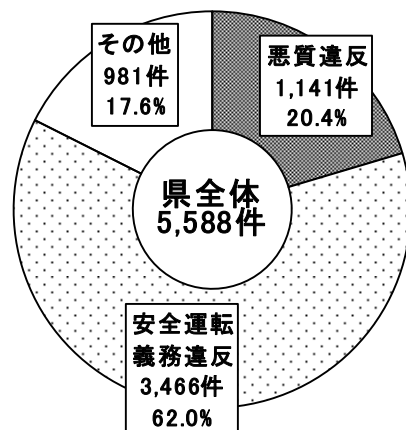
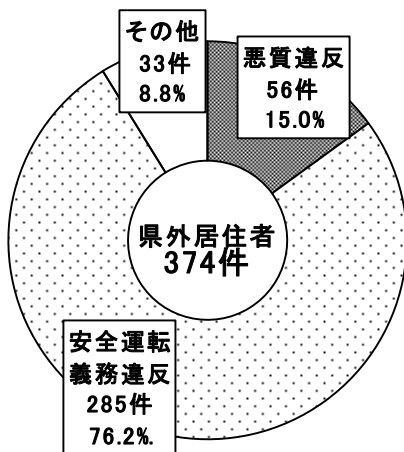
安全運転義務違反の占める割合が 76.2 パーセントと高く、なかでも前方不注意が 121 件と最も多い。

また、悪質違反のなかでは通区・追越が 22 件と最も多い。

全事故と比較すると、安全運転義務違反の割合が、14.2 ポイント高くなっている。

(単位：件・%)

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視	13	3.5	安全運転義務違反	交差点安全進行	4	1.1
	最高速度		0.0		徐行		0.0
	通区・追越	22	5.9		ハンドル・ブレーキ	37	9.9
	歩行者妨害等	10	2.7		前方不注意	121	32.4
	一時不停止	11	2.9		動静不注意	51	13.6
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	69	18.4
計	56	15.0	安全速度	4	1.1		
過労運転		3	0.8	その他	3	0.8	
横断禁止			0.0	計	285	76.2	
進路変更禁止	1	0.3	その他	3	0.8		
右折	1	0.3	歩行者の違反		0.0		
優先通行妨害等	21	5.6	合計	374	100.0		



## (9) 市町村別

(単位：件・%)

順位	市町村	県外者数	全件数	割合	順位	市町村	県外者数	全件数	割合
1	いわき市	67	1356	4.9	31	金山町	1	2	50.0
2	郡山市	49	1190	4.1	32	三島町	1	4	25.0
3	福島市	28	843	3.3	33	小野町	1	11	9.1
4	会津若松市	21	319	6.6	34	西会津町	1	3	33.3
5	相馬市	15	127	11.8	35	石川町	1	29	3.4
6	南相馬市	15	141	10.6	36	大熊町	1	3	33.3
7	須賀川市	13	206	6.3	37	只見町	1	2	50.0
8	新地町	8	20	40.0	38	天栄村	1	14	7.1
9	二本松市	8	98	8.2	39	湯川村	1	7	14.3
10	白河市	8	167	4.8	40	飯舘村	1	7	14.3
11	喜多方市	7	88	8.0	41	富岡町	1	11	9.1
12	猪苗代町	7	57	12.3	42	北塩原村	1	3	33.3
13	本宮市	7	93	7.5	43	矢祭町	1	10	10.0
14	棚倉町	6	39	15.4	44	矢吹町	1	55	1.8
15	伊達市	5	108	4.6	45	柳津町	1	3	33.3
16	国見町	5	14	35.7	46	檜枝岐村	1	1	100.0
17	西郷村	5	49	10.2	47	大玉村	0	27	0.0
18	下郷町	4	15	26.7	48	会津美里町	0	17	0.0
19	鏡石町	4	34	11.8	49	塙町	0	11	0.0
20	桑折町	4	19	21.1	50	平田村	0	7	0.0
21	川俣町	4	34	11.8	51	浅川村	0	7	0.0
22	南会津町	4	22	18.2	52	川内村	0	3	0.0
23	広野町	3	21	14.3	53	中島村	0	3	0.0
24	泉崎村	3	24	12.5	54	鮫川村	0	1	0.0
25	磐梯町	3	14	21.4	55	古殿町	0	1	0.0
26	会津坂下町	2	59	3.4	56	浪江町	0	1	0.0
27	三春町	2	29	6.9	57	昭和村	0	0	-
28	田村市	2	50	4.0	58	双葉町	0	0	-
29	檜葉町	2	13	15.4	59	葛尾村	0	0	-
30	玉川村	1	19	5.3					

(注) 高速道路で発生した交通事故を除く。

## (10) 居住県別

(単位：件・人・%)

区分	本年				前年			
	件数	構成率(%)	死者	傷者	件数	構成率(%)	死者	傷者
北海道	5	1.3	0	5	4	1.0	1	6
青森	5	1.3	2	5	3	0.7		4
岩手	12	3.2	1	18	7	1.7	1	9
宮城	106	28.3	3	134	119	28.3	1	154
秋田	6	1.6		6	7	1.7		11
山形	23	6.1		30	22	5.2		36
東	25	6.7	1	30	29	6.9	2	39
茨城	61	16.3	1	78	69	16.4	2	89
栃木	28	7.5		37	39	9.3		57
群馬	5	1.3		7	10	2.4	1	15
埼玉	18	4.8		20	32	7.6	1	43
千葉	21	5.6	1	32	17	4.0	1	33
神奈川	14	3.7		18	18	4.3		21
新潟	22	5.9		28	18	4.3	3	24
山梨		0.0				0.0		
長野	3	0.8		3	2	0.5		2
静岡	3	0.8		4	4	1.0		6
富山	2	0.5		2	1	0.2		2
石川		0.0				0.0		
福井	1	0.3		1		0.0		
岐阜		0.0			1	0.2		1
愛知	4	1.1		9	3	0.7		3
滋賀		0.0			2	0.5		2
三重		0.0			1	0.2		1
京都	1	0.3		2	1	0.2		1
大阪	2	0.5		6	4	1.0		7
兵庫	1	0.3		1	2	0.5		4
奈良	1	0.3		2	1	0.2		1
和歌山	1	0.3		1		0.0		
鳥取		0.0				0.0		
島根		0.0				0.0		
岡山		0.0			1	0.2		1
広島		0.0			2	0.5		3
山口	1	0.3		1		0.0		
香川		0.0				0.0		
愛媛		0.0				0.0		
徳島		0.0			1	0.2		1
高知		0.0				0.0		
福岡	1	0.3		1		0.0		
佐賀		0.0				0.0		
長崎	1	0.3		1		0.0		
熊本		0.0				0.0		
大分		0.0				0.0		
宮崎		0.0			1	0.2		1
鹿児島		0.0				0.0		
沖縄	1	0.3		1		0.0		
合計	374	100	9	483	421	100	13	577

## 18 道路環境等

### (1) 道路形状別

交差点での事故(付近も含む)は、3,096 件で全事故の 55.4 パーセントを占めている。

交差点事故を交差点形状で見ると、第 1 進入路「中」が 1,194 件で最も多く、交差点事故の 38.6 パーセントを占め、次いで交差点付近が 1,113 件となっている。

(単位：件・人・%)

道路形状	区分	件 数		死者	傷者
			構成率(%)		
交 差 点	大	300	5.4	3	344
	中	1,194	21.4	8	1,371
	小	489	8.8	1	582
	付近	1,113	19.9	10	1,343
	計	3,096	55.4	22	3,640
単 路	トンネル	17	0.3		22
	橋	69	1.2		84
	カーブ・屈折	193	3.5	23	223
	そ の 他	1,931	34.6	22	2,417
	計	2,210	39.5	45	2,746
踏 切			0.0		
一般交通の場所		282	5.0	1	324
合 計		5,588	100	68	6,710

(単位：件・人・%)

区分	件 数	死者	傷者		
				構成率(%)	
交差点第1進入路					
大 (13m以上)	交差路 小	32	1.6	1	35
	交差路 中	99	5.0	1	114
	交差路 大	169	8.5	1	195
	計	300	15.1	3	344
中 (5.5m以上 13m未満)	交差路 小	120	6.1	2	132
	交差路 中	961	48.5	6	1,107
	交差路 大	113	5.7	0	132
	計	1,194	60.2	8	1,371
小 (5.5m未満)	交差路 小	170	8.6	0	198
	交差路 中	270	13.6	1	328
	交差路 大	49	2.5	0	56
	計	489	24.7	1	582
合 計	1,983	100	12	2,297	

### (2) 道路線形別

直線での事故は 5,058 件で全事故の 90.5 パーセントを占めている。

一方、カーブ・屈曲での事故は 248 件で全事故の 4.4 パーセントとなっている。

勾配で見ると、上り坂は 150 件 (全事故の 2.7%)、下り坂は 208 件 (全事故の 3.7%)、平坦は 4,700 件 (全事故の 84.1%) となっている。

(単位：件・人・%)

道路線形	区分	件 数		死者	
			構成率(%)		
カーブ・屈折	右	上り	20	0.4	2
		下り	29	0.5	3
		平坦	66	1.2	7
	左	上り	27	0.5	
		下り	32	0.6	4
		平坦	74	1.3	7
計		248	4.4	23	
直 線	上り	150	2.7	3	
	下り	208	3.7	1	
	平坦	4,700	84.1	40	
	計	5,058	90.5	44	
一般交通の場所		282	5.0	1	
合 計		5,588	100.0	68	

## (3) 地形別

(単位：件・人・%)

市街地での事故が3,966件で、全事故の71.0パーセントを占めている。

なお、市街地の事故では、市街地  
その他での事故が多い。

地形	区分	件数	構成率(%)	死者	傷者	
						市街地
		その他	2,167	38.8	15	2,533
		計	3,966	71.0	27	4,638
	非市街地	1,622	29.0	41	2,072	
	合計	5,588	100	68	6,710	

(注) 市街地：道路に沿っておおむね500メートル以上にわたって、住宅、事業所又は工場等の建造物が連立し、又はこれらが混在して連立している状態であって、その地域における建造物及び敷地の占める割合が80パーセント以上になる、いわゆる市街地的形態をなしている地域。

## (4) 道路幅員別

幅員「5.5m以上9.0m未満」の道路での事故が1,545件で最も多く、全事故の27.6パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

区分	幅員	3.5m未満	3.5m以上	5.5m以上	9.0m以上	13.0m以上	19.0m以上	交 差 点			その他	合計
								小	中	大		
件数		63	215	1,545	775	550	175	489	1,194	300	282	5,588
構成率(%)		1.1	3.8	27.6	13.9	9.8	3.1	8.8	21.4	5.4	5.0	100
死者		4	1	29	13	7	1	1	8	3	1	68
傷者		64	254	1,860	994	698	219	582	1,371	344	324	6,710

## (5) 道路状態別

乾燥した舗装路での発生が4,401件で最も多く、全事故の78.8パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

地形	路面状態	舗 装				計	非舗装	合計
		乾 燥	湿 潤	凍 結	積 雪			
件数		4,401	910	192	74	5,577	11	5,588
構成率(%)		78.8	16.3	3.4	1.3	99.8	0.2	100.0
死者		52	14	1		67	1	68
傷者		5,257	1,122	238	81	6,698	12	6,710

## (6) 中央分離施設別

中央線がペイントされた道路での発生が2,647件で最も多く、全事故の47.4パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

地形	施設	中 央 帯	中 央 線				計	中 央 帯 離 帯 時	その他	合計
			高 輝 度 標 示	チャッターバー等	ポ ス ト コ ー ス ン	ペ イ ン ト				
件数		713	27	65	22	2,647	2,761	1,832	282	5,588
構成率(%)		12.8	0.5	1.2	0.4	47.4	49.4	32.8	5.0	100.0
死者		7	0	0	2	42	44	16	1	68
傷者		962	38	77	32	3,153	3,300	2,124	324	6,710

## 19 その他

(単位：件・人・%)

### (1) 特殊事故

特殊事故は972件で、全事故の17.4パーセントを占め、約5.7件に1件の割合で発生している。件数が多いのは次のとおりで

- ・多重衝突811件  
全事故の6.9件に1件
  - ・ひき逃げ118件  
全事故の47.4件に1件
  - ・無申告27件  
全事故の207.0件に1件
  - ・左折巻き込み3件  
全事故の1,862.7件に1件
  - ・ドア開放6件  
全事故の931.3件に1件
- の割合で発生している。

特殊事故	区分	件数		死者	傷者	
		構成率(%)				
事故内容	共同危険行為		0.0			
	暴走行為		0.0			
	ひき逃げ	118	2.1		145	
	無申告	27	0.5	1	28	
	多重衝突	811	14.5	17	1,255	
	左折巻き込み	3	0.1		3	
	荷崩れ	1	0.0		1	
	自然発車	3	0.1	2	1	
	ドア開閉	6	0.1		6	
	車両火災	3	0.1		3	
当事者内容	薬物影響		0.0			
	発作・急病	てんかん		0.0		
		心臓マヒ		0.0		
		脳血管		0.0		
		その他		0.0		
	身障者		0.0			
緊急用務自動車		0.0				
合計		972	17.4	20	1,442	

- (注) 1 表中の構成率は全事故に占める割合  
2 他の項目と重複するものがあるため、合計欄は延べ件数となっている。

### (2) 天候別

晴天時（雲量が80パーセント未満）の事故が、2,882件で全事故の51.6パーセントを占め最も多く、次いで曇天時（雲量が80パーセント以上）の事故が1,873件となっており、合わせると全事故の85.1パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

区分	天候	晴	曇	雨	霧	雪	合計
	件数		2,882	1,873	622	5	206
構成率(%)		51.6	33.5	11.1	0.1	3.7	100.0
死者		40	17	10		1	68
傷者		3,460	2,239	754	6	251	6,710

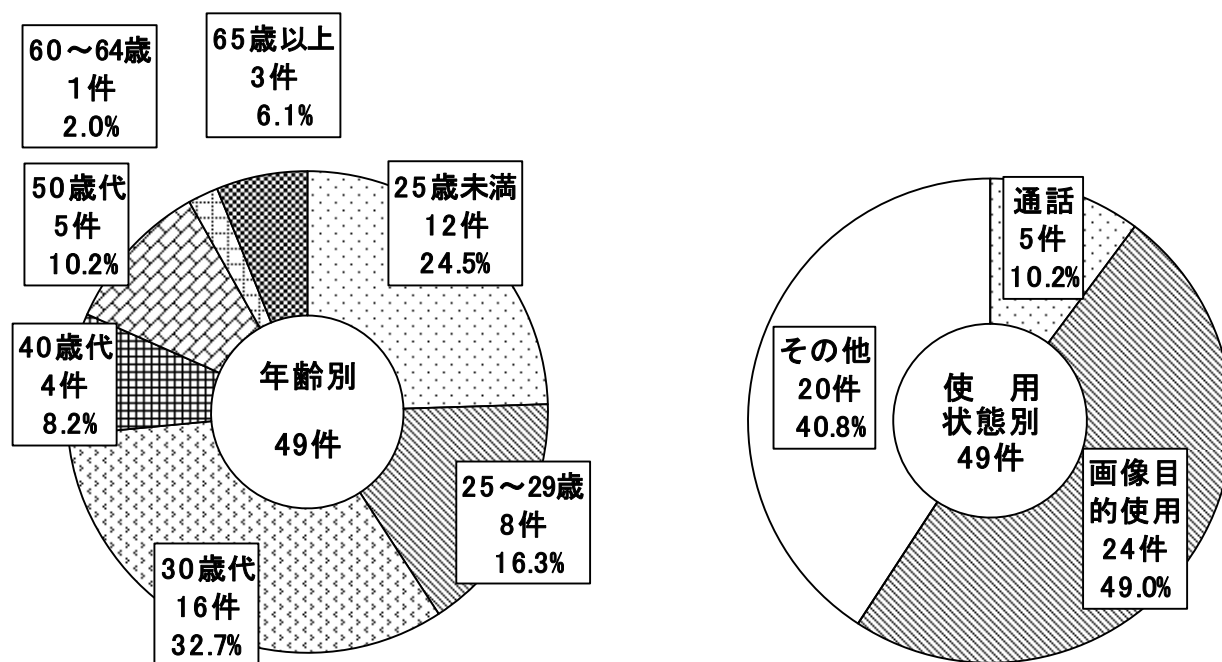
(3) 携帯電話使用中の事故

携帯電話使用中の事故は49件発生し、死者は0人、傷者は62人となっている。

事故類型別にみると、追突が39件で最も多く、79.6パーセントを占め、全事故に占める追突事故の割合の約1.9倍となっている。

(単位：件・%)

区分	態様	携帯電話使用中事故		全事故	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
人対車両		2	4.1	565	10.1
車両相互	追突	39	79.6	2,320	41.5
	出会い頭	2	4.1	1,410	25.2
	正面衝突	4	8.2	197	3.5
	その他	2	4.1	984	17.6
車両単独			0.0	112	2.0
列車			0.0		0.0
合計		49	100.0	5,588	100.0



年齢別にみると、30歳代が16件で32.7パーセントを占め最も多く、次いで25歳未満が12件となっている。

事故直前の使用状況は、画像目的使用24件、通話が5件、その他の動作20件となっている。